



Cintiq[®] 24HD

interactive pen display



ユーザーズガイド

Cintiq 24HD touch (DTH-2400)

Cintiq 24HD (DTK-2400)

本機のセットアップ

スタンドを使う

電子ペンを使う

電子ペンをカスタマイズする

マルチタッチ操作

マルチタッチ入力のカスタマイズ

液晶ペンタブレットを使う

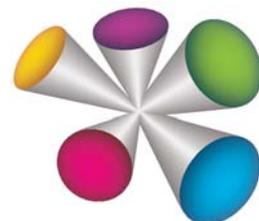
液晶ペンタブレットをカスタマイズする

ラジアルメニューを使う

特定のソフトウェアに対する設定

FAQ (よくある質問)

トラブルシューティング





製品の保証についてのお願い

保証規定をよくお読みになり、お買い上げから1年間は保証書を保管してください。保証書に販売店による記入がない場合は、直ちに販売店にお申し出になるか、ご購入時の領収書（またはその写し）を保証書に添付して保管してください。保証書に、販売店による記入も領収書の添付もない場合は、保証書が無効になります。

電波障害自主規制について

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受像器に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

商標について

Wacom、Cintiq は、株式会社ワコムの登録商標です。

その他の会社名、および製品名は、一般に各社の商標、または登録商標です。なお、本文中では「TM」「®」マークを表記していません。

著作権について

付属のタブレットドライバの著作権は、株式会社ワコムにあります。

タブレットドライバ、および本書の内容の一部または全部を、無断で複製、転載することは禁止されています。タブレットドライバを含む本製品の仕様、および本書の内容は、将来予告なしに変更することがあります。

DTK-2400/DTH-2400 ユーザーズガイド

Version 2.1, Rev F2312

©2012 Wacom Co., Ltd. All rights reserved.





目次

本書について	5	画面の調整	47
梱包箱から取り出す	6	Cintiq 24HD touch の画面調整機能	48
本機の梱包を解く	6	ブライツネス・コントラスト	48
付属品を確認する	8	自動調節（アナログ入力のみ）	49
本機のセットアップ	10	画面調節	49
システム要件	10	カラー調節	50
ステップ 1：ハードウェアのセットアップ	11	ツール	51
ステップ 2：タブレットドライバのインストール	14	MENU ツール	53
本機の機能と設置	15	ECO インフォメーション	54
本機の機能	15	インフォメーション	55
正面	16	OSD WARNING	55
Cintiq 24HD touch	16	PICTURE MODE 機能	56
裏面	17	アドバンスメニュー	57
正面	18	Cintiq 24HD の画面調整機能	66
Cintiq 24HD	18	省電力機能	68
電子ペンの機能	19	Cintiq 24HD touch のマルチタッチ機能を使う	69
スタンドを使う	20	マルチタッチによる操作	70
スタンドの機能	21	マルチタッチのカスタマイズ	78
スタンドの設置場所	22	マルチタッチオプションを設定する	79
液晶ペンタブレット本体の高さと角度を調整する	25	ジェスチャーの標準設定	80
本機でキーボードを使う	27	ジェスチャーの個人設定	81
ケーブルの交換	28	マルチタッチ入力を無効にする	82
本機を使用する	31	マルチタッチのテスト	83
姿勢と作業環境を整える	32	本機をカスタマイズする	84
利き手の設定をする	33	コントロールパネルの設定を管理する	85
電子ペンを使う	34	コントロールパネルの概要	86
電子ペンの持ち方	35	ペン先の位置調整	88
ポインタの移動	36	電子ペンをカスタマイズする	89
クリック	36	ペン先の感触とダブルクリックの調整	90
ダブルクリック	36	消しゴムの感触の調整	91
ドラッグ	37	ペン先と消しゴムの筆圧の詳細設定	91
サイドスイッチを使う	37	サイドスイッチのカスタマイズ	92
筆圧を使って描画する	37	傾き感度のカスタマイズ	93
傾きを使って描画する	38	ファンクションキーとタッチホイールを カスタマイズする	93
消しゴムを使う	38	ファンクションキーをカスタマイズする	94
液晶ペンタブレットの操作機能	39	タッチホイールをカスタマイズする	95
ワンタッチ表示ボタンを使う	41	ボタン機能	96
ファンクションキーを使う	42	ラジアルメニューの使い方と設定	103
タッチホイールを使う	44	マッピング画面切り替えを使う	104
マルチディスプレイ環境で使う	45		
画面を調整する	46		
画面を調整する	46		





特定のソフトウェアに対する設定	105	FAQ (よくある質問)	130
特定のソフトウェアに対する設定を作成する	106	お手入れのしかた	132
特定のソフトウェアに対する設定を変更する	107	本機のお手入れ	132
特定のソフトウェアに対する設定を削除する	107	ペン先を交換する	133
複数デバイスでの作業	108	その他のお役立ち情報	135
本機の登録名を変更する	109	液晶ペンタブレット本体をスタンドから取り外す	136
トラブルシューティング	110	液晶ペンタブレット本体をスタンドに取り付ける	139
本機のテスト	111	マウントアームに取り付けて使う	142
操作機能および入力デバイスのテスト	113	タブレットドライバのアンインストール	143
ワンタッチ表示ボタンのテスト	114	タブレット設定ファイルの管理	144
ファンクションキーのテスト	114	複数ペンタブレットの設置	145
タッチホイールのテスト	114	タブレットコントロールができる処理が	
電子ペンのテスト	115	組み込まれたソフトウェアを使う	146
ディスプレイのトラブルシューティング情報	116	上級者向け設定を組み込む	147
ディスプレイの一般的な問題	116	Windows でのペンおよび	
アナログ RGB 接続の問題	118	デジタルインク入力機能	148
タブレットのトラブルシューティング情報	119	製品情報	149
一般的な問題	119	オプション品の注文	150
電子ペンの問題	121	利用可能なオプション品	150
マルチタッチの問題	124	オプション品のご案内	150
Windows での問題	125	用語	151
Mac での問題	126	索引	154
テクニカルサポート	128	Wacom International Offices	158
ドライバのダウンロード	129		





本書について

本書は、Cintiq 24HD touch および Cintiq 24HD の使い方や機能について説明しています。本書に記載される情報は、Windows と Macintosh コンピュータに共通するもので、特に記載のない限り、Windows の画面を使用しています。

- [目次](#)または[索引](#)で項目をクリックすると、その項目に移動することができます。



表紙へ移動します。

目次

目次のはじめへ移動します。

索引

索引のはじめへ移動します。



1 つ前に表示したページに戻ります。



ページ番号順に戻ったり、進んだりします。

[トピック](#)

トピックへ移動します。



トピックの続きへ移動します。

- ご使用のディスプレイ上でユーザズガイドのサイズを拡大するには、PDF ビューアのズームインツールを使用します。その他のツールの使用方法とユーザズガイドの印刷については、ビューアソフトウェアのヘルプをご覧ください。
- 「」で囲まれた文字は、キーボードのキー、ダイアログボックス、コントロールパネルのオプションの名前を特定するのに使用しています。
- タブレットドライバ CD-ROM には、「製品に関する重要なお知らせ」が同梱されていますので、必ずお読みください。「製品に関する重要なお知らせ」には、製品安全上のご注意、仕様、およびタブレットドライバソフトウェア使用許諾契約が含まれています。
- お客様のコンピュータのハードウェアおよびオペレーティングシステムに関する情報、またはソフトウェアに関する情報は、本製品には含まれておりません。これらの情報については、ハードウェア、オペレーティングシステム、ソフトウェアに付属するマニュアルおよび CD-ROM または DVD-ROM を参照してください。

タブレットドライバ、本製品の仕様、および本書の内容は、将来予告なしに変更することがあります。





梱包箱から取り出す

本機は、スタンドに液晶ペンタブレット本体が取り付けられた状態で梱包されています。梱包箱を開けて、各部品が完全に揃っていることを確認してください。本機の部品および付属品は、アクセサリボックスにまとめて梱包されています。

[本機の梱包を解く](#)

[付属品を確認する](#)

本機の梱包を解く

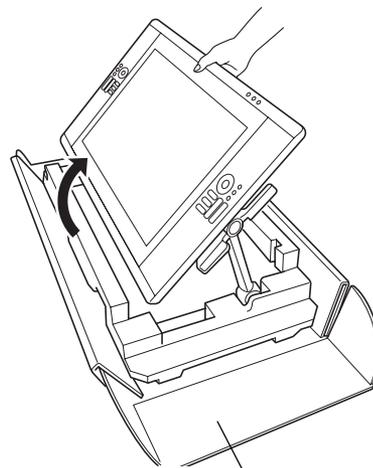
ていねいに梱包を解き、すべての部品を安定した水平な場所に置いてください。

1. 箱の上部に記載している手順に従い箱を開けます。

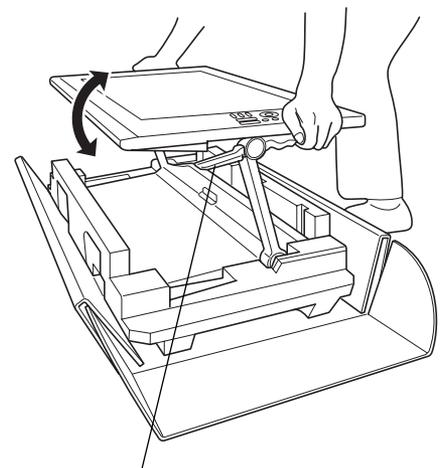
- 箱の下側にあるプラスチックの取っ手（4個）を取り外します。次に箱のふたを持ち上げて取り外します。
- 両側のフラップを開きます。
- アクセサリボックスを取り出します。
- ケーブルを梱包箱の外側に移動し、ケーブルの梱包を取り外します。
- 両側の梱包材を取り外し、液晶ペンタブレットおよびスタンドを覆うすべての梱包材を取り除きます。

2. 液晶ペンタブレット本体を所定の位置にロックします。

- 液晶ペンタブレット本体をゆっくり持ち上げます。少し持ち上げると、カチッと音がし、スタンドアームが定位置でロックされます。
- 次に角度調整レバーを使用して液晶ペンタブレット本体を水平位置にセットします。



フラップ



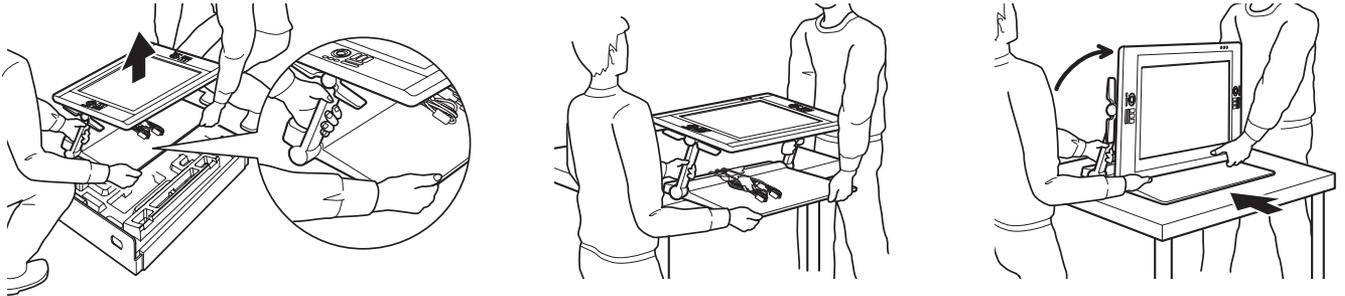
角度調整レバー



3. 本機を箱から取り出します。

ケーブルをスタンドベース（台座）の上に置き、ケーブルが垂れ下がらないようにします。片方の手でスタンドアーム下部のスタンドベース近くを持ち、もう一方の手でスタンドベースを支えて本機を持ち上げ、移動させます。

重要： 本機を持ち上げるときは必ず2人以上で行い、左右から両手で確実に本機を持ってください。本機は約29kgあります。作業者は動きを合わせて、慎重に作業を行ってください。



⚠ 警告

本機を持ち上げ移動する場合は、必ず2人以上で行ってください。1人で持ち上げると、落下してけがをしたり本機を破損したりすることがあります。

本機が後ろ向きに倒れないように注意してください。けがや破損の原因になります。必ず2人以上で作業を行ってください。

スタンドの可動部の隙間に指を挟まないように注意してください。

ケーブルをスタンドベース（台座）の上に置き、本機から垂れ下がらないようにしてください。垂れ下がったケーブルが足に絡むと、破損やけがなどの原因になります。

角度調整レバーやスタンドアームの上部を持って、本機を持ち上げないでください。誤った操作はけがやスタンドの破損の原因となる可能性があります。また、スタンドの可動部の隙間に指が挟まれないように注意してください。

本機は水平な安定した机や作業台の上などに設置してください。作業台からスタンドベースがはみ出ないように注意してください。スタンドベースが作業台の上に完全に載っていない状態で使用すると、倒れたり落下したりして、けがや故障の原因になります。

4. 倒れたり落下したりしないよう、本機を机の上や作業台など安定した場所に設置します。[スタンドの設置場所](#)をご覧ください。

5. 設置が完了したら、角度調整レバーを使用して液晶ペンタブレット本体を垂直位置に回転させます。

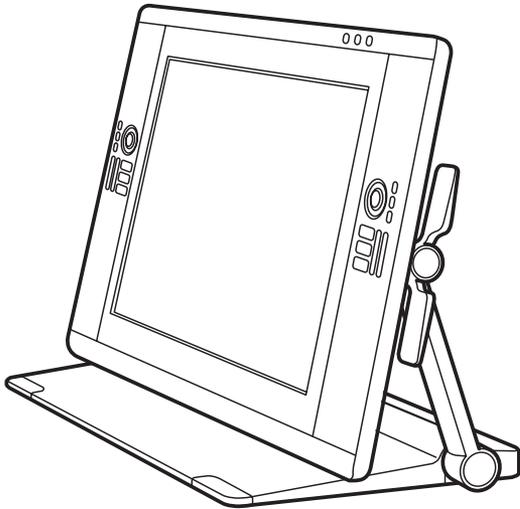
6. [付属品を確認する](#)を参照し、付属品が揃っているか確認します。

補足：お買い上げ時の箱と梱包材は、本機の搬送や保管をする際に使用しますので、必ず保管してください。

付属品を確認する

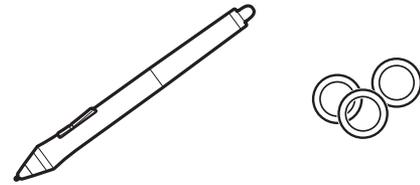
[梱包箱を開けて](#)、本機および付属品がすべて揃っていることを確認してください。

本機の付属品は、アクセサリボックスにまとめて梱包されています。



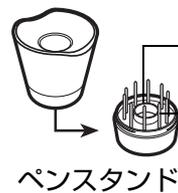
液晶ペンタブレット本体およびスタンド
* あらかじめ組み立てられています。

(DVI-DVI ケーブル、DisplayPort ケーブル、および USB 接続ケーブルはあらかじめ本機に装着されています。工場出荷時、DisplayPort ケーブルは本機のスタンドに格納されています)



電子ペン (KP-501E-01) と
カラーペンリング

使用者がわかるようにするときは、電子ペンの先端を外してカラーリングに付け替えます。

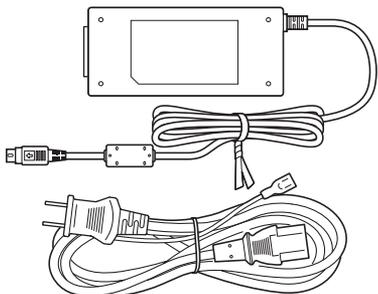


ペンスタンド

芯抜き

交換用の芯

詳しくは[電子ペンの持ち方](#)をご覧ください。

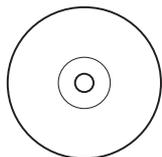


AC アダプタおよび
電源ケーブル

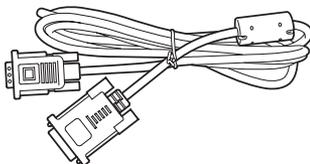


太径ラバーグリップ





タブレットドライバ CD-ROM
タブレットドライバおよび「製品
に関する重要なお知らせ」が収録
されています。



DVI-RGB ケーブル

マウントアーム用スペーサー
(3 コ)

マウントアーム用ネジ (6 コ)

クイックスタート
ガイド

保証書

保証書

補足：製品の構成によっては、付属品が異なる場合があります。ソフトウェアを含んだ追加の CD-ROM または DVD-ROM が付属している場合は、インストールについてはその CD-ROM または DVD-ROM の説明をお読みください。

搬送のために本機を梱包するときは、必ずお買い上げ時の箱と梱包材を使って梱包してください。そのため、箱と梱包材は捨てずに保管してください。

本機のセットアップをする前に、[液晶ペンタブレット](#)と[スタンド](#)の説明を必ずお読みください。



本機のセットアップ

本機は、ディスプレイとペンタブレットの2つの機能を持っています。以下の手順に従って、ハードウェアのセットアップとタブレットドライバのインストールを行ってください。

[システム要件](#)

[ステップ1：ハードウェアのセットアップ](#)

[ステップ2：タブレットドライバのインストール](#)

システム要件

ご使用中のコンピュータが次のシステム要件を満たしていることをご確認ください。

- [Windows の場合](#)：

[Cintiq 24HD touch \(DTH-2400\)](#)：Windows 7 以降（64 ビット版を含む）。DVI もしくは DisplayPort もしくは RGB コネクタ、および USB ポート。

[Cintiq 24HD \(DTK-2400\)](#)：Windows 7、Vista (SP2 以上)、XP (SP3 以上)。64 ビット版を含む。DVI もしくは DisplayPort もしくは RGB コネクタ、および USB ポート。

- [Mac の場合](#)：Mac OS X 10.5.8 以降。Intel プロセッサ。DVI もしくは DisplayPort もしくは VGA 出力、および USB ポート。

補足：本機は、マルチディスプレイ環境で使用することができます。マルチディスプレイの接続・設定については、本書では説明していません。ご使用のコンピュータまたはオペレーティングシステムの取扱説明書をご覧ください。

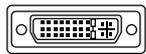
[マッピング画面切り替え](#)機能は、マルチディスプレイ環境で利用することができます。これにより、電子ペンによる操作を本機と他のディスプレイ間で切り換えることができます。

ステップ 1：ハードウェアのセットアップ

ここではディスプレイケーブル、USB 接続ケーブル、および電源ケーブルの接続について説明します。

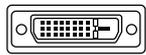
重要： コンピュータまたは本機の電源が入った状態で、ディスプレイケーブルや電源ケーブルを抜き差ししないでください。本機またはコンピュータが故障する場合があります。

1. 本機、およびコンピュータの電源を切ります。
2. ご使用のコンピュータのディスプレイコネクタがデジタル (DVI または DisplayPort) かアナログ RGB かを確認してください。ディスプレイコネクタが 1 つしかない場合は、接続中のディスプレイを外すかまたはグラフィックボードを増設してください。最適な画質を得るために本機を DVI コネクタまたは DisplayPort コネクタに接続することをお勧めします。ディスプレイコネクタに関しては以下をご覧ください。
3. すべてのコネクタのネジを確実に締めてください。[接続図](#)の -A- をご覧ください。



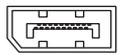
DVI-I

DVI 接続の場合：スタンドベースの DVI-DVI ケーブルのコネクタを、コンピュータの DVI コネクタに接続します。



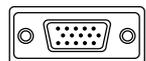
DVI-D

本機は DVI-D または DVI-I のいずれのコネクタにも接続できます。



DisplayPort

DisplayPort 接続の場合：スタンドベース内に収納されている DisplayPort ケーブルをコンピュータの DisplayPort コネクタに接続します。スタンドベースのバックカバーを外し DisplayPort ケーブルを取り出してください。詳しくは[ケーブルの交換](#)をご覧ください。



アナログ RGB

アナログ RGB 接続の場合：DVI-DVI ケーブルを本機から完全に取り外し、代わりに付属の DVI-RGB ケーブルを取り付けます。詳しくは[ケーブルの交換](#)をご覧ください。

Mac Mini DisplayPort に接続する場合：Apple Mini DisplayPort-DVI 変換アダプタが必要です。お近くの販売店でご購入ください。

変換アダプタで本機の DVI-DVI ケーブルのコネクタとお使いの Mac を接続してください。

4. スタンドベースの USB 接続ケーブルを、コンピュータの USB ポートに接続します。[接続図](#) -B- をご覧ください。
5. AC アダプタをスタンドの電源ケーブルに接続します。[接続図](#) -C- をご覧ください。
6. 電源ケーブルを AC アダプタに接続し、電源プラグを 100V 電源コンセントに差し込みます。[接続図](#)の -D- をご覧ください。
7. 本機裏面の左側にある電源スイッチをオンにします。パワーランプが青→オレンジの順に点灯します。[裏面](#)をご覧ください。

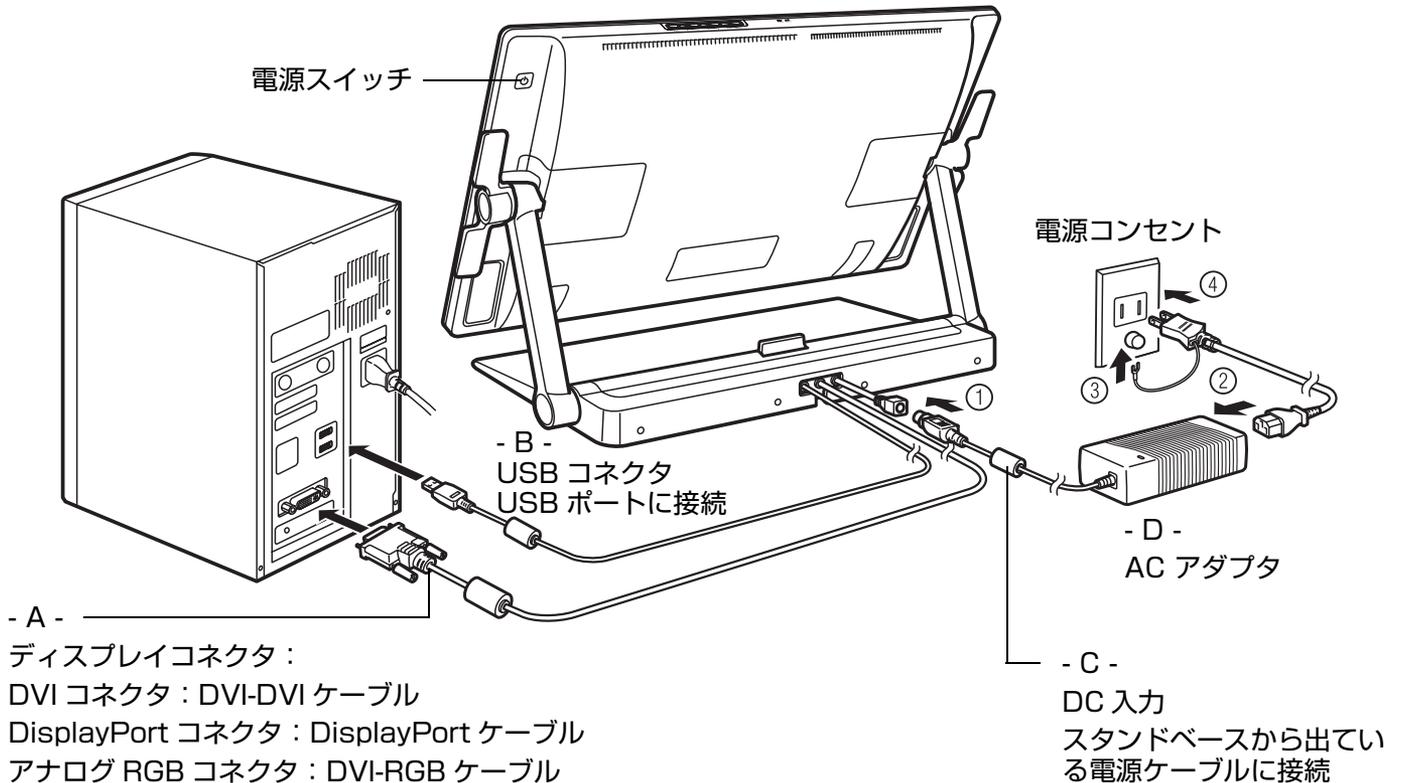




本機の接続図

接続ケーブル類はあらかじめ本機に装着されています。

- **DVI-DVI** : DVI-DVI ケーブルはスタンドベースから出ています。
- **DisplayPort** : DisplayPort ケーブルはスタンドベース内に収納されています。
[ケーブルの交換](#)をご覧ください。
- **アナログ RGB** : DVI-DVI ケーブルを取り外し、代わりに付属の DVI-RGB ケーブルを取り付けます。
[ケーブルの交換](#)をご覧ください。
- **USB** : USB 接続ケーブルはスタンドベースから出ています。



⚠ 注意

本機またはコンピュータの電源がオンになっているときに、ディスプレイケーブルや電源ケーブルを抜き差ししないでください。本機またはコンピュータのグラフィックボードが故障する場合があります。

本機に付属の AC アダプタをご使用ください。付属品以外の AC アダプタを使用すると、本機が故障するおそれがあります。

最適な表示のためには、ディスプレイのリフレッシュレートを垂直周波数 60Hz にする必要があります。本機がサポートする最大周波数 85 Hz を超えるリフレッシュレートは使用できません。仕様については「製品に関する重要なお知らせ」をご覧ください。





8. コンピュータの電源をオンにします。
9. コントロールパネルの「画面の設定」から適切な解像度と色数の設定を行ってください。
最適な画質を得るには、本機の最大解像度の 1920x1200 に設定してください。本機で使用できる解像度の詳細は、タブレットドライバ CD-ROM にある「製品に関する重要なお知らせ」をご覧ください。解像度と色数は、ご使用のコンピュータやグラフィックボードの性能によって制限されることがあります。微調整については [画面を調整する](#) をご覧ください。

補足：DVI-RGB ケーブルで接続した場合は、画面調整ボタンの中の「MENU」ボタンを押して本機の OSD メニューから「自動調節」（AUTO のアイコン）を選択し、「自動調節」を選択します。画面を微調整するには、本書 46 ページをご覧ください。

Windows の場合：本機をセカンドディスプレイとして使用する場合は、コントロールパネルから本機の接続を有効にする設定が必要な場合があります。

画面設定が完了しましたら、[ステップ 2：タブレットドライバのインストール](#)に進みます。

補足：液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られていますが、画素欠点や常時点灯の画素がある場合があります。これは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。詳細については、「製品に関する重要なお知らせ」をご覧ください。

画像に微細ストライプ（画面の縞模様など）が現れると、ちらつきまたはモアレのように見える場合があります。

ディスプレイの表面に過剰な圧力を加えないでください。モアレまたは波紋のような模様が現れる原因になる場合があります。

同じ画面を長時間表示したあと残像が生じることがありますが、時間が経つと徐々にもとにもどります。スクリーンセーバーを使用することで、残像の発生を軽減させることができます。

本機のバックライトをより長くご使用いただくには、長時間画面を使用しないときは電源を切るようにコンピュータの電源オプションを設定してください。

長時間本機をお使いになる場合、目の健康のために画面の輝度を下げてください。輝度を下げるとはバックライトの寿命を延ばし、ディスプレイの表面温度を下げることもつながります。

タブレットドライバ CD-ROM にカラープロファイルが同梱されています。本機でカラープロファイルを使用するときは、コントロールパネルの「デスクトップのカスタマイズ」の「画面の解像度の調整」を選び、本機の画面のプロパティを開き、「色の管理」を選び、本機のプロファイルを選択してください。詳細については、ご使用のオペレーティングシステムおよびソフトウェアの取扱説明書で、カラーマネジメントシステムをご覧ください。

トラブルシューティングについては [トラブルシューティング](#) をご覧ください。





ステップ 2：タブレットドライバのインストール

重要：画面上で電子ペンによる操作を正常に行うためには、付属のタブレットドライバをインストールする必要があります。

すでに intuos シリーズまたは Cintiq シリーズのタブレットドライバをインストールしている場合は、そのドライバをアンインストールしてください。

コンピュータでの作業を保存し、開いているソフトウェアをすべて閉じます。

1. タブレットドライバ CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブにセットします。
Windows OS の場合は、自動でインストール画面が表示されます。インストール画面が表示されない場合は、CD-ROM アイコンをダブルクリック、または CD を開き「Install.exe」をダブルクリックしてください。
Mac OS の場合は、デスクトップ上に「Tablet CD」の CD-ROM アイコンが表示されます。「Tablet CD」をダブルクリックで開いて「インストール」をダブルクリックしてください。

補足：Windows Vista をお使いの場合（Cintiq 24HD のみ）

- ・「自動再生」が表示される場合があります。「プログラムのインストール / 実行」をクリックしてください。
- ・「ユーザーアカウント制御」が表示される場合があります。「続行」または「許可」をクリックしてください。

補足：ワコム ホームページから最新のタブレットドライバをダウンロードできます。

2. 「タブレットのインストール」をクリックし、画面の指示に従ってタブレットドライバをインストールします。
3. タブレットドライバの使用許諾契約が表示されます。内容に同意したら「同意する」をクリックします。

ヒント：タブレットドライバのインストールが正常に行えない場合、ネットワークを切断し、ウィルス監視プログラムを一時的に OFF にして試してください。ドライバのインストールが完了しましたら、必ずウィルス監視プログラムを ON にしてください。

4. タブレットドライバのインストール完了後、画面上で電子ペンを使用してポインタが動くことを確認してください。

ペン先を画面上に置くと、ポインタは直ちにペン先のほぼ下の位置に移動します。ペン先を持ち上げ、画面上の異なる位置に置くと、ポインタは再び新しい位置に移動します。

お使いの製品がマルチタッチに対応している場合は、画面に指先を触れると、ポインタは直ちに指先の下に位置に移動します。

5. 更新情報については、Read Me ファイルを確認してください。注意と警告についてはタブレットドライバ CD-ROM 中の「製品に関する重要なお知らせ」をご覧ください。タブレットドライバのインストール中に不具合が起こったら [トラブルシューティング](#) をご覧ください。
6. 次に、画面のポインタとペン先の位置を合わせてください。[ペン先の位置調整](#) をご覧ください。

補足：ユーザ設定がサポートされています。ユーザはログオンした後、コントロールパネルで自分の個人設定をカスタマイズすることができます。ユーザが切り替わると、自動的に新しいユーザの個人設定をロードします。

本機が正常に動作しない場合、またはポインタをコントロールできない場合は、本機の環境設定に異常が生じた可能性があります。現在の環境設定を削除して、本機をお買い上げ時の設定状態に戻すことができます。環境設定管理の詳細については、[タブレット設定ファイルの管理](#) をご覧ください。

Microsoft Windows 7、Vista、および Office 2007 以上 (Windows 7 Starter および Windows Vista Home Basic を除く) においては、タブレットドライバをインストールすると自動的にペン入力機能が利用できるようになります。[Windows のペンおよびデジタルインク機能](#) をご覧ください。

Cintiq 24HD touch (DTH-2400) は、Windows Vista または Windows XP ではお使いになれません。

ワコム ホームページから最新のタブレットドライバをダウンロードするには [ドライバのダウンロード](#) をご覧ください。

タブレットドライバをアンインストールするには [タブレットドライバのアンインストール](#) をご覧ください。



本機の機能と設置

本機は高機能な液晶ディスプレイと最高の書き味の電子ペンを組み合わせた高い生産性と創造性を兼ね備えた製品です。この製品により自然で快適な作業環境を提供いたします。また Cintiq 24HD touch (DTH-2400) は、マルチタッチ機能に対応しています。

本機の基本構成は、高画質 IPS 液晶ディスプレイを搭載した液晶ペンタブレット本体、グリップペン、および[スタンド](#)です。

本書は本機の[セットアップ](#)の手順と[使用方法](#)について説明しています。コントロールパネルで、本機と電子ペンの設定をカスタマイズできます。詳しくは、[本機をカスタマイズする](#)をご覧ください。

[本機の機能](#)

[電子ペンの機能](#)

本機の機能

本機をお使いになる前に、本機の機能や各部の使い方をご確認ください。本機はオペレーティングシステムとは独立したデバイスのように見えますが、ディスプレイとペンタブレットセンサーは 1 つに統合された出入力デバイスとして機能します。ペンタブレットセンサーは電子ペンの座標、筆圧、傾き、スイッチ、消しゴムなどの情報を認識し、コンピュータに伝えます。

お使いの製品がマルチタッチに対応している場合、タッチセンサーにタッチしたことを認識し、タッチ操作やジェスチャーに関する情報をコンピュータに伝えます。

- 多くのソフトウェアは本機の機能（筆圧機能、傾きおよび回転）に対応しています。ワコムのホームページで、本機の機能に対応したソフトウェアを確認することができます。[製品情報](#)をご覧ください。
- 特定のソフトウェアでの最適な本機の使い方については、ソフトウェアに付属のマニュアルをご覧ください。

Cintiq 24HD touch と Cintiq 24HD は機能の組み合わせが異なります。

機種名	マルチタッチ入力	ペン入力	ファンクションキー	タッチホイール
Cintiq 24HD touch	○	○	○	○
Cintiq 24HD		○	○	○

本書では一部のトピック見出しの近くに以下のアイコンが表示され、そのトピックがマルチタッチ入力またはペン入力についての情報であることを示します。Cintiq 24HD touch と Cintiq 24HD に共通の章では、アイコンは使用されません。

各機種で共通のトピックにはアイコンは表示されません。必要に応じて機種固有の補足を記載します。

- マルチタッチ入力の情報：

- ペン入力の情報：

正面

Cintiq 24HD touch

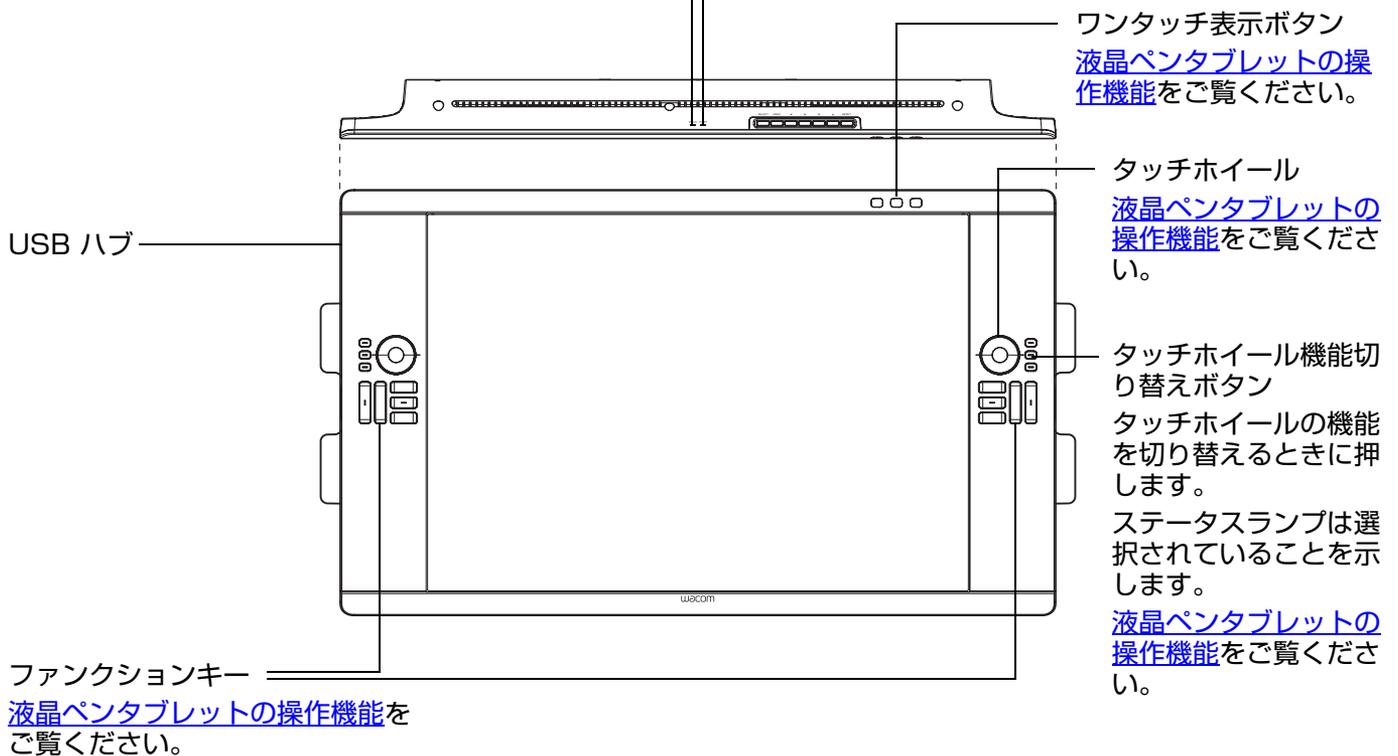


ステータスランプ

- 操作エリアで電子ペンを使用しているとき、ペン先、消しゴム、またはサイドスイッチを押すと青く点灯します。[電子ペンを使う](#)をご覧ください。
- このランプは、USB 接続ケーブルのコネクタが USB ポートに接続され、ビデオ信号が入力されている場合にのみ点灯します。

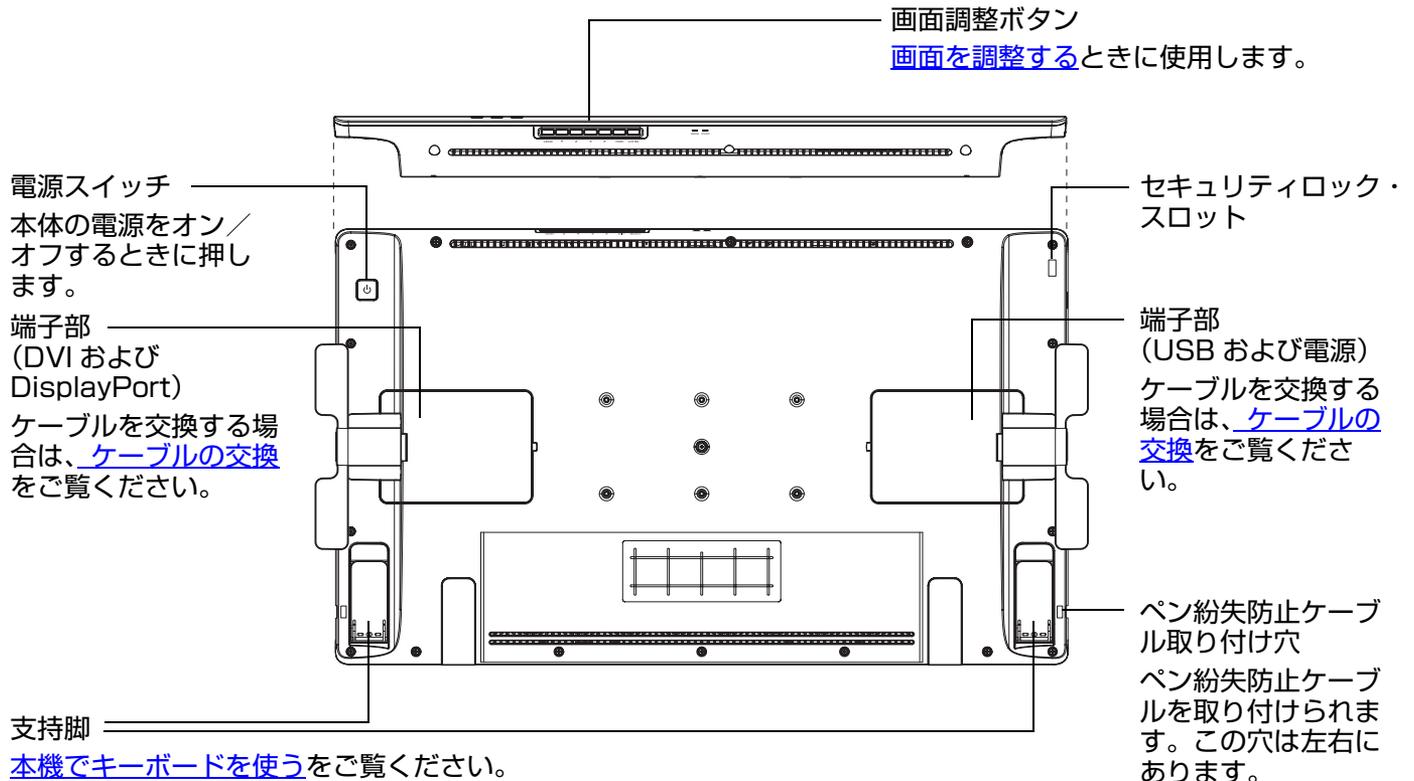
パワーランプ

- 本機の電源がオンのとき、ビデオ信号が入力されると、青色に点灯します。
- ビデオ信号が入力されない場合、オレンジ色に点灯します。（例：コンピュータの電源を切っている、起動中またはビデオ信号が送られない省電力状態になっているとき。）



[裏面](#)もご覧ください。

裏面



正面 ([Cintiq 24HD touch](#) または [Cintiq 24HD](#)) もご覧ください。

続いて、

- [電子ペンの機能](#)および[スタンド](#)について説明します。
- お買い上げの機種が Cintiq 24HD touch の場合は、[マルチタッチ機能](#)についてお読みください。
- [本機のセットアップ](#)が完了していなければ、セットアップを行ってください。

正面

Cintiq 24HD

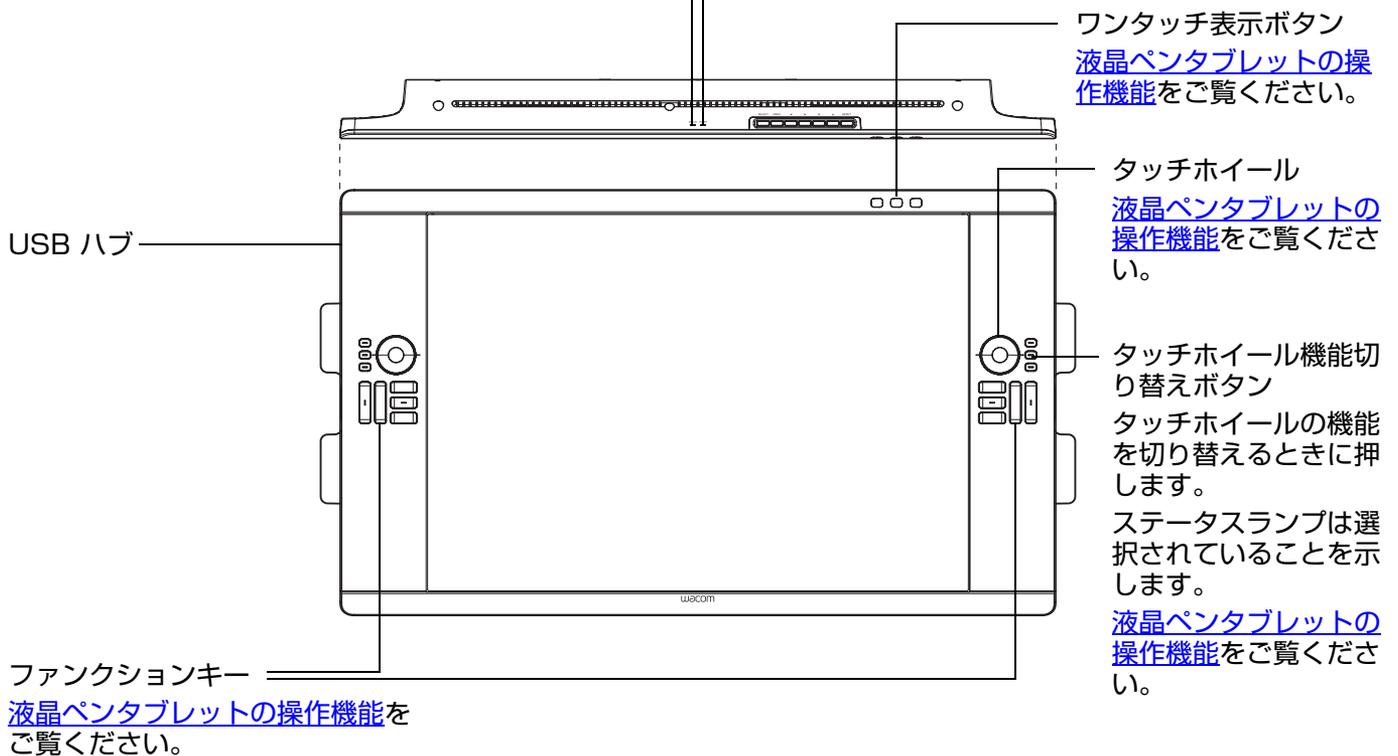


ステータスランプ

- 操作エリアで電子ペンを使用しているとき、ペン先、消しゴム、またはサイドスイッチを押すと青く点灯します。
- このランプは、USB 接続ケーブルのコネクタが USB ポートに接続され、ビデオ信号が入力されている場合にのみ点灯します。

パワーランプ

- 本機の電源がオンのとき、ビデオ信号が入力されると、青色に点灯します。
- ビデオ信号が入力されない場合、オレンジ色に点灯します。（例：コンピュータの電源を切っている、起動中またはビデオ信号が送られない省電力状態になっているとき。）



[裏面](#)もご覧ください。

電子ペンの機能



消しゴム：電子ペンを逆に持ち、画面から 5mm 以内にテールスイッチ（消しゴム）を近づけると、操作エリアはテールスイッチの位置を認識します。
テールスイッチが画面に触れると、筆圧が感知されます。標準設定では、テールスイッチは「消しゴム」に設定されています。
消しゴム機能は、対応しているソフトウェアでのみお使いになれます。

サイドスイッチ：標準の電子ペンにはサイドスイッチが装備されています。サイドスイッチは上下2つあり、押すことによりあらかじめ設定されている機能が働きます。

ペン先が画面に触れていなくてもサイドスイッチは使用できます。標準設定では、上側は「ダブルクリック」下側は「右ボタンクリック」に設定されています。

お知らせ 誤ってサイドスイッチを押さないように持ってください。

ペン先（交換可能）：画面から 5mm 以内にペン先を近づけると、操作エリアはペン先を認識します。これにより、ペン先で画面に触れずにポインタの位置決めができます。

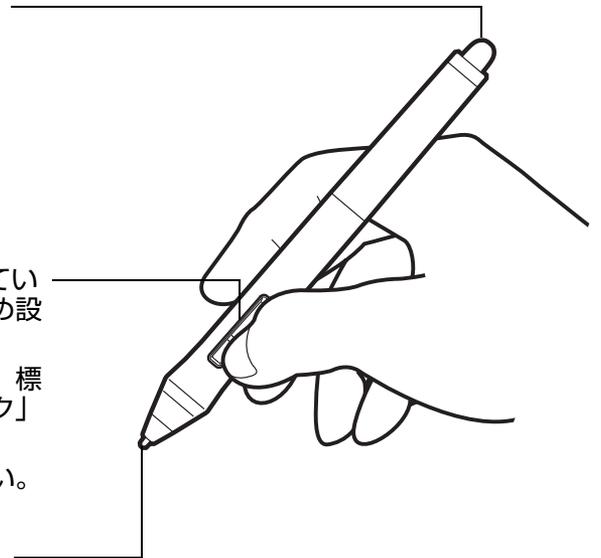
画面に触れると、電子ペンはマウスの左ボタンクリックと同じ働きをします。ペン先のクリック圧は、コントロールパネルで調整できます。

ヒント：電子ペンは、ペン先または消しゴムが画面から 5mm 以内に近づくと検出されます。

本機が自動スリープモードに入った後に再び操作を再開するには、ペン先を検出範囲に近づけるか、またはペン先で画面に触れます。

重要：本機に付属の電子ペン、または対応する電子ペンのみを使用してください。その他の電子ペンでは正常に機能しない場合があります。[オプション品のご案内](#)をご覧ください。また適合する電子ペンの芯は、本機の画面専用に設計されています。他の芯では、本機の画面を損傷させる可能性があります。

電子ペンを使用しないときには、ペンスタンドに収納するか、机の上に横にして置いてください。ペン先や消しゴムが押された状態になる入れ物に電子ペンを収納しないでください。誤った方法で保管すると、電子ペンが故障する場合があります。



スタンドを使う

スタンドは液晶ペンタブレット本体の重量を支えられるように設計されています。

- 本機は様々な用途と作業スタイルに対応しています。本機が最適なポジションになるよう、スタンドを調節してご使用ください。
- 本機は作業台上で位置を移動させて使うことができます。移動後に液晶ペンタブレット本体の高さや角度の再調節が必要になる場合があります。



液晶ペンタブレット本体の位置は、用途に合わせて調節してください。



低い位置で作業をするには、液晶ペンタブレット本体を机上から張り出す位置に調節します。



キーボードでたくさんの文字を入力する場合は、液晶ペンタブレット本体を斜めに調節します。作業内容を他の人に見せる際にもこの角度が便利です。支持脚を引き出して、キーボードを液晶ペンタブレット本体の下に置くこともできます。



また液晶ペンタブレット本体を垂直に近い角度に立て、ディスプレイとして使うこともできます。

[スタンドの機能](#)

[スタンドの設置場所](#)

[液晶ペンタブレット本体の高さと角度を調整する](#)

[本機でキーボードを使う](#)

[ケーブルの交換](#)

スタンドの機能

机の上やその他の作業台上に、本機の設置場所を決めます。[スタンドの設置場所](#)は、本機が落ちたり倒れたりしないような水平な場所にしてください。また、スタンドの構成部品についてもご確認ください。

角度調整レバー

本体の左右両側に付いています。[液晶ペンタブレット本体の高さと角度を調整する](#)ときに使います。

スタンドアーム

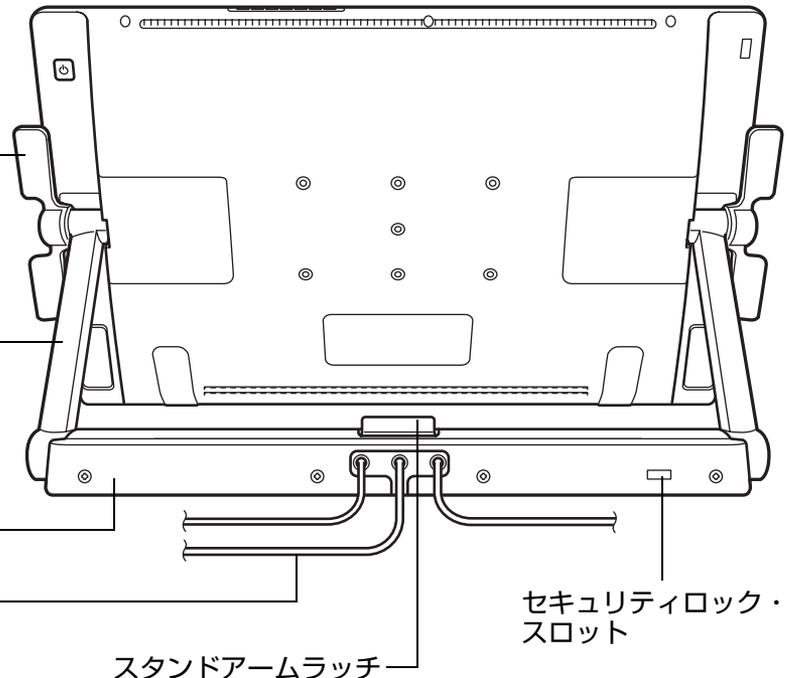
本体の左右両側に付いています。垂直位置でロックされ、スタンドアームラッチを手前に引いてロックを解除すると、角度を変えることができます。

スタンドベース

接続ケーブル

DVI-DVI ケーブル、DisplayPort ケーブル、USB 接続ケーブル、および電源ケーブル。[ステップ1: ハードウェアのセットアップ](#)をご覧ください。

補足：DisplayPort コネクタにつなぐときはスタンドベースのバックカバーを外してDisplayPort ケーブルを取り出してください。[ケーブルの交換](#)をご覧ください。



スタンドアームラッチ

スタンドアームのロックを外すことができます。片手で液晶ペンタブレット本体を少し持ち上げるように支えながら、もう一方の手でラッチを手前（上図では向こう側）に引きます。[液晶ペンタブレット本体の高さと角度を調整する](#)をご覧ください。

⚠ 警告

角度調整レバーやスタンドアームの上部を持って本機を持ち上げないでください。けがをしたりスタンドが破損するおそれがあります。スタンドの可動部のすき間に指をはさまないようにご注意ください。

本機は水平な安定した机や作業台の上などに設置してください。作業台からスタンドベースがはみ出ないように注意してください。スタンドベースが作業台の上に完全に載っていない状態で使用すると、倒れたり落下したりして、けがや故障の原因になります。

不安定な台の上などに本機を置かないでください。ぐらついたり傾いたりした場所、また振動の激しい場所に本機を置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがや故障の原因になります。



スタンドの設置場所

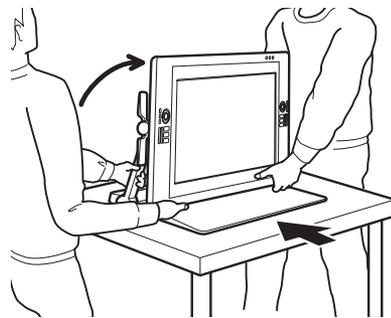
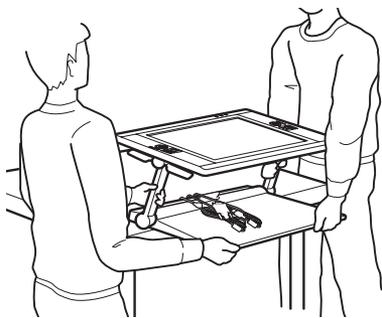
水平で安定した机や作業台などに本機を設置してください。本機は約 29kg あります。本機の重量に耐えられない、十分な幅・奥行きがない机の上もしくは作業台には置かないでください。

- 本機を動かす場合、あらかじめスタンドアームをカチッと音がするまで起こしてスタンドアームをロックし、液晶ペンタブレット本体を水平位置にセットしてください。移動するときはすべてのケーブル類を束ねてスタンドベースの上に置き、本機から垂れ下がらないようにしてください。垂れ下がったケーブルが足に絡むと、破損やけがなどの原因になります。
- 必ず2人以上で作業を行ってください。スタンドベースを持ちながら、もう一方の手でスタンドアーム下部のスタンドベース付近を持ち、本機を持ち上げ慎重に移動させます。

重要： 本機は約 29kg あります。持ち上げるときは、必ず2人以上で行ってください。左右から両手で確実に本機を持つようにしてください。

液晶ペンタブレット本体を持って本機を持ち上げないでください。移動中に液晶画面がたわむと損傷する可能性があります。また液晶ペンタブレット本体からスタンドがぶら下がった状態にすると、破損する可能性があります。必ず、スタンドアームをロックし、2人の動きを合わせて慎重に持ち上げてください。

- 本機は水平で水や油のこぼれていない清潔な机や作業台に設置してください。指を挟まないように気をつけながら、まずスタンドベースの後ろ半分を台の上に載せ、傾いたり落下しないように気をつけながらスライドさせ設置場所まで移動させます。
- 設置が完了したら、角度調整レバーを使って本体を垂直位置に戻してください。



⚠ 警告

角度調整レバーやスタンドアームの上部を持って、本機を持ち上げないでください。また誤った操作はけがやスタンドの破損の原因となる可能性があります。また、スタンドの可動部の隙間に指を挟まないように注意してください。

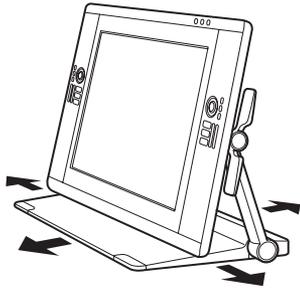
本機は水平で安定した机や作業台の上などに設置してください。作業台からスタンドベースがはみ出ないように注意してください。スタンドベースが作業台の上に完全に載っていない状態で使用すると、倒れたり落下したりして、けがや故障の原因になります。

不安定な台の上などに本機を置かないでください。ぐらついたり傾いたりした場所、また振動の激しい場所に本機を置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがや故障の原因になります。

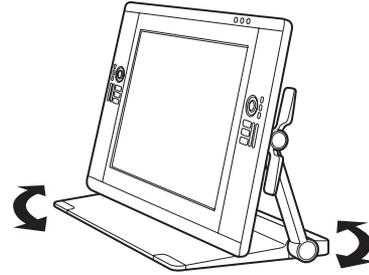
濡れた台の上などに本機を置かないでください。底面のゴムが滑って落下する恐れがあります。



本機を作業台の上でスライドさせて移動することができます。



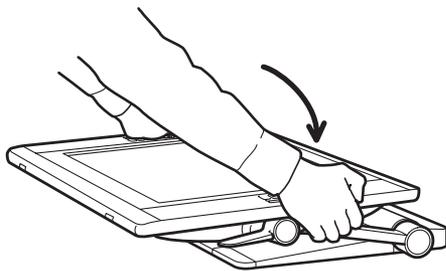
作業台の上でスタンドベース（台座）をスライドさせます。



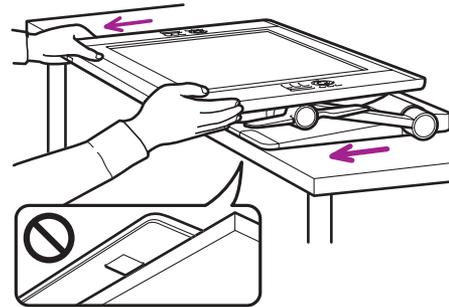
回転させて向きを変えます。

低い位置で作業をしたい方のために、液晶ペンタブレット本体が作業台から張り出した状態で作業をすることができます。

1. **高さ**と**角度**を調整し、液晶ペンタブレット本体を低く水平な状態にします。
2. 本機を手前に引きます。この時、スタンドベースが作業台からはみ出ないようにしてください。



液晶ペンタブレット本体をより低く水平な位置に調節します。



本機をゆっくり手前に引きます。強いひっかかりを感じたら引くのを止めます。スタンドベースが作業台からはみ出していないことを確認してください。

⚠ 警告

本機の設置場所を調整するときは注意してください。本機を手前に引くときは、ゆっくりと水平に動かします。スタンドを作業台から持ち上げないでください。スタンドベースは作業台の端まで動かすことができます。スタンドが作業台からはみ出ないようにご注意ください。

スタンドを引きすぎたときやスタンドベースが作業台からはみ出た場合には、スタンドベース底面のパッドのひっかかりが強くなりスタンドはその場に「ロック」されます。この場合は、それ以上スタンドを引っ張らないでください。

作業台の端に合わせて、スタンドを押し戻します。

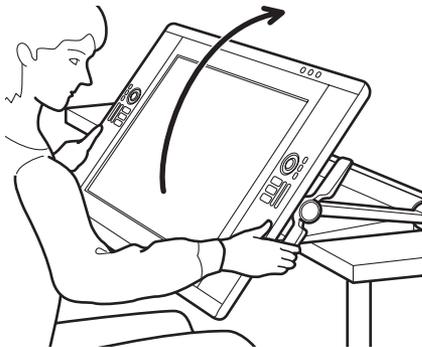
スタンドを誤った動かし方をしたり「ロック」された位置からさらに引っ張ったりした場合には、本機の転倒や落下によりけがや破損につながる可能性があります。本機は約 29kg あります。移動には十分注意をしてください。



3. 液晶ペンタブレット本体の高さと角度を必要に応じて再調整します。



4. 作業が終わったら、角度調整レバーで画面を立て、液晶ペンタブレット本体を完全に作業台の上に戻します。本機を使用していないときは、完全に作業台の上に載っていることを確認してください。



重要：作業の終了時には、液晶ペンタブレット本体を完全に作業台の上に戻してください。

⚠ 警告

液晶ペンタブレット本体が作業台からはみ出した状態で使用する際は、絶対に本体の下部を押したり寄りかかったりしないでください。スタンドが作業台から落ちたり倒れたりして、けがや故障の原因になります。作業の終了時には、液晶ペンタブレット本体を完全に作業台の上に戻してください。



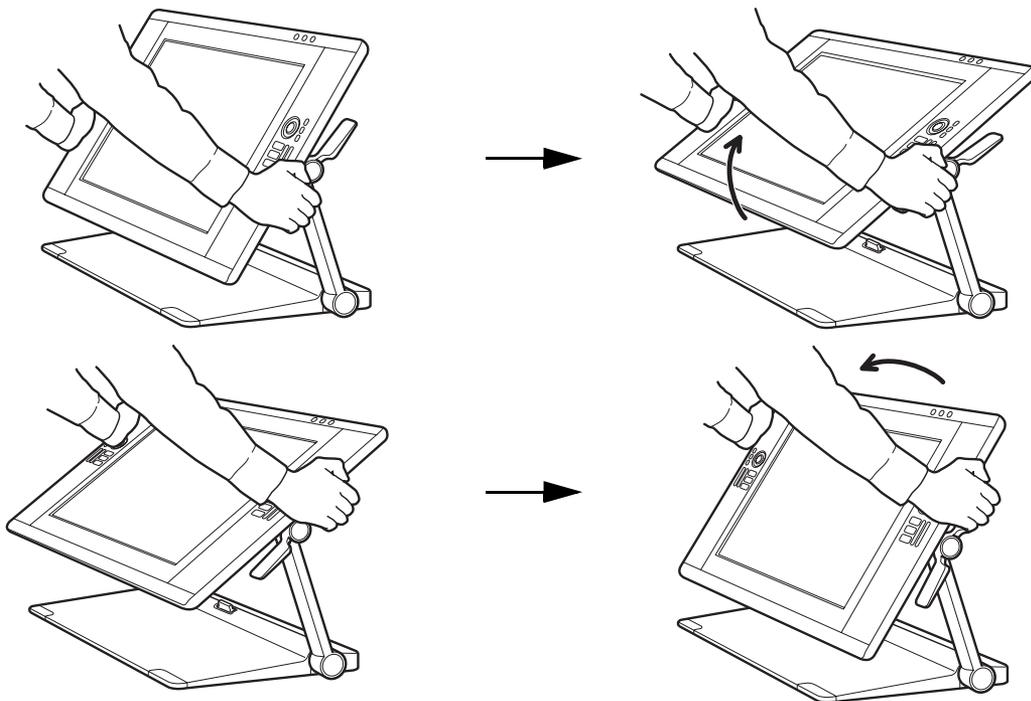


液晶ペンタブレット本体の高さと角度を調整する

液晶ペンタブレット本体の高さと角度を、最適な位置で使えるよう調整することができます。

液晶ペンタブレット本体の角度を変えるには、液晶ペンタブレット本体の正面から角度調整レバーごと左右両端を持ちます。指で角度調整レバーを本体側に軽く引きます。これによりクラッチ機構のロックが外れ、液晶ペンタブレット本体を傾けて角度を調整することができます。

- 本機左右両側の角度調整レバーを同時に引きます。例：両側とも下側のレバーを引く、あるいは両側とも上側のレバーを引きます。
- より水平にするには、下側のレバーを引き、液晶ペンタブレット本体を目的の位置までゆっくり上向きに回転させます。
- より垂直にするには、上側のレバーを引き、液晶ペンタブレット本体を目的の位置までゆっくり下向きに回転させます。
- 液晶ペンタブレット本体が目的の位置にきたら、角度調整レバーを離してロックします。
- 液晶ペンタブレット本体の傾き角度は、上記を参考にやりやすい方法で調整してください。



補足：角度調整レバーには、クラッチが噛み合うまでに一定の遊びがあります。

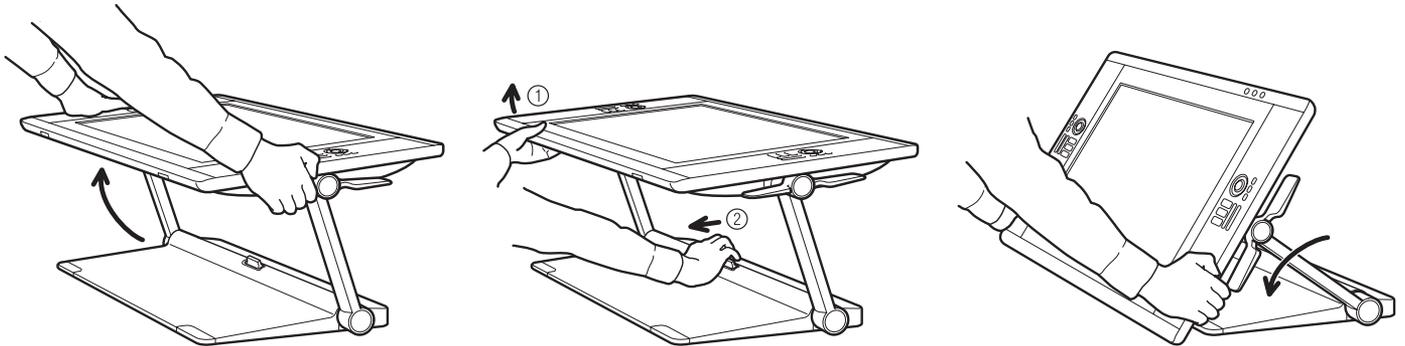
液晶ペンタブレット本体をより垂直になるよう角度調整するとき、スタンドが前方に動きそうになる場合があります。この場合は、上側のレバーで液晶ペンタブレット本体を少し手前に引きます。

重要：液晶ペンタブレット本体を垂直位置にして使用する場合、スタンドアームは起こした位置でロックします。



スタンドアームのロックを外す方法：

1. 角度調整レバーを使用して液晶ペンタブレット本体を水平方向に角度調整すると、スタンドアームラッチを操作することができます。
2. ①片手で液晶ペンタブレット本体を少し持ち上げます。
②もう一方の手でスタンドアームラッチを手前に引きます。これでロックが解除され、スタンドアームを動かすことができます。



⚠ 警告

スタンドアームのロックを外すときは、必ず先に液晶ペンタブレット本体を一方の手で支えてください。また、ロックを外すときはスタンドアームを持たないでください。準備をせずにスタンドアームのロックを外すと、液晶ペンタブレット本体が落下しけがや破損につながる可能性があります。

3. 液晶ペンタブレット本体をスタンドベースの上または作業台の上まで、ゆっくりと下げます。

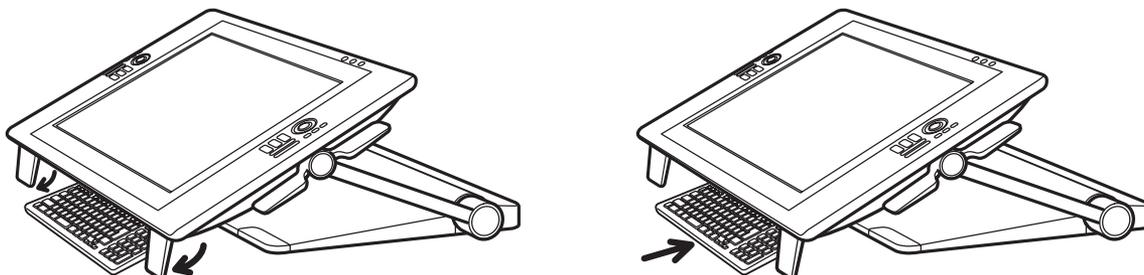
ヒント：液晶ペンタブレット本体下部の支持脚を下ろして画面を少し持ち上げると、液晶ペンタブレット本体の下側にキーボードなどを置くことができます。[本機でキーボードを使う](#)をご覧ください。



本機でキーボードを使う

液晶ペンタブレット本体下部の支持脚を下ろすと、液晶ペンタブレット本体の下側にキーボードなどを置くことができます。

- 支持脚は液晶ペンタブレット本体裏面の両端下部にそれぞれ1つずつ付いています。支持脚を起こし、それぞれを上に向けて軽くカチッと音がするまで押し上げます。
- 必要に応じて高さや角度を調整します。支持脚は作業台上で左右均等に安定させてください。
- こうしてできた液晶ペンタブレット本体下のスペースに、キーボードなどの入力デバイスを置くことができます。



重要： 支持脚を収納するときは、支持脚を下方方向に引き下げてから、元に戻します。



ケーブルの交換

接続ケーブル (DVI-DVI、DisplayPort、USB、および電源) はあらかじめ本機に装着されています。

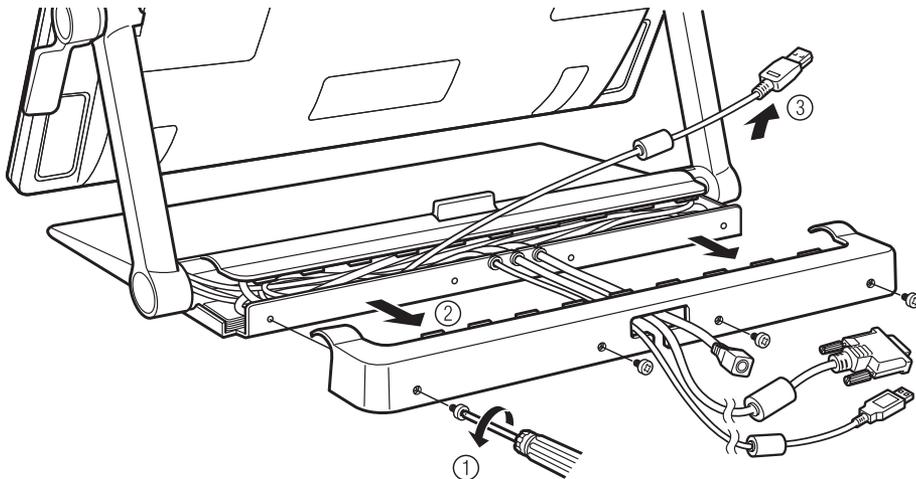
DisplayPort 接続をする場合は、スタンドベースのバックカバーを外して DisplayPort ケーブルを取り出します。

1. バックカバーのネジ (+ネジ、4 本) を外してバックカバーを取り外します。

重要: • ネジ山が潰れないように慎重に作業をしてください。

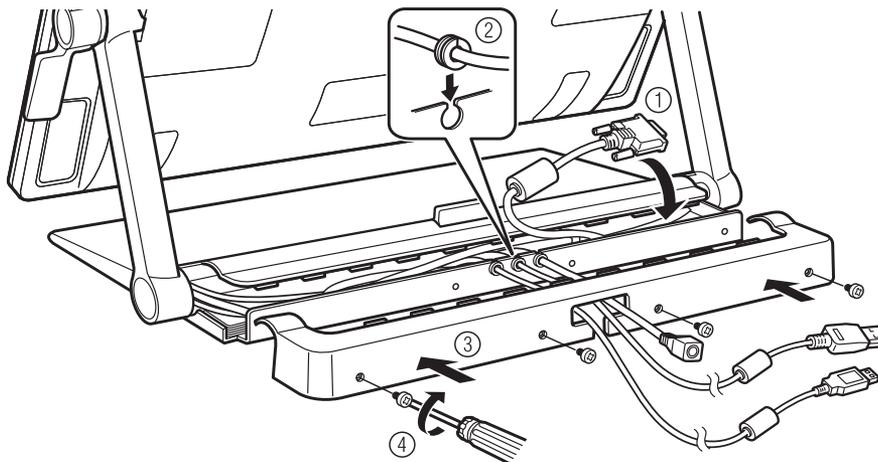
• 取り外したネジを紛失しないようにしてください。

2. DisplayPort ケーブルを引き出し、スタンドベース中央のケーブル通し穴を通して外に出します。DVI-DVI ケーブルは束ねてスタンドベース内部に収納します。



ネジ: 平頭ネジ、M3-6

3. バックカバーを元のように取り付け、手順1のネジで再び固定します。

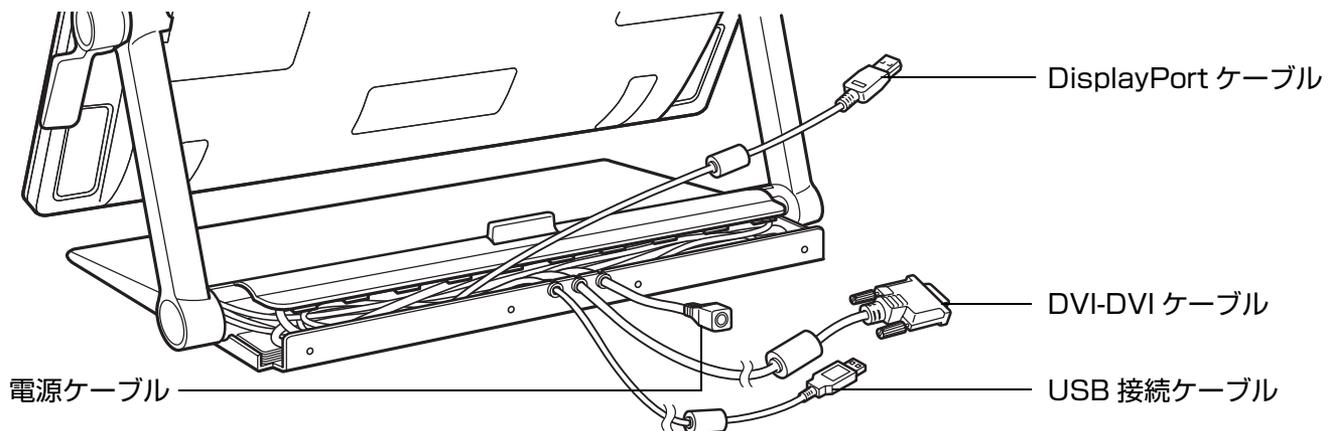


以下のような場合には、装着している接続ケーブルを取り外す、あるいは交換する必要があります。

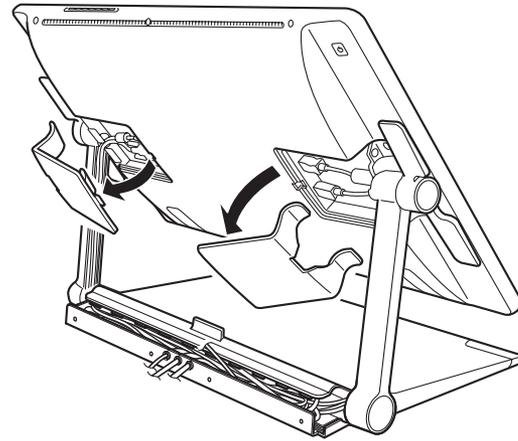
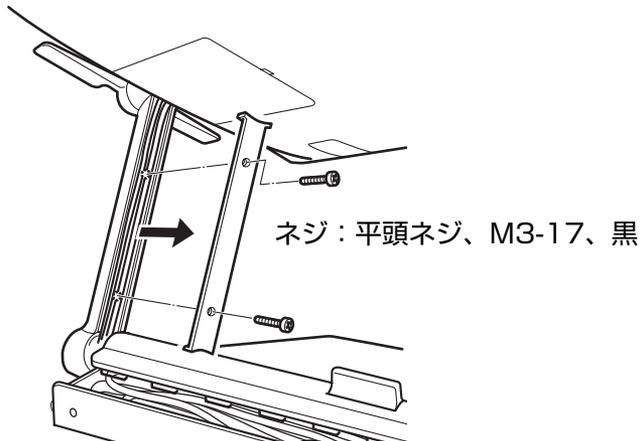
- アナログ RGB 接続をする場合は、DVI-DVI ケーブルを取り外し、付属の DVI-RGB ケーブルに交換します。
- 液晶ペンタブレット本体を VESA マウントアームに取り付けて、さらに付属のケーブルを使う場合。
- 動作不良のケーブルを交換する場合。

ケーブルを取り外すには：

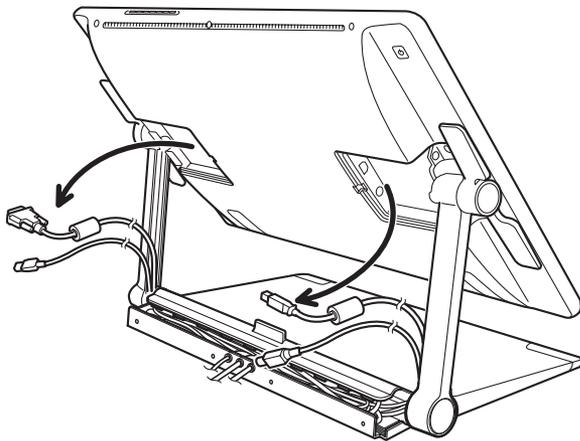
1. スタンドベースのバックカバーを前ページのようにして取り外します。
2. 取り外すケーブルを確認します。下図を参考にしてください。



- 液晶ペンタブレット本体裏面の端子部のカバーを取り外します。
- スタンドアームを立てて垂直位置でロックし、裏面の作業ができるように液晶ペンタブレット本体の角度を調整します。続いて、取り外したいケーブルを収納しているスタンドアームのカバーから、ネジ（+ネジ、2本）を取り外します。



- ケーブルのコネクタを取り外し、スタンドアームからケーブルを引き出します。



重要：ケーブルを取り付けるまたは交換するとき、スタンドアームの回転軸（液晶ペンタブレット本体とスタンドベースのつなぎ目）には、特にていねいに正しくケーブルを通してください。ケーブルが正しく通っていないと、回転機構にケーブルが引っかかる可能性があります。

- 手順1～5と逆の手順で新しいケーブルを取り付けます。

本機を使用する

液晶ペンタブレット本体およびスタンドは、幅広い柔軟性を追求し人間工学に基づいて設計されています。お使いになる方は、必要に応じて液晶ペンタブレット本体を様々な高さや角度に調整することができます。それぞれの使い方と用途に合わせ、[液晶ペンタブレット本体の高さと角度を調整する](#)方法を試してみてください。

Cintiq 24HD touch (DTH-2400) では、電子ペンとマルチタッチを使いながら作業することができます。対応しているソフトウェアでは、片手で電子ペンを使い、もう一方の手でタッチジェスチャーを使うことができます。

- 電子ペンはタッチ操作よりも優先されます。

例：タッチ操作でデスクトップ上のアイコンをドラッグし、続いてペン先を画面上の読取可能高さ範囲内に持ってきた場合は、ポインタは電子ペンに従います。

電子ペンでの作業中にタッチ操作を使いたい場合は、まず電子ペンを持ち上げ画面から離してください。

- 電子ペンで操作する時、電子ペンを持つ手が画面に触れてもタッチとして認識しないようになっています。ペン先が読取可能高さ範囲内に入る前に手や手首が画面に触れないように注意してください。

[姿勢と作業環境を整える](#)

[利き手の設定をする](#)

[電子ペンを使う](#)

[液晶ペンタブレットの操作機能](#)

[マルチディスプレイ環境で使う](#)

[画面を調整する](#)

[Cintiq 24HD touch のマルチタッチ機能を使う](#)をご覧ください。

姿勢と作業環境を整える

疲労を軽減させるために、作業環境を整え、楽に作業ができるようにしてください。本機、電子ペン、キーボードを手の届きやすい場所に配置してください。目を疲れさせずに、楽に見ることができるような場所に本機やその他のディスプレイを置いてください。

- これから作業環境を整える場合は、使用する人の利き手に合わせて[本機を設定](#)してください。
- 本機をディスプレイとして使用する場合、本機の上端がユーザの目線と一致するように調整してください。



最適なポジションに[本機を調整](#)します。

- 常に正しい姿勢でご使用ください。
- 作業の合間に休憩を取り、コンピュータ画面から目を離して室内の他のものを眺めたり、窓から外の風景を眺めるなど、両目を休ませるようにしてください。
- 電子ペンは軽く握ってください。作業の合間に短い休憩をはさみ、ストレッチをして筋肉をほぐすようにしてください。
- 1日のうちで性質の異なる作業を入れ替えて行ってください。不快感を伴う不自然な姿勢や、反復動作を控えてください。
- 作業姿勢に不快感を感じたら、姿勢を変えてください。
- この章をよく読み、本機を使った作業についてさらに学習してください。
- 最適な作業のしかたについては、本機の[カスタマイズ](#)の基本事項をご覧ください。

ヒント：本機をコンピュータに接続した状態で移動させると、ケーブルが引っ張られて抜ける場合がありますので注意してください。

また液晶ペンタブレット本体は、市販のVESA (Video Electronics Standard Association) 規格のマウントアームやディスプレイスタンドに取り付けることも可能です。詳しくは[マウントアームに取り付けて使う](#)をご覧ください。

利き手の設定をする

タブレットドライバのインストール中に、初期設定の利き手を選択する画面が表示されます。このとき選んだ設定が、ファンクションキーとタッチホイールの初期設定に使用されます。

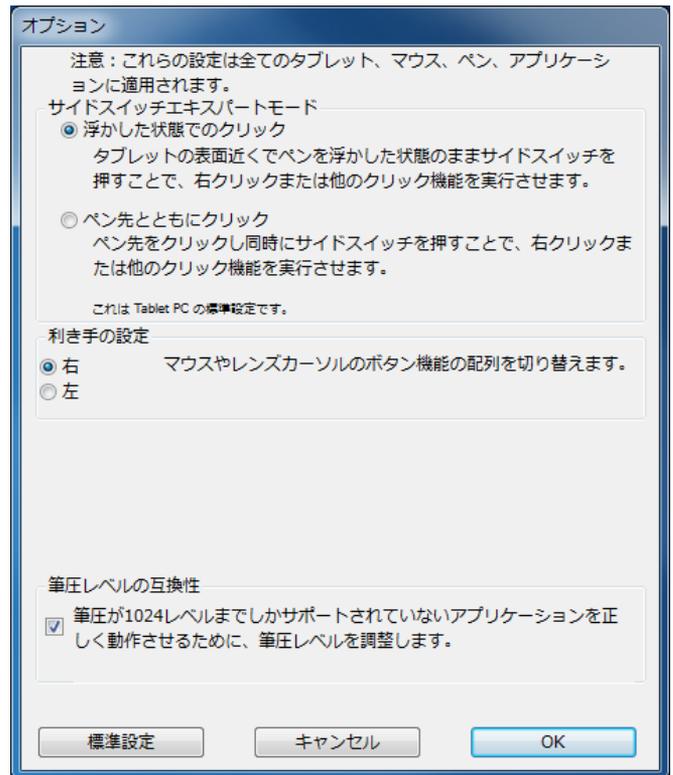
ただし、コントロールパネルで、いつでも右利きまたは左利きの利用者に合わせて本機の設定を変更することができます。利き手の設定を変更すると、自動的にファンクションキーおよびタッチホイールの設定が変更されます。

利き手の設定を変更するには：

1. コントロールパネルを開き、「オプション」をクリックします。
2. 利き手の設定を変更します。
3. 「OK」をクリックします。ファンクションキーおよびタッチホイールのモード設定は左右入れ替わります。

補足：ワンタッチ表示ボタンは、利き手設定を変更しても変わりません。

上の設定変更は、初期設定には影響しません。システムログオン画面およびユーザ切り替え画面の時は、タブレットドライバインストール中に選択した初期設定の向きが使われます。初期設定を変更するには、タブレットドライバを再度インストールしてください。



電子ペンを使う



コードレス・電池レスの電子ペンは、筆圧機能および傾き検出機能に対応しています。

電子ペンの基本的な使い方は、ポインタの移動、クリック、ダブルクリック、ドラッグの4つです。電子ペンを使うことに慣れていない場合は、下記のページからの練習を行ってください。

補足：電子ペンとマルチタッチの両方に対応する機種では、対応するソフトウェア内で、電子ペンとタッチ操作を同時に使うことができます。例えば、Photoshop で色の混合を行う場合に、電子ペンを使いながらマルチタッチを使用することもできます。ペン先または消しゴムが本機の読取可能高さ範囲内にある限り、電子ペンはタッチ操作よりも優先します。タッチ操作を行うには、電子ペンを持ち上げ電子ペンを持つ手を画面から離してください。

電子ペンの操作中に意図しないタッチ動作が生じる場合は、ワンタッチ表示ボタンの右端のボタンを押して、タッチ入力を無効にすることができます。[ファンクションキーとタッチホイールをカスタマイズする](#)をご覧ください。電子ペンによる作業を終えたら、再度そのボタンを押すと、[マルチタッチ入力](#)を再開することができます。

[電子ペンの持ち方](#)

[ポインタの移動](#)

[クリック](#)

[ドラッグ](#)

[サイドスイッチを使う](#)

[筆圧を使って描画する](#)

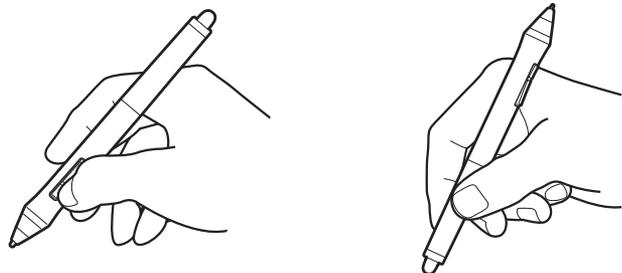
[傾きを使って描画する](#)

[消しゴムを使う](#)

電子ペンの持ち方



鉛筆やボールペンと同じようにお持ちください。電子ペンを握る位置を調節し、サイドスイッチを親指または人差し指で簡単に押せるようにしてください。電子ペンで線を引いたり位置を決めたりするときに誤ってサイドスイッチを押さないようにしてください。最も描きやすいように電子ペンを傾けてご使用ください。本機を使用するときは、軽く手を画面上に載せます。

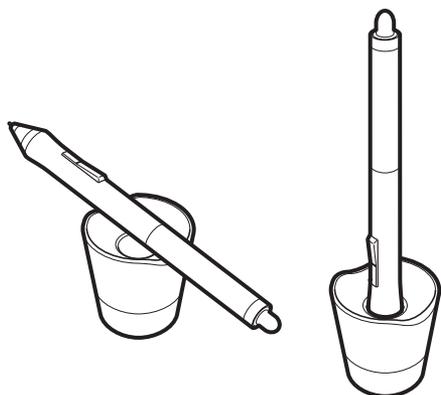


カラーペン
リング

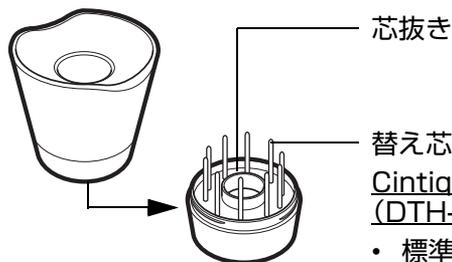
複数の電子ペンを使用していて、それぞれの電子ペンの識別をしたい場合には、電子ペンの先端を緩めて外し、別の色のカラーペンリング（非売品）に交換します。

電子ペンの設定はいつでも[カスタマイズ](#)可能です。

ペンスタンドは手の届きやすいところに置きます。電子ペンを使用しないときはペンスタンドに収納するか、水平な机の上に横にして置いてください。ペンスタンドには、電子ペンを垂直または水平に置くことができます。ペン先の感度を維持するため、ペン先やテールスイッチが押された状態になる入れ物には保管しないでください。



ペンスタンドの底部分を回して外し、芯抜きと替え芯を取り出すことができます。



芯抜き

替え芯

Cintiq 24HD touch
(DTH-2400) の場合：

- 標準芯 10本

Cintiq 24HD (DTK-2400)
の場合：

- 標準芯 6本
- ハードフェルト芯 3本
- ストローク芯 1本

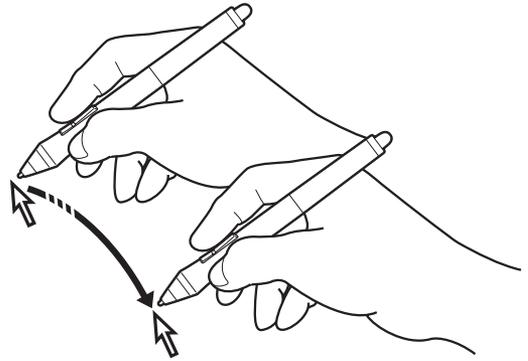
重要：電子ペンの感度を維持するため、ペン先やテールスイッチが押された状態になる置き方は避けてください。誤った方法で保管すると、電子ペンが故障する場合があります。

ポインタの移動



画面に電子ペンを近づけるとポインタがペン先の下に移動します。画面に触れずに電子ペンを画面の少し上で動かしますとペン先に合わせてポインタが移動します。続いてペン先で画面にタッチして選択します。

補足：[ペン先の位置調整](#)をすると、ポインタの位置を正確にペン先と合わせることができます。ペン先を画面に置いてもポインタがペン先の近くに移動しない場合は、タブレットドライバがインストールされていないか、起動していない可能性があります。必要に応じて、タブレットドライバをインストールしてください。または、[トラブルシューティング](#)をご覧ください。



クリック

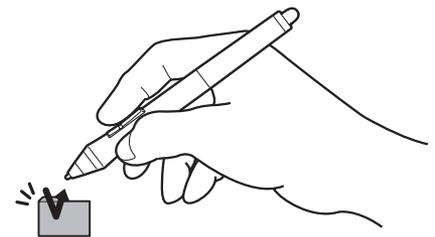


画面をペン先で 1 回軽くたたか、クリックと認識されるぐらいの筆圧でペン先を画面に押し当てます。

ヒント：電子ペンをアイコンに近付けると選択され、ワンクリックでアイコンが起動するように Windows を設定することができます。この機能を使うときは、まずフォルダを開き、続いて以下の設定を行ってください。

Windows 7 の場合：「整理」プルダウンメニューから、「フォルダと検索のオプション」を選択します。「全般」タブで「ポイントして選択し、シングルクリックで開く」を選択します。

Windows Vista と XP の場合 (Cintiq 24HD のみ)：「ツール」プルダウンメニューから、「フォルダオプション」を選択します。「全般」タブで「ポイントして選択し、シングルクリックで開く」を選択します。

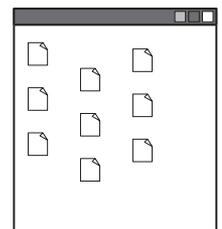
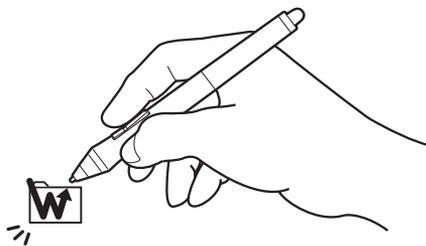


ダブルクリック



上側のサイドスイッチを押すか（「ダブルクリック」に設定されている場合）、または同じ場所でディスプレイ画面をペン先で素早く 2 回、軽くたたきます。

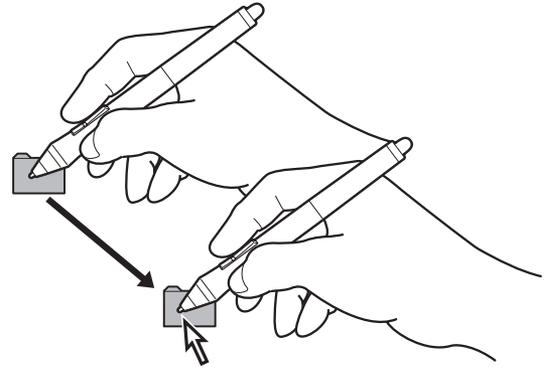
画面に垂直に近い角度で電子ペンを使用すると、ダブルクリックはしやすくなります。



ドラッグ



オブジェクトを選択し、次にペン先を画面につけたままスライドさせてオブジェクトを移動します。



サイドスイッチを使う



電子ペンにはサイドスイッチが付いています。サイドスイッチは上下2つあり、押すことによりあらかじめ設定されている機能が働きます。ペン先が画面の近く（5 mm 以内）にあるときは、いつでもサイドスイッチを使用することができます。ペン先で画面に触れる必要はありません。標準設定では、上側のスイッチは「ダブルクリック」、下側のスイッチは「右ボタンクリック」に設定されています。スイッチの機能はコントロールパネルで変更または無効に[カスタマイズ](#)することができます。

筆圧を使って描画する



電子ペンは手の動きに反応し、自然な感じのペンやブラシのストロークを描きます。筆圧対応のソフトウェアは、電子ペンに加えられた筆圧に反応します。

筆圧を使用して、線を引いたり、色を塗ったり、文字を書いたりするには、ペン先に加える力を変えながら、ペン先で液晶画面をなぞるようにして電子ペンを移動させます。線を太く、または色を濃くするには、強く押します。線を細く、または色を薄くするには、軽く押します。なお、ソフトウェアによっては最初にツールパレットから筆圧ツールを選択する必要があります。

ペン先の書き味を調整するには[ペン先の感触とダブルクリックの調整](#)をご覧ください。

筆圧に対応するグラフィックソフトについては、ワコムのホームページ、および[製品情報](#)をご覧ください。

傾きを使って描画する



電子ペンを垂直位置から傾けると、本機がこれを認識します。ソフトウェアが対応している場合、電子ペンの傾きで線の形と太さのコントロールすることができます。

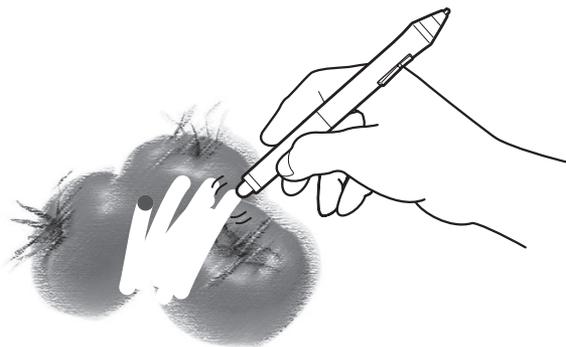
傾きに対応しているソフトウェアについては、ワコムのホームページおよび[製品情報](#)をご覧ください。

消しゴムを使う



消しゴム機能に対応するソフトウェアでは、電子ペンのテールスイッチは鉛筆の消しゴムのように機能します。文章作成ソフトウェアでは、テールスイッチで文字を選択して画面からペンを持ち上げると、その文字が消去されます。

消しゴム機能に対応するグラフィックソフトについては、ワコムのホームページ、および本書の[製品情報](#)をご覧ください。ソフトウェアが消しゴム機能に対応していない場合でも、ポインタの移動や、線引き、アンテーション（書き込み）には、消しゴムを使うことができます。



液晶ペンタブレットの操作機能

ソフトウェアでの操作性を向上させるために、本機にはファンクションキーおよびタッチホイールが付いています。利き手でマルチタッチまたは電子ペンを使用しながら、もう一方の手でファンクションキーまたはタッチホイールを操作できます。

ワンタッチ表示ボタン

専用のボタンを押して機能を開始します。

[ワンタッチ表示ボタンを使う](#)をご覧ください。

タッチホイール

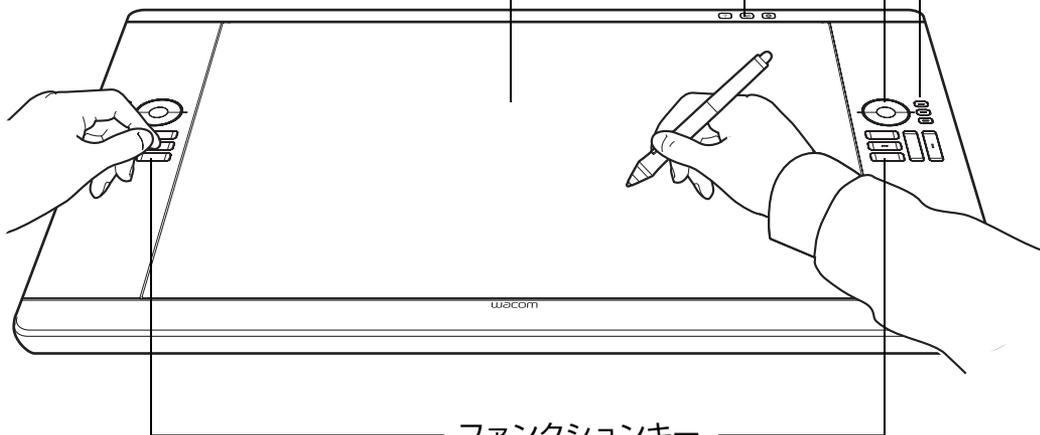
タッチホイール上で指を滑らせてズーム、スクロール、あるいはキーストロークの機能を実行できます。[タッチホイールを使う](#)をご覧ください。

タッチホイール機能切り替えボタン

押すことにより、タッチホイールの機能を選択できます。

ステータスランプは選択されていることを示します。それぞれのボタンを押すと、ボタンの設定がディスプレイ上に表示されます。

操作エリア



ファンクションキー

ファンクションキーを押すことによって、よく使われる機能、キーストローク、ボタンのクリック、修飾キーなどを実行できます。ファンクションキーはカスタマイズが可能です。[ファンクションキーを使う](#)をご覧ください。

[マッピング画面切り替え](#)機能はマルチディスプレイで構成されている場合に利用できます。この機能を使うと、本機と他のディスプレイとの間でポイントが対応する画面を切り替えることができます。例えば本機を、液晶ペンタブレットとしての使い方（ポインタの位置はペン先）、あるいは標準のペンタブレットとしての使い方（ポインタはデスクトップ全体または他のディスプレイ上を移動できる）に切り替えることができます。

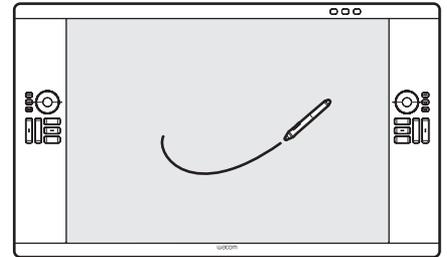




ペン入力

画面上のどこに電子ペンを置いても、画面のポインタは対応する位置に移動します。

[電子ペンを使う](#)をご覧ください。



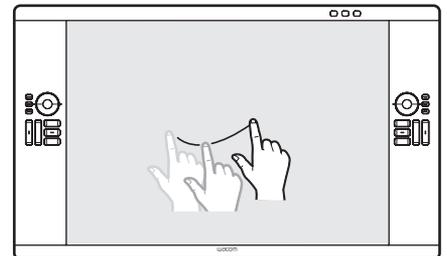
マルチタッチ入力

タッチ入力可能な機種では、以下のことができます。

- 指を使って、画面上でポインタの位置を決める。ポインタは画面上の指先が触れた位置に移動する。
- クリックおよび右クリック
- スクロールおよびズーム
- ほとんどの Web ブラウザや文書 / 写真ビューワでのページの移動
- ラジアルメニューの表示
- ソフトウェアの切り替え、およびデスクトップの表示
- 作業の保存
- タブレット設定内容の表示

ジェスチャーのいくつかはカスタマイズが可能です。

[Cintiq 24HD touch のマルチタッチ機能を使う](#)をご覧ください。



Cintiq 24HD touch の場合：

対応するソフトウェア内で、同時に電子ペンとタッチ操作を使用して作業することができます。例えば電子ペンを使用して表面テクスチャを作成する場合に、タッチを使って 3D オブジェクトを回転させることができます。ペン先または消しゴムが液晶ペンタブレットの検出範囲にある限り、電子ペンはタッチよりも優先します。タッチ操作を行うには、電子ペンを持ち上げ電子ペンを持つ手を画面から離してください。

ワンタッチ表示ボタンを使う

ワンタッチ表示ボタンを押すと、以下の機能を実行することができます。

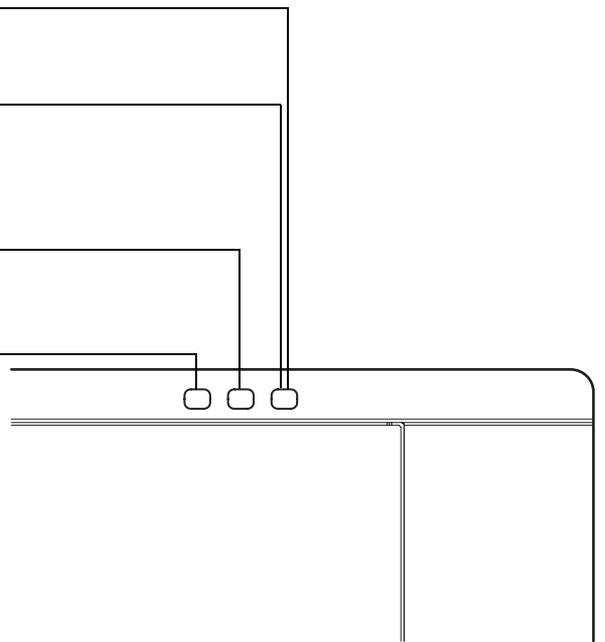
- マルチタッチ入力ของオン/オフを切り替える。
- 素早くコントロールパネルやオンスクリーンキーボードを起動する。
- 本機の現在の設定を表示する。

Cintiq 24HD touch (DTH-2400) の場合：このボタンを押すと、マルチタッチ入力ของオン/オフが切り替わります。

Cintiq 24HD (DTK-2400) の場合：このボタンを押すと、コントロールパネルが開きます。閉じるときは再度押します。

このボタンを押すと、オンスクリーンキーボードが起動します。閉じるときは再度押します。

このボタンを押すと、(ディスプレイに) 本機のファンクションキー、タッチホイール、および電子ペンの設定内容が表示されます。それぞれの設定項目について現在の機能が表示されます。表示を消すときは再度押します。



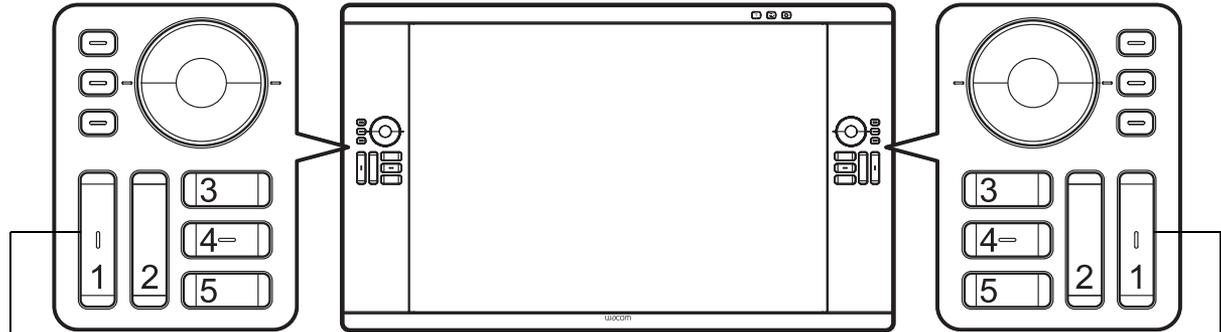
補足：ワンタッチ表示ボタンはカスタマイズできません。

お使いのコンピュータによっては、動作が遅い場合があります。

ファンクションキーを使う

ファンクションキーを押すと、よく使われる機能やキーストロークを実行できます。ファンクションキーは、作業を進めながら電子ペン、タッチ入力、またはその他の入力デバイスのプロパティを変更するためにも使うことができます。お使いの機種が[マルチタッチ入力](#)に対応していれば、以下の機能の多くはジェスチャーで実行することができます。

ファンクションキーの標準設定は以下のとおりです。



1. [Shift] キー
2. [Alt/Opt] キー
3. [ラジアルメニュー](#)
4. [Ctrl/Cmd] キー
5. [スクロール / 移動](#) (スペース)

1. 取り消し ([Ctrl/Command]+[Z])
2. やり直し ([Ctrl/Command]+[Y])
3. ブラシパネル ([F5])
4. [プレジジョンモード](#)
5. [マッピング画面切り替え](#)

ここでは右利きの設定を例にしています。左利きの場合では、「ファンクションキー」の設定が左右逆になります。

補足：2つのファンクションキーを組み合わせる操作をすることができます。たとえば、1つのボタンに [Ctrl] キーを、別のボタンに [Alt] キーを割り当てた場合、両方のボタンを同時に押すと、[Ctrl] + [Alt] が実行されます。



タッチホイールを使う

ホイール上で指を回転するように滑らせることで、表示中の文書や画像をスクロールしたり、拡大縮小したりすることができます。割り当てられたキーストローク機能を実行することもできます。



拡大の例

指でホイールを時計回りになぞると、多くのソフトウェアでは拡大、または下方向へスクロールが行えます。またホイールの上側をタップすると、1段階ずつ拡大、または下方向へスクロールされます。



縮小の例

指でホイールを反時計回りになぞると、多くのソフトウェアでは縮小、または上方向へスクロールが行えます。またホイールの下側をタップすると、1段階ずつ縮小、または上方向へスクロールされます。

タッチホイール機能切り替えボタンを押すと、タッチホイールの3つの機能が切り替わります。ステータスランプは選択されていることを示します。それぞれのボタンを押すと、ボタンの設定がディスプレイ上に表示されます。



ホイールの上側または下側をタップすると、1段階ずつ拡大/縮小、または下方向/上方向へスクロールされます。

標準設定：ここでは右利きの設定を例にしています。

上ボタン：「オートスクロール/ズーム」。多くのグラフィックソフトウェアでズーム機能に、他のソフトウェアではスクロール機能に設定されます。

ソフトウェアによっては、ズームがスクロールとみなされたり、あるいは全く機能が働かない場合があります。同様に、スクロールがズームとみなされたり、全く働かない場合もあります。

中ボタン：「ブラシサイズ」。Adobe Photoshop で、ブラシのサイズを大きくしたり小さくしたりできます。

下ボタン：「回転」。Adobe Photoshop で、画像全体を回転させたり 反転させることができます (Adobe Photoshop CS4 またはそれ以降対応)。

補足：タッチホイールの動作を変更する方法については[タッチホイールをカスタマイズする](#)をご覧ください。

左利きの場合では、「タッチホイール」の設定が左右逆になります。

重要：ソフトウェアによっては、タッチホイールの設定を無効にして、タッチホイールの機能を制御する場合があります。詳細については、[タブレットコントロールができる処理が組み込まれたソフトウェアを使う](#)をご覧ください。

コントロールパネルからタッチホイールの機能をカスタマイズします。

[コントロールパネルの設定を管理する](#)

[コントロールパネルの概要](#)

[タッチホイールをカスタマイズする](#)



マルチディスプレイ環境で使う

本機および他のディスプレイを同一のコンピュータに接続して、マルチディスプレイ環境で使用することができます。

マルチディスプレイ環境で使用する場合には、他のディスプレイを操作するオプションがいくつかあります。

- ファンクションキーまたは電子ペンのサイドスイッチを「マッピング画面切り替え」機能に設定します。続いて設定したファンクションキーまたはサイドスイッチを押すと、本機と他のディスプレイとの間でポインタが対応する画面を切り替えることができます。

例：[マッピング画面切り替え](#)によって、本機を液晶ペンタブレットとしての使い方（ポインタの位置はペン先）、あるいは標準のペンタブレットとしての使い方（ポインタはデスクトップ全体または他のディスプレイ上を移動できる）に切り替えることができます。

- ファンクションキーまたは電子ペンのサイドスイッチの1つを「ペン⇄マウスモード」に設定します。これによって本機の上で作業するペンモードと他のディスプレイ上で作業するマウスモードをすばやく切り替えることができます。

Intuos5をお持ちの場合は、一緒に接続して、ペンモードで使うことができます。電子ペンは本機と Intuos5 で共通です。

補足：マルチディスプレイ環境の接続方法については、ご使用のコンピュータの取扱説明書をご覧ください。



画面を調整する

様々な表示設定を、本機の操作で最適化できます。

[画面を調整する](#)

[画面の調整](#)

[Cintiq 24HD touch の画面調整機能](#)

[Cintiq 24HD の画面調整機能](#)

[省電力機能](#)

画面を調整する

標準設定（お買い上げ時の設定）：画面を最適品質にする場合には、コンピュータを本機で利用可能な最大解像度 1920x1200 に設定します。詳しくは「製品に関する重要なお知らせ」をご覧ください。

オートアジャスト機能：本機は、自動的に入力信号に同期します。オートアジャスト機能によって、水平および垂直位置、ピッチおよびフェーズが設定されます。オートアジャスト機能は、サポートする水平および垂直周波数レンジ間で機能します。詳しくは「製品に関する重要なお知らせ」をご覧ください。

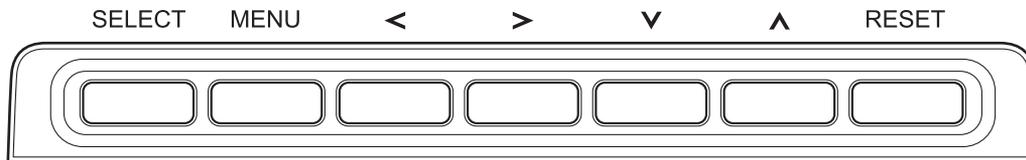
アナログ RGB 接続をしていて、本機が自動的に入力信号と同期しない場合は、OSD メニューの「自動調節」（AUTO のアイコン）の「自動調節」機能を使用して調整することができます。さらに OSD メニューを使用して、手動で画面表示を調整できます。

色補正：カラー、色温度、コントラスト、明るさ、またはバックライト輝度を標準設定値から変更すると、本機で使われているカラープロファイルは無効になります。

画面の調整

様々な表示設定を、ボタン操作で最適化できます。
本機の上端にある画面調整ボタンを使用して調整を行います。

- OSD メニューを開くときは「MENU」ボタンを押します。
- メニュー内の項目を移動したいときは、「<> (left/right)」ボタンまたは「▼▲ (up/down)」ボタンを押します。
- 選択した項目を確定するときは「SELECT」ボタンを押します。



ボタン	機能
SELECT	選択した OSD メニューの項目を確定します。
MENU	OSD メニューを開いたり閉じたりします。
<> (left/right)	OSD メニュー内で左右の項目に移動します。
▼▲ (up/down)	OSD メニュー内で上下の項目に移動します。選択された項目の値を増減します。
RESET	OSD をお買い上げ時の標準設定に戻します。

補足：しばらくすると OSD メニューは自動的に閉じます。「MENU」ボタンを押しても閉じることができます。
OSD メニューが閉じると設定はすべて自動的に保存されます。

画面表示を変更した結果、元の設定に戻れなくなった場合は、「RESET」ボタンを押し、「YES」を選択すると本機をお買い上げ時の初期設定に戻すことができます。

[Cintiq 24HD touch の画面調整](#)

[Cintiq 24HD の画面調整](#)

Cintiq 24HD touch の画面調整機能



OSD メニューは以下の調整や設定ができます。

[ブライトネス・コントラスト](#)

[自動調節 \(アナログ入力のみ\)](#)

[画面調節](#)

[カラー調節](#)

[ツール](#)

[MENU ツール](#)

[ECO インフォメーション](#)

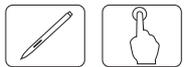
[インフォメーション](#)

[OSD WARNING](#)

[PICTURE MODE 機能](#)

[アドバンスメニュー](#)

ブライトネス・コントラスト



ブライトネス：調節バーが表示されます。「<」「>」ボタンで画面をお好みの明るさに調節してください。

補足：低いブライトネスを設定すると、コントラスト値が低下します。また高いブライトネスを設定すると表示均一性が低下します。デジタル処理にて明るさを調節する領域になると、調節バーの数字が赤色になります。

指定したブライトネス値に設定できない場合は、表示が点滅します。このときコントラストや画面内の表示均一性など、画質が低下する可能性があります。

コントラスト (アナログ入力のみ)：調節バーが表示されます。ブライトネスの調節だけでは、希望する明るさに調節できないとき、「<」「>」ボタンで画面をお好みのコントラストに調節してください。

補足：指定したブライトネス値に設定できない場合は、表示が点滅します。消費電力や画質精度から、画面の明るさの調節にはブライトネスの使用をおすすめします。

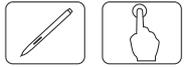
エコモード：ブライトネスの最大値を制限することで消費電力を削減することができます。

- ・ オフ：最大値を設定しません。
- ・ MODE1：ブライトネスの最大値を 200cd/m² に設定します。
- ・ MODE2：ブライトネスの最大値を 100cd/m² に設定します。

ブラック：調節バーが表示されます。「<」「>」ボタンで画面の暗い部分をお好みの明るさに調節してください。表示できない値を設定した場合は赤色で表示されます。



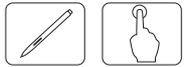
自動調節（アナログ入力のみ）



自動調節（アナログ入力のみ）：左右、上下方向の表示位置、水平サイズや位相を自動調節します。

オート コントラスト（アナログ入力のみ）：コントラストを自動調節します。

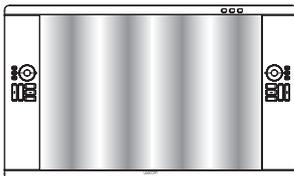
画面調節



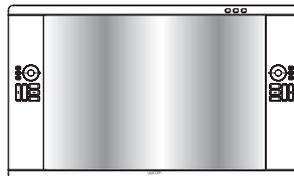
左／右：調節バー（0.0%.100.0%）が表示されます。「<」「>」ボタンで左右方向の表示位置を調節してください。

下／上：調節バー（0.0%.100.0%）が表示されます。「<」「>」ボタンで上下方向の表示位置を調節してください。

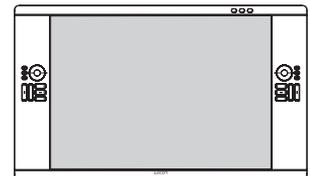
水平サイズ（アナログ入力のみ）：画面に縦縞が現われるときや左右の画面サイズがあっていないときに調節します。調節バーが表示されます。「<」「>」ボタンで水平サイズを調節してください。



水平サイズ
（設定値が誤っている）



水平サイズ
（設定値が改善された）

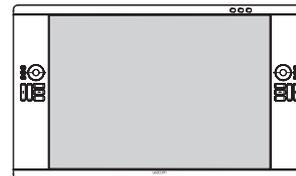


水平サイズ
（設定値が正しい）

位相（アナログ入力のみ）：画面に横方向のノイズが表示されたり、文字のにじみ、輪郭のぼやけが起こった場合は位相を調節します。調節バー（0.0%.100.0%）が表示されます。「<」「>」ボタンで位相を調節してください。



位相（設定値が誤っている）



位相（設定値が正しい）

自動位相（アナログ入力のみ）：約 33 分ごとに、位相を自動的に調節します。

EXPANSION：自動的に表示画面を拡大する機能です。入力解像度が推奨解像度ではない場合に機能します。

- FULL (FUL)：全画面に表示します。
- ASPECT (ASP)：コンピュータで設定された解像度を縦横寸法比率を変えずに画面を拡大します。
- オフ：入力解像度のままで表示します。（画面を拡大しません。）
- CUSTOM (CUS)：水平ズーム、垂直ズーム、ズームポジションを調節した状態で表示します。個々の調節は [アドバンスメニュー](#)で行ってください。

補足：一部の解像度では画面全域には拡大されません。入力信号によっては、表示画面が縦または横方向に十分に拡大されないことがあります。

SHARPNESS：調節バーが表示されます。お好みに応じて、文字や画像のキレを調節することができます。「<」「>」ボタンでソフト/シャープを調節してください。

カラー調節



お好みに応じて画面の色合いを調節することができます。

PICTURE MODE : 「ADVANCED SETTING」の[アドバンスメニュー Tag1](#)の **PICTURE MODE** で選択した5種類の画質設定を、1から5までの番号を選択することによって切り替えることができます。

WHITE : 白色の色温度を調節できます。(NATIVE、3000K ~ 15000K)

3000K (-側) にいくほど赤っぽく、15000K (+側) にいくほど青っぽくなります。

「NATIVE」を選ぶと色温度を補正せず、液晶パネルの白色をそのまま表示します。

ADJUST :

- **HUE** (色合い) : 6色それぞれ*について色合いを調節できます。「<」「>」ボタンを押すとレベルバーの左端または右端の色へ近づきます。
- **SATURATION** (彩度) : 6色それぞれ*について色の濃さを調節できます。値を大きくすると選択している色が鮮やかになります。
- **OFFSET** (オフセット) : 6色それぞれ*について明るさを調節できます。値を大きくすると選択している色が明るくなります。

* : RED : 赤色、YELLOW : 黄色、GREEN : 緑色、CYAN : 水色、BLUE : 青色、MAGENTA : 紫色

ADVANCED SETTING : アドバンスメニューを表示します。「PICTURE MODE」の詳細設定は[アドバンスメニューの Tag1](#)で行ってください。

ツール

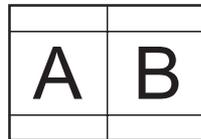


PIP MODE：2つの画面を同時に表示する表示形態を選択します。

- PIP (Picture In Picture)：通常画面内に子画面を表示する機能です。
- PICTURE BY PICTURE ASPECT：親画面と子画面を等分し、縦横比を変えずに表示する機能です。
- PICTURE BY PICTURE FULL：親画面と子画面を等分し、画面いっぱいに表示する機能です。



オフ

PIP
(Picture In Picture)PICTURE BY PICTURE -
ASPECTPICTURE BY PICTURE -
FULL

PIP INPUT：「PIP」または「PICTURE BY PICTURE」選択時の子画面に表示する入力信号を設定します。同じ入力信号を2画面に設定することで、同時表示ができます。

PIP LEFT/RIGHT：「PIP」選択時の子画面の水平方向の表示位置を移動します。

PIP DOWN/UP：「PIP」選択時の子画面の垂直方向の表示位置を移動します。

PIP SIZE：「PIP」選択時の子画面のサイズを選択します。

DVI SELECTION：ビデオ信号接続方式に、AUTO、DIGITAL、ANALOGのいずれかを選択できます。[アドバンストメニュー Tag6 の DVI SELECTION](#) をご覧ください。

EDID EXTENSION (デジタル入力のみ)：接続機器と通信する本機の特性を切り替えます。

- NORMAL：コンピュータなどを接続する場合に選択します。
- ENHANCED：DVDやDVDプレーヤーやゲームコンソールなど、AV機器を接続する場合に選択します。

補足：インターレース信号には対応していません。

設定を変更した場合は接続機器を再起動してください。

VIDEO DETECT：複数の入力がある場合に、入力信号があるコネクタを自動的に選択する機能です。選択されているコネクタはOSD画面のインフォメーションで確認できます。

- FIRST：現在表示しているコネクタのビデオ信号がなくなってしまうときに他のコネクタからビデオ信号を入力している場合は、ビデオ信号を自動的に切り替えます。
- LAST：現在表示しているコネクタのビデオ信号がなくなってしまうときに他のコネクタからビデオ信号を入力している場合は、ビデオ信号を自動的に切り替えます。さらに現在表示しているコネクタとは別のコネクタからビデオ信号が新たに入力されたときは、ビデオ信号を自動的に切り替えます。
- NONE：ビデオ信号の自動切替は行いません。





OFF TIMER : 0 時間 (オフ) から 24 時間まで、1 時間ごとの設定が可能です。ディスプレイオン後設定された時間で電源が切れますので、切り忘れても自動的に切れるため電力の削減になります。電源が切れる 1 分前からメッセージが表示されます。メッセージ表示中に電源スイッチ以外のボタンを押すと、電源が切れる時間を 1 時間延長することができます。

OFF MODE : パワーマネージメント機能を選択します。

- オフ : パワーマネージメント機能は作動しません。
- STANDARD : 入力信号がなくなるとパワーマネージメント機能が作動します。パワーマネージメント機能中は電源ランプが橙色に点灯します。コンピュータのキーボードの適当なキーを押すかマウスを動かすと画面が復帰します。

周りの明るさが設定値よりも暗くなった場合 : パワーマネージメント機能中は電源ランプが一定の間隔で明るさが変化します。

周りの明るさが設定値よりも明るくなった場合 : 自動的にパワーマネージメント機能から復帰します。周りの明るさに関係なくパワーマネージメントから復帰するには「MENU」ボタン、「▲」「▼」「<」「>」ボタンのいずれかのボタンを押してください。





MENU ツール



言語切り替え (LANGUAGE) : OSD メニューの表示言語リストが表示されます。「<」「>」ボタンで表示言語を切り替えてください。

OSD 左 / 右 : OSD メニューの左右位置を調節します。「<」「>」ボタンで任意の位置に画面を移動します。

OSD 下 / 上 : OSD メニューの上下位置を調節します。「<」「>」ボタンで任意の位置に画面を移動します。

OSD オートオフ : OSD メニューを表示させたあと、設定された時間になると OSD メニューが自動的に消えるようにする機能です。「<」「>」ボタンで 10 秒から 120 秒まで、5 秒ごとの設定が可能です。

OSD ロック : 誤って調節してしまうことを防ぐための OSD メニュー操作禁止機能です。OSD ロックを選択している状態で、操作を行います。

- ブライツのみ調節可能 :
 - OSD メニューの操作をロックする
「SELECT」ボタンを押しながら「v」と「<」ボタンを押すと、OSD がロックされ OSD オートオフで設定された時間後、または「MENU」ボタンを押すと OSD メニューは消えます。
 - ロックを解除する
OSD が表示されている状態で、「SELECT」ボタンを押しながら「v」と「<」ボタンを押すとロックが解除されます。
- すべての OSD メニュー操作を禁止する :
 - OSD メニューの操作をロックする
「SELECT」ボタンを押しながら「>」ボタンを押すと、OSD がロックされ OSD オートオフで設定された時間後、または「MENU」ボタンを押すと OSD メニューは消えます。
 - ロックを解除する
OSD が表示されている状態で、「SELECT」ボタンを押しながら「>」ボタンを押すとロックが解除されません。
- CUSTOM : [ADVANCED OSD メニュー](#) をご覧ください。

OSD TRANSPARENCY : OSD メニューの透明度を選択できます。「<」「>」ボタンで調節してください。

RESOLUTION NOTIFIER : RESOLUTION NOTIFIER をオンにすると最適解像度以外の信号を入力している場合、推奨信号の案内を表示します。

HOT キー : ホットキー機能をオンにすると、OSD が表示されていない状態で「<」「>」を操作してブライツを直接調節できます。

「<」「>」ボタンでホットキーのオン / オフを切り替えてください。

補足 : HOT キーをオフにすると、前面ボタンの長押しなど一部の機能は働きません。

オールリセット : 現在表示中の入力信号コネクター側のブライツ、コントラスト、エコモード、ブラック、画面調節、カラー調節、SHARPNESS、PIP MODE、PIP INPUT、PIP LEFT/RIGHT、PIP DOWN/UP、PIP SIZE、DVI SELECTION、OFF TIMER、OFF MODE、OSD 左 / 右、OSD 下 / 上、OSD オートオフ、OSD TRANSPARENCY を出荷時の状態に戻します。





ECO インフォメーション



ECO インフォメーション：

- CO₂ 削減量：電源オン時およびパワーマネージメント機能動作時の積算した省エネ効果を CO₂ 削減量 (kg) で表示します。
- COST 削減量：電源オン時およびパワーマネージメント機能動作時の積算した省エネ効果を電気料金 (差額) で表示します。
- CARBON CONVERT SETTING：CO₂ 削減量算出に使用する、CO₂- 電力量換算値を調節します。この値の初期値は OECD (経済協力開発機構) 2008 年 Edition を使用しています。
- CURRENCY SETTING：電力料金表示の通貨単位を設定します。各記号は下記の国の通貨単位です。
 - \$：米国ドル kr ：スウェーデンクローネ
 - €：欧州ユーロ pyб：ロシアルーブル
 - £：英国ポンド ¥ ：日本円
- CURRENCY CONVERT SETTING：電気料金算出に使用する、電気料金 - 電力量換算値を調節します。この値の各初期値は下記の値を使用しています。
 - 米国ドル ：\$0.11 OECD 2008 年 Edition
 - 欧州ユーロ ：€0.19 OECD 2007 年 Edition
 - 英国ポンド ：£0.13 OECD 2008 年 Edition
 - スウェーデンクローネ ：kr1.1 EUROSTAT 2008 年 Edition
 - ロシアルーブル ：pyб 1.2 OECD 2008 年 Edition
 - 日本円 ：¥20 OECD 2006 年 Edition

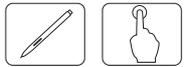


インフォメーション



表示モード：入力している信号の情報（親画面）、選択されているビデオ信号接続方式、MODEL（型名）と SERIAL NUMBER（製造番号）などを表示します。

OSD WARNING

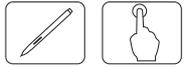


OSD 警告メニューは「MENU」ボタンを押すと消えます。

- NO SIGNAL：水平または垂直同期がない場合に警告が表示されます。電源を入れた後または入力信号に変化が生じた場に、「NO SIGNAL」ウィンドウが表示されます。
- RESOLUTION NOTIFIER：解像度が最適でない場合に警告が表示されます。電源を入れた後、入力信号に変化が生じた場合、あるいはビデオ信号の解像度が適切でない場合に、「RESOLUTION NOTIFIER」ウィンドウが表示されます。「MENU TOOLS」でこの機能を無効にすることができます。
- OUT OF RANGE：最適な解像度とリフレッシュレートの推奨値が提示されます。電源を入れた後、入力信号に変化が生じた場合、あるいはビデオ信号の解像度が適切でない場合に、「OUT OF RANGE」メニューが表示されます。
- LUMINANCE WARNING：バックライトを希望の明るさにできない場合、画面上にメッセージが表示されます。この場合は、「明るさ」のレベルを下げてください。
- INTERLACED SIGNALS ARE NOT SUPPORTED：インターレース信号が使用されているとき警告が表示されます。画像が表示されている間、インターレースからデバイスの信号をプログレッシブ（非インターレース）に変えることができます。[ディスプレイのトラブルシューティング情報](#)をご覧ください。

操作についてさらに詳しく知りたい場合は、[アドバンスメニュー](#)を起動してください。

PICTURE MODE 機能



表示する画像やコンピュータの設定に応じて、5つの画質設定を切り替えることができます。

本機には以下の代表的な色空間が設定されており、**PRESET** として各 PICTURE MODE に割り当てられています。アドバンスメニューでは PRESET の割り当てや詳細な画質設定が変更できます。

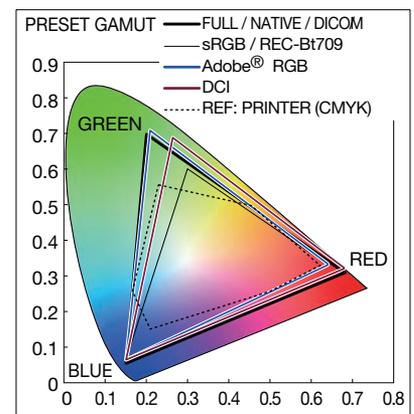
PICTURE MODE の種類

PRESET 一覧	目的
sRGB	sRGB Windows の標準色空間です。インターネットや動画の表示など一般的なコンテンツの表示に推奨されます。
Adobe®RGB	Adobe® RGB 米国アドビシステムズが提唱している sRGB よりも広い色空間です。印刷物の再現性などに優れ、カラーマネジメント環境で推奨されています。
DCI	デジタルシネマに適した状態で表示
REC-Bt709	HD 色空間規格に準じた設定
NATIVE	工場出荷設定です。最も高輝度な表示が可能であり、また輝度が同じ場合には、他の設定に対して最も消費電力が低い設定です。
FULL	色変換を行わず、液晶ディスプレイ本来の色域で表示します。 使用する場合は付属のユーティリティディスク内の ICC プロファイルをコンピュータにインストールしてください。
DICOM	X 線画像の表示など医用画像を参照するのに適した画質設定です。
PROGRAMMABLE	Color Calibration Software またはハードウェアキャリブレーションなどで調節された状態で表示されます。(ブライトネスとコントラストは調節できません)
eciRGB_v2	ヨーロッパの印刷業界などで主に用いられる規格で表示されます。

補足：お使いのコンピュータの ICC プロファイルと PICTURE MODE の設定が異なる場合は正しい色再現性が得られません。

高度な画質設定や ICC プロファイルの自動設定を行う「Color Calibration Software」ソフトウェアの使用をお奨めします。「Color Calibration Software」については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

PICTURE MODE がお使いのソフトウェアによってロックされている場合は「PICTURE MODE IS LOCKED」が表示されます。SELECT ボタンと上ボタンを同時に押すと、ロックを解除することができます。



アドバンストメニュー



この機能は、本機と周辺装置との接続に対して十分な知識をお持ちの方がより細かい調節をするためのものです。アドバンストメニューの起動方法は2通りあります。

OSD 画面からの起動：

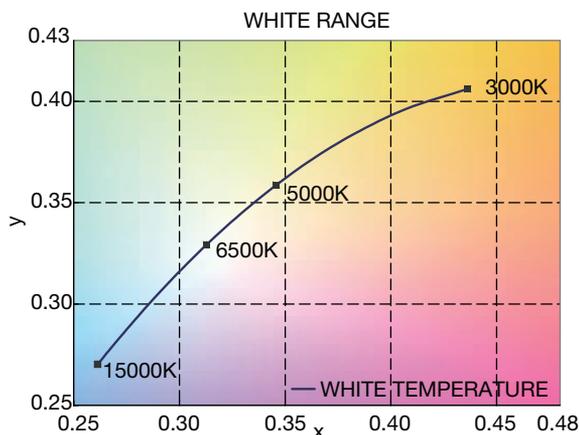
OSD 画面を表示し、「カラー調節」の「ADVANCED SETTING」を選択します。

電源入力時の起動：

- ①電源切の状態から「SELECT」ボタンを押しながら、電源スイッチで電源入にします。
- ②画面が表示されたら（約1秒）、「SELECT」ボタンを離します。
- ③「 \wedge 」「 \vee 」「 \leftarrow 」「 \rightarrow 」ボタンのいずれかを押してアドバンストメニューを表示します。
- ④「 \leftarrow 」「 \rightarrow 」ボタンで Tag を選択します。

アドバンストメニューが消えても、電源を切るまでは「MENU」ボタンまた「 \wedge 」「 \vee 」「 \leftarrow 」「 \rightarrow 」ボタンを押すとアドバンストメニューが表示されます。通常の OSD 画面を表示する場合は、一度電源を切ってください。

Tag1	PICTURE MODE*	5種類の画質設定から選択します。
	PRESET*	1～5のPICTURE MODEにそれぞれどの画質設定を対応させるかを設定します。
	BRIGHTNESS*	画面の輝度を40～400cd/m ² の範囲で設定します。デジタル処理にて輝度を調節する領域になると、調節バーの数字がマゼンタ色になります。このときコントラストや画面内の表示均一性など、画質が低下する可能性があります。指定したブライトネス値に再現できない場合は、値が点滅します。
	WHITE*	白色の色温度もしくはxy座標で設定します。色温度は3000～15000Kまで設定できます。x値を上げると赤味が、y値を上げると緑味が、xy値を両方下げると青味がそれぞれ増加します。「Native」は液晶パネルの白色を表示します。



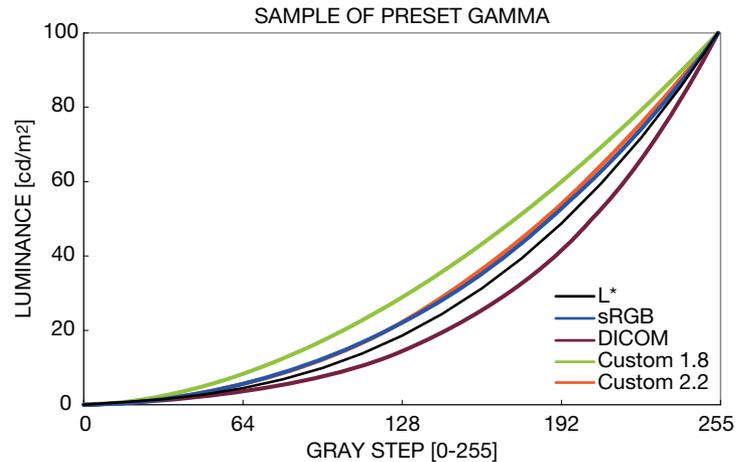
※ * のついている項目は [FACTORY PRESET](#) を実行すると出荷時の状態に戻ります。



Tag1
(続き) GAMMA*

グレイスケールの見え方など、階調特性を設定します。画面に灰色の画像を表示して設定を行ってください。

- sRGB : sRGB 用の設定です。
- L Star : L*a*b* 表示系で使われる輝度特性です。
- DICOM : 医療業界で一般的な DICOM GSDF (Grayscale Standard Display Function) に調節します。



- CUSTOM : CUSTUM VALUE と OFFSET の調節ができます。
- CUSTUM VALUE:ガンマの値を 0.5 から 4.0 まで 0.1 単位に設定できます。暗くて見えにくい場合は数値を下げ、明るくて見えにくい場合は数値を上げます。

BLACK*

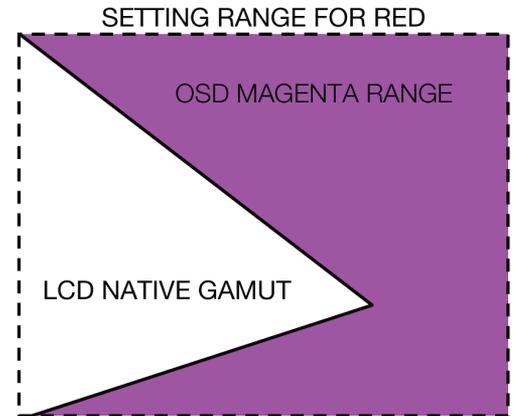
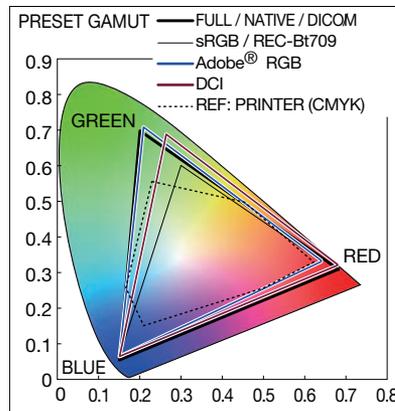
黒輝度を $0.1 \sim 5.0 \text{cd/m}^2$ の範囲で手動設定します。再現できない低い値はマゼンタ色で表示されます。「MIN」では再現できる最低の黒輝度で表示されます。

※ * のついている項目は [FACTORY PRESET](#) を実行すると出荷時の状態に戻ります。



Tag1
(続き)RED*
GREEN*
BLUE*

表示したい色域を xy 色度で設定します。色合いと彩度が変化します。液晶パネルの色域外で設定されると、設定値はマゼンダ色で表示されます。この状態では RGB 原色に近い部分で正しい色再現が得られない可能性があります。

COLOR VISION
EMU*

異なる色覚特性 (P/D/T 型) の見え方を擬似的に表現します。Grayscale は画像のコントラストを確認する機能です。

UNIFORMITY

スクリーンの輝度ムラ、色ムラが改善されます。大きい値ほどムラは改善されますが、コントラストが低下する場合があります。ブライトネス値がマゼンダ色で表示されている場合は、UNIFORMITY の設定が自動的に変更される場合があります。

Tag2

SHARPNESS*

画面のシャープさを設定します。

RESPONSE
IMPROVE

RESPONSE IMPROVE をオンすることにより、液晶の中間調応答速度が向上します。動画表示時における残像感を低減させることができます。

ECO MODE*

[ブライトネス](#)の最大値を制限することで電源消費量を削減することができます。

※ * のついている項目は [FACTORY PRESET](#) を実行すると出荷時の状態に戻ります。





Tag2 (続き)	METAMERISM*	オンを選ぶと、測定器での測定結果が同じでも見た目が異なる現象を改善し、他のディスプレイとの白色マッチングを改善します。
	6 - AXIS ADJUST*	OSD には 6-AXIS ADJUST の名称が無く、6 色と HUE、SATURATION、OFFSET のマトリックス表示 (枠無し) になっており、その値を直接変更できるようになっています。 <ul style="list-style-type: none"> • HUE (色合い) : 6 色それぞれ *² について色合いを調節できます。 • SATURATION (彩度) : 6 色それぞれ *² について色の濃さを調節できます。値を大きくすると選択している色が鮮やかになります。 • OFFSET (オフセット) : 6 色それぞれ *² について明るさを調節できます。値を大きくすると選択している色が明るくなります。 * ² : RED : 赤色、YELLOW : 黄色、GREEN : 緑色、CYAN : 水色、BLUE : 青色、MAGENTA : 紫色
	SHORTCUT CUSTOM*	Tag1 の PICTURE MODE で設定した 1 から 5 のうち、カラー調節の PICTURE MODE で表示される PICTURE MODE を設定します。
Tag3	R-H.POSITION* (アナログ入力のみ)	赤のみの表示画像位置を調節します。
	G-H.POSITION* (アナログ入力のみ)	緑のみの表示画像位置を調節します。
	B-H.POSITION* (アナログ入力のみ)	青のみの表示画像位置を調節します。
	R-FINE* (アナログ入力のみ)	赤のみの位相を調節します。
	G-FINE* (アナログ入力のみ)	緑のみの位相を調節します。
	B-FINE* (アナログ入力のみ)	青のみの位相を調節します。
	R-SHARPNESS* (アナログ入力のみ)	赤のみの画像のシャープさを調節します。
	G-SHARPNESS* (アナログ入力のみ)	緑のみの画像のシャープさを調節します。
	B-SHARPNESS* (アナログ入力のみ)	青のみの画像のシャープさを調節します。
	DVI LONG CABLE (DVI 入力のみ)	長距離 (約 20m) で信号ケーブルを使用したとき、信号の劣化を補正し、見やすい画面にします。0 ~ 3 まで 4 段階で調節できます。数値が高くなる程、信号の劣化が改善されます。

※ * のついている項目は [FACTORY PRESET](#) を実行すると出荷時の状態に戻ります。





Tag4	AUTO ADJUST (アナログ入力のみ)	左右方向の表示位置、上下方向の表示位置、水平サイズ、位相を自動調節します。付属のユーティリティディスク内のテストパターンを使用して調節を行ってください。																				
	SIGNAL ADJUST* (アナログ入力のみ)	本機が信号変化を検出したときに自動的に動作させる自動調節のレベルを設定します。800 × 600 以上の解像度で自動調節機能が実行されます。																				
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>調節項目</th> <th>水平サイズ / 位相 / 表示位置</th> <th>コントラスト</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>SIMPLE</td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>FULL</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>○：自動調節可 ×：自動調節不可</p>	調節項目	水平サイズ / 位相 / 表示位置	コントラスト	SIMPLE	○	×	FULL	○	○											
調節項目	水平サイズ / 位相 / 表示位置	コントラスト																				
SIMPLE	○	×																				
FULL	○	○																				
	AUTO ADJUST LEVEL* (アナログ入力のみ)	OSD 上から自動調整を行う際の自動調節のレベルを設定します。																				
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>調節項目</th> <th>水平サイズ / 位相 / 表示位置</th> <th>コントラスト</th> <th>詳細設定 (ロングケーブル補正機能) ※ 1</th> <th>時間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>SIMPLE</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>1 秒</td> </tr> <tr> <td>FULL</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>1.5 秒</td> </tr> <tr> <td>DETAIL*</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>5 秒</td> </tr> </tbody> </table> <p>○：自動調節可 ×：自動調節不可 ※ 1：黒レベルの調節、RGB 遅延補正、RGB シャープネス</p>	調節項目	水平サイズ / 位相 / 表示位置	コントラスト	詳細設定 (ロングケーブル補正機能) ※ 1	時間	SIMPLE	○	×	×	1 秒	FULL	○	○	×	1.5 秒	DETAIL*	○	○	○	5 秒
調節項目	水平サイズ / 位相 / 表示位置	コントラスト	詳細設定 (ロングケーブル補正機能) ※ 1	時間																		
SIMPLE	○	×	×	1 秒																		
FULL	○	○	×	1.5 秒																		
DETAIL*	○	○	○	5 秒																		
	A-NTAA SW* (アナログ入力のみ)	複数のコンピュータを外部スイッチャーなどで切り替えて使う場合に切り替わった信号を自動検出し画面調節するかどうかを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ オフ：自動検出後、画面調節は行いません。 ・ オン：自動検出後、画面調節を行います。 ・ OPTION：自動検出後、画面調節を行います。同じ周波数の信号を切り替えて使用するときに表示を消さないの、切り替えた信号がすぐに表示されます。 																				
	AUTO CONTRAST (アナログ入力のみ)	コントラストを自動調節します。白のある画像を表示してください。																				
	CONTRAST*	コントラストを調節します。ブライトネスの調節だけでは、希望する明るさに調節できないときに、画面をお好みの明るさに調節します。																				
	AUTO BLACK LEVEL (アナログ入力のみ)	黒輝度を自動調節します。表示内に黒があるようにしてから調節を行ってください。																				
	BLACK LEVEL (アナログ入力のみ)	入力信号レベルに応じて RGB ブラックレベルを調節します。																				

※ * のついている項目は [FACTORY PRESET](#) を実行すると出荷時の状態に戻ります。





Tag5	H.POSITION*	左右方向の表示位置を調節します。
	V.POSITION*	上下方向の表示位置を調節します。
	H.SIZE (アナログ入力のみ) *	画面に縦縞が現われるときや左右の画面サイズがあていないときに調節します。
	FINE (アナログ入力のみ) *	画面に横方向のノイズが表示されるときに調節します。また、文字がにじんだり、輪郭がはっきりしないときに使用します。
	AUTO FINE (アナログ入力のみ) *	約 33 分ごとに、位相を自動的に調節します。
	H.RESOLUTION*	入力タイミングの水平解像度を設定します。
	V.RESOLUTION*	入力タイミングの垂直解像度を設定します。
	EXPANSION*	画面の拡大方法を設定します。
	SIDE BORDER COLOR*	両側の画像のない部分の色を調節します。
Tag6	DVI SELECTION	DVI の入力モードに、AUTO、DIGITAL、ANALOG のいずれかを選択できます。
	EDID EXTENSION (デジタル入力のみ)	接続機器と通信する本機の特性を切り替えます。 <ul style="list-style-type: none"> • NORMAL : コンピュータなどを接続する場合に選択します。 • ENHANCED : DVD や DVD プレーヤやゲームコンソールなど、AV 機器を接続する場合に選択します。 補足 : インターレース信号には対応していません。 設定を変更した場合は接続機器を再起動してください。
	VIDEO DETECT	複数のコネクタがコンピュータに接続されているとき、ビデオ信号の切替方法を選択します。 ツールの VIDEO DETECT をご覧ください。
	OFF TIMER*	設定された時間後に、自動的に電源が切れます。電源が切れる 1 分前からメッセージが表示されます。メッセージ表示中に電源スイッチ以外のボタンを押すと、電源が切れる時間を 1 時間延長することができます。 ツールの OFF TIMER をご覧ください。
	OFF MODE*	自動的にパワーマネージメント機能を作動させるかを選択します。 ツールの OFF MODE をご覧ください。
	LED BRIGHTNESS	電源ランプの明るさを調節します。
	FAN CONTROL	ファンの速度を変更します。

※ * のついている項目は [FACTORY PRESET](#) を実行すると出荷時の状態に戻ります。





Tag7	LANGUAGE	OSD メニューの表示言語を切り替えます。
	OSD H.POSITION*	OSD メニューの左右の位置を調節します。
	OSD V.POSITION*	OSD メニューの上下の位置を調節します。
	OSD TURN OFF*	OSD メニューが自動的に消えるまでの時間を設定します。 MENU ツールの OSD オートオフ をご覧ください。
	OSD LOCK OUT	<p>誤って調節してしまうことを防ぐための OSD メニュー操作禁止を設定、解除できます。OSD ロック状態でも一部の項目を操作可能にできます。操作可能な項目の種類によって 3 通りの設定方法があります。</p> <p>CUSTOM 以外の操作方法は MENU ツール をご覧ください。CUSTOM は ADVANCED メニューのみ調節可能です。</p> <p>CUSTOM で OSD メニュー操作禁止を設定できる項目：</p> <ul style="list-style-type: none"> • POWER KEY：電源スイッチのオン / オフ • INPUT SEL.：信号入力の切り替え • BRIGHTNESS：ブライトネスの調節 • PICTURE MODE：PICTURE MODE の設定 • WARNING：案内画面 / 注意画面の表示 <p>ADVANCED メニューの OSD ロック画面を表示している状態で「RESET」ボタンと「MENU」ボタンを同時に押すと、上記の項目が選択可能になるので、「ENABLE (操作可能)」、「DISENABLE (操作不可)」を選びます。</p> <p>ロック解除 OSD が表示されていない状態で、「RESET」ボタン、「MENU」ボタンを同時に押し、「OSD LOCK」画面を表示させ、「SELECT」、「SELECT」、「<」、「>」、「<」、「>」、「MENU」ボタンを押します。</p>
	OSD TRANSPARENCY*	OSD メニューの透明度を選択できます。
	SIGNAL INFORMATION	入力信号が切り替わった時、信号情報が右上に短時間表示されます。
	RESOLUTION NOTIFIER	RESOLUTION NOTIFIER をオンにすると最適解像度以外の信号を入力している場合、推奨信号の案内を表示します。
	HOT KEY	ブライトネスを直接調節する機能を オン / オフします。 補足：HOT キーをオフにすると一部の機能は動きません
	FACTORY PRESET	現在表示中の入力信号コネクタ側の * がついている機能の設定を出荷時の状態に戻します。アナログ入力を表示している場合、自動調節も行います。

※ * のついている項目は [FACTORY PRESET](#) を実行すると出荷時の状態に戻ります。





Tag8 PIP MODE*	2つの画面を同時に表示する表示形態を選択します。 ツールの PIP MODE をご覧ください。 <ul style="list-style-type: none"> PIP(Picture In Picture)：通常画面内に子画面を表示する機能です。 PICTURE BY PICTURE ASPECT：親画面と子画面を等分し、縦横比を変えずに表示する機能です。 PICTURE BY PICTURE FULL：親画面と子画面を等分し、画面いっぱいに表示する機能です。
PIP INPUT*	「PIP」または「PICTURE BY PICTURE」選択時の入力信号を設定します。
PIP LEFT/RIGHT*	「PIP」選択時の子画面の水平方向の表示位置を移動します。
PIP DOWN/UP*	「PIP」選択時の子画面の垂直方向の表示位置を移動します。
PIP SIZE*	「PIP」選択時の子画面で、挿入する画面のサイズを選択します。
BLANK SIGNAL SKIP*	「SELECT」ボタンを押して入力信号を切り替えるときに、入力信号があるものだけを表示します。
OSD ROTATION*	OSD メニューの表示が反時計回りに 90° 回転して表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> LANDSCAPE：横型設置した場合に見やすい方向で OSD を表示します。 PORTRAIT：縦型設置した場合に見やすい方向で OSD を表示します。
MAIN IMAGE ROTATION*	画像の回転状態を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> OFF：画面は回転しません。 ON：画面は常に反時計回りに 90° 回転して表示されます。本機を縦型に回転させた状態で、縦長の解像度を表示するのに便利です。
SUB IMAGE ROTATION	PIP のサブイメージの画像の回転状態を設定します。PIP モードで有効です。 <ul style="list-style-type: none"> OFF：PIP サブイメージは回転しません ON：PIP サブイメージが回転して表示されます。
DDC/CI*	本機とコンピュータの間での信号ケーブルを使用した設定情報のやり取りを「ENABLE(許可)」、「DISENABLE(禁止)」するかを選択します。
SCREEN SAVER*	スクリーンセーバーを設定します。 本機能は液晶パネルにかかる負担を軽減させるものです。 <ul style="list-style-type: none"> MOTION：設定した時間で画面がわずかに上下左右に周期的に移動することにより液晶パネルの残像を軽減させます。10 秒から 900 秒まで 10 秒ごとの設定が可能です。 OPTION：MOTION で時間を設定した場合の表示方法を選択します。 REDUCE：画面を 95% に縮小して表示させます。解像度によっては画面を縮小して表示する為、表示がぼやける場合があります。 補足：入力している信号によっては REDUCED は設定できません。 FULL：画面を拡大 / 縮小しないで表示させます。表示領域からはみ出した部分は表示されません。

※ * のついている項目は [FACTORY PRESET](#) を実行すると出荷時の状態に戻ります。





Tag9	INPUT SETTING*	<ul style="list-style-type: none"> • VIDEO BAND WIDTH(アナログ入力のみ): コンピュータからの不要なノイズが画面に現れるようなとき使用します。数字が大きくなるほど、効果が強くなります。 • SYNC THRESHOLD(アナログ入力のみ): 同期信号のスライスレベルを調節します。「<」「>」ボタンで同期の種類を選択してください。同期信号が、セパレートまたはコンポジットのとき、スレッシュホールドをえることにより、画面のノイズが減少する場合があります。変更後は自動調節を確認してください。 • SOG THRESHOLD(アナログ入力のみ): シンクオングリーンから同期を分離するときのスライスレベルを調節します。画面が乱れる場合、一番安定となるところを「<」「>」ボタンで調節してください。 • CLAMP POSITION(アナログ入力のみ): 入力信号によっては、画面のバックが明るすぎたり、画面全体が緑がかかった表示になることがあります。このような場合にはボタンで変更してください。
------	----------------	--

TagA	CARBON SAVING	電源オン時およびパワーマネジメント機能動作時の積算した省エネ効果をCO ₂ 削減量(kg)で表示します
	COST	電源オン時およびパワーマネジメント機能動作時の積算した省エネ効果を電気料金(差額)で表示します。
	CARBON CONVERT SETTING	CO ₂ 削減量算出に使用する、CO ₂ -電力量換算値を調節します。この値の初期値はOECD(経済協力開発機構)2008年Editionを使用しています。
	CURRENCY SETTING	電力料金表示の通貨単位を設定します。
	CURRENCY CONVERT SETTING	電気料金算出に使用する、電気料金-電力量換算値を調節します。
	HOURS RUNNING	これまでに使用した総時間数を表示します。
TagB	INFORMATION	入力している信号の情報(親画面)、ビデオ信号接続方式、MODEL(型名)、SERIAL NUMBER(製造番号)を表示します。

※ * のついている項目は [FACTORY PRESET](#) を実行すると出荷時の状態に戻ります。





Cintiq 24HD の画面調整機能



OSD メニューでは、次の項目を調整および設定することができます。

「OSD メニュー言語設定 (LANGUAGE)」 オプションを使用して、OSD メニューの表示言語を選択できます。

補足：お買い上げ時は「ENGLISH」(英語表示) に設定されています。

「OSD メニュー表示設定 (OSD POSITION)」 オプションは以下の通りです。

- 「垂直位置」 OSD メニュー画面の垂直位置を微調整できます。
- 「水平位置」 OSD メニュー画面の水平位置を微調整できます。
- 「透明度」 OSD メニュー画面の透明度を微調整します。

「表示設定 (DISPLAY)」 オプションは次の通りです。

- 「コントラスト」 画面のコントラストを調節します。
- 「明るさ」 画面の明るさを調節します。
- 「バックライト輝度」 バックライトの明るさを調節します。

「カラー設定 (COLOR)」 オプションは以下の通りです。

- 「5000K」、「6500K」、「9300K」 画面の色温度を設定できます。
- 「ダイレクト」 無調整で、コンピュータからの映像信号を直接表示します。このオプションを選択すると、コントラストおよび明るさは調整できません。
- 正確な縦横比を維持しながら最大限度の画面表示を行います。
- 「1:1」 実際の解像度で表示します。





「画像設定 (OTHER)」 オプションは以下の通りです。

- 「フェーズ」 (アナログ RGB のみ) 画像が揺れたりちらついたり横縞などが発生した場合に使用します。ピッチを先に調整してください。
- 「ピッチ」 (アナログ RGB のみ) 画像が揺れたりちらついたり縦縞などが発生した場合に使用します。
- 「垂直位置」 (アナログ RGB のみ) 画像の垂直位置を変更します。
自動調整する場合は、オートアジャスト機能を使用します。
- 「水平位置」 (アナログ RGB のみ) 画像の水平位置を変更します。
自動調整する場合は、オートアジャスト機能を使用します。
- 「オートアジャスト」 (アナログ RGB のみ) フェーズ、ピッチ、水平・垂直位置の全ての自動調整が可能です。

「リセット (RESET)」を使用すると、すべての設定が工場出荷時の標準設定に戻ります。

「EXIT」を使用すると、設定を終了し、OSD メニューを閉じます。





省電力機能

本機は、VESA のパワーセービングガイドラインに準拠しています。

DPMS (Display Power Management Signaling) に対応したコンピュータまたはグラフィックボードに接続すると、操作していないときには自動的に以下のような省電力状態になります。

コンピュータの 動作状態	水平同期 信号	垂直同期 信号	画像信号	パワーランプ
電源オン	あり	あり	あり	青色
スタンバイモード	なし	あり	なし	オレンジ色
サスペンドモード	あり	なし	なし	オレンジ色
オフモード	なし	なし	なし	消灯



Cintiq 24HD touch のマルチタッチ機能を使う



Cintiq 24HD touch (DTH-2400) は、作業をより効率よく行えるように設計されています。マルチタッチ機能により、本機の画面上で指を動かすだけで、コンピュータを操作できます。

Cintiq 24HD touch (DTH-2400) では、スマートフォンやノートパソコンのトラックパッドと同様にタッチ機能を使うことができます。初めに基本操作を学び、ポインタの操作や通常のマウス操作を行うことができるようになります。次に、スクロール、ズーム、回転などの操作が行えるようにします。

本機の画面に指で触れると、タッチ入力が可能になります。

- タッチ入力をするときは、指を操作しやすい間隔に開いてください。
指同士をぴったりとくっつけて液晶ペンタブレットに置くと、1本の指を使った操作と判断されたり、操作やジェスチャーがどの指で操作されたのかを識別しにくくなる場合があります。
- もっとも操作しやすい方法でタッチ入力を行ってみてください。ジェスチャー中は不用意なタッチを避けるように注意してください。たとえばズームやスクロール中に画面に小指などが触れると、誤って右クリックが実行されたりする場合があります。

補足：電子ペンとマルチタッチ両方に対応した機種では、対応するソフトウェアであれば、同時に電子ペンとタッチ操作を使用して作業することができます。例えば、電子ペンを使用して表面テクスチャを作成する場合に、タッチを使って3Dオブジェクトを回転させることができます。ペン先または消しゴムが液晶ペンタブレットの検出範囲にある限り、電子ペンはタッチよりも優先します。タッチ操作を行うには、電子ペンを持ち上げ電子ペンを持つ手を画面から離してください。

[マルチタッチによる操作](#)

[マルチタッチのカスタマイズ](#)

[マルチタッチのテスト](#)

マルチタッチによる操作



Cintiq 24HD touch (DTH-2400) では、マルチタッチ機能により、本機の画面上で指を動かすだけでコンピュータを操作することができます。

各タッチオプションは、コントロールパネルから有効 / 無効を切り替えることができます。「タッチオプション」、「ジェスチャーの標準設定」、あるいは「ジェスチャーの個別設定」タブでチェックを入れたタッチオプションは有効になります。

- 基本的な動作で、ポインタの移動や一般的なマウスの機能を実行します。
- ジェスチャーを使ってスクロール、ズーム、回転などの機能を実行します。

チェックを外し、タッチ入力を無効にしてください。

コントロールパネルのどのタッチ機能タブからでも、タッチ入力を完全に無効にする（また有効に戻す）ことができます。



上の画面は Windows での「ジェスチャーの個別設定」タブを例にしています。

お使いのコンピュータや OS により、利用可能なオプションが一部異なる場合があります。

このタブは、「タッチオプション」タブの「ワコムのジェスチャーを使う」を選択した場合にのみ表示されます。

[マルチタッチのカスタマイズ](#)または[ファンクションキーをカスタマイズする](#)を行って、さらに別のタッチ機能を実行することもできます。

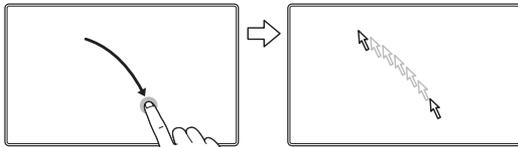


補足：ここで説明する2本指でのタッチ操作やジェスチャーは、主に Mac を対象にしています。

類似したジェスチャーもありますが、Windows の標準設定では Windows 標準の2本指でのジェスチャーを使います。

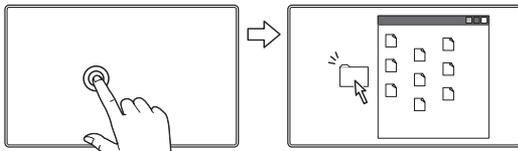
異なるソフトウェアで同じタッチ操作を使いたい場合は、コントロールパネルの「タッチオプション」タブで「ワコムのジェスチャーを使う」を選択します。

基本機能



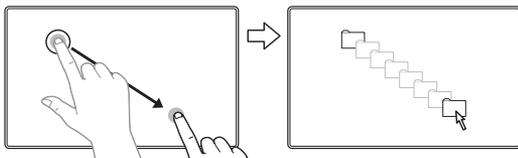
トラック

1本の指で画面のポインタの位置を決めます。画面のポインタは、画面上で指先が触れた位置に移動します。



ダブルクリック

1本の指で1つの項目を2回タップします。



ドラッグ

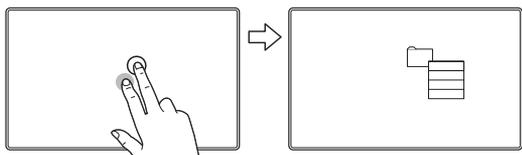
1本の指で1つの項目を選択します。次に画面上で指を動かして、選択項目をドラッグします。最後に指を持ち上げて項目から離します。

ヒント：デスクトップ上では複数の項目を選択し、ドラッグできません。

Windows の場合：複数の項目を選択する場合、タップしながら「Ctrl」または「Shift」キーを押します。

Mac の場合：複数の項目を選択する場合、タップしながら「shift」または「command」キーを押します。



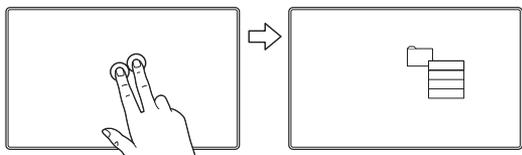


2本目の指のタップで右クリック

1本の指で画面上の項目を選択します。次に2本目の指をその右側に置き、離します。指を離すと右クリックが実行され、ポインタの位置にコンテキストメニューが表示されます。

次に、1本の指でタッチしてメニューのオプションを選択します。

補足：本機を左利き用に設定している場合、1本目の指の左側に2本目の指を置きます。

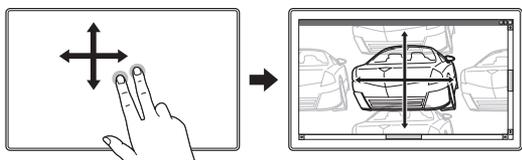


タップで右クリック

右クリックして、画面上のポインタの位置にコンテキストメニューを表示させるには、2本の指を少しだけ離して画面をタップします。

次に、1本の指でタッチしてメニューのオプションを選択します。

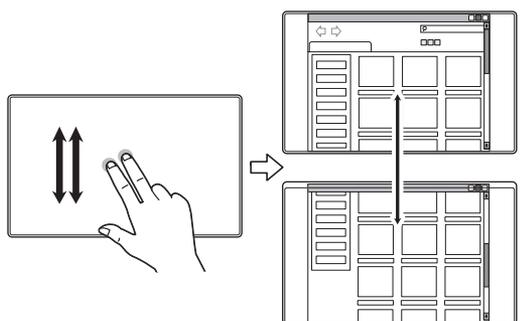
ソフトウェア特有の機能



スクロール

2本の指を本機の画面に置きます。指を同時にゆっくりと平行移動させます。

- 上方向へ指をスライドさせると、画面の上方向へファイルがスクロールします。
- 下方向へ指をスライドさせると、画面の下方向へファイルがスクロールします。
- 左方向へ指をスライドさせると、画面の左方向へファイルがスクロールします。
- 右方向へ指をスライドさせると、画面の右方向へファイルがスクロールします。



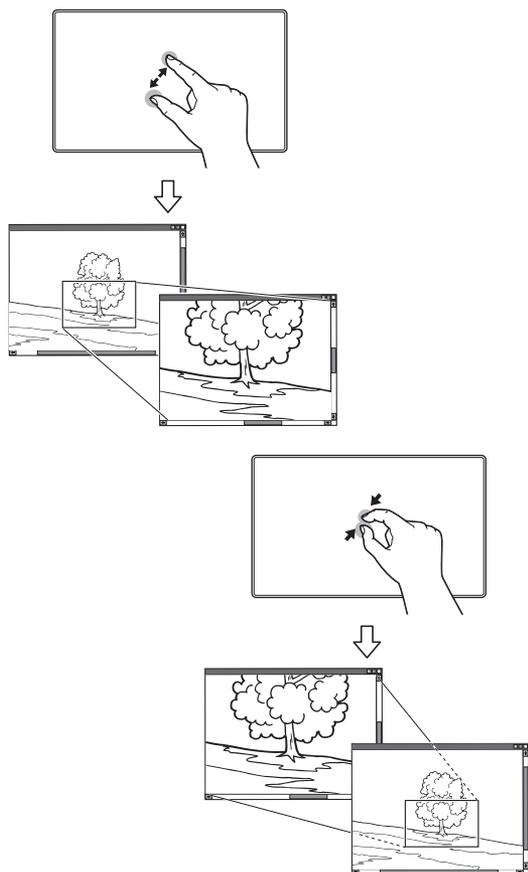
ファストスクロール

2本の指を同時に素早く動かし（あるいはフリックし）、動作の終わりに指を上へ持ち上げます。

- 上方向へ指をフリックして、スピードをつけてスクロールします。
- 下方向へ指をフリックして、スピードをつけてスクロールします。

補足：ファストスクロールは、垂直スクロールに対してのみ有効です。





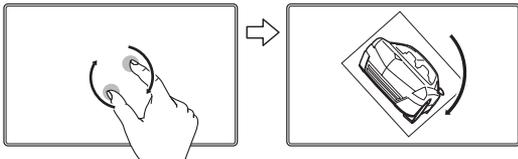
ズーム

初めに、本機の画面に2本の指を置きます。

- 1つの指ともう1つの指の間が徐々に広がるように、拡大操作を行います。
- 1つの指ともう1つの指でつまむようなかたちをつくって、指同士が徐々に近づくように縮小操作を行います。

補足：ズーム機能が Adobe Photoshop で正しく動作しない場合、「編集」メニュー→「環境設定」→「一般」を選択し、ウィンドウから「スクロールホイールでズーム」のチェックがはずれていることを確認します。



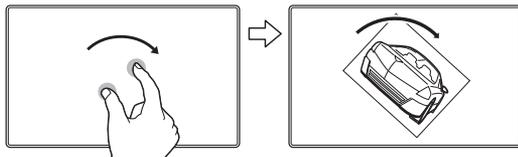


回転（2本指での回転）

本機の画面に2本の指を斜めに離して置き、時計回りあるいは反時計回り方向に回転させます。

このジェスチャーを本機に正しく認識させるために、2本の指を斜めに約25 mm以上離してから画面に置き、回転中もその間隔を維持してください。

補足：回転によるジェスチャーは、使用中のソフトウェアによって動作が異なります。90度ずつ回転する場合は、全く回転しない場合もあります。



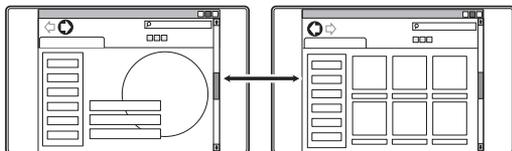
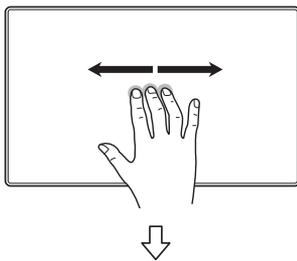
回転（指を軸にして回転）

本機の画面に2本の指を斜めに離して置きます。

1本の指を固定して、その指を軸にしてもう1本の指をそのまわりで回転させます。

このジェスチャーを本機に正しく認識させるために、2本の指を斜めに25 mm以上離してから画面に置き、回転中もその間隔を維持してください。

補足：回転によるジェスチャーは、使用中のソフトウェアによって動作が異なります。90度ずつ回転する場合は、全く回転しない場合もあります。



左右スワイプによるページ移動

「進む」または「戻る」（右あるいは左へのスワイプ）

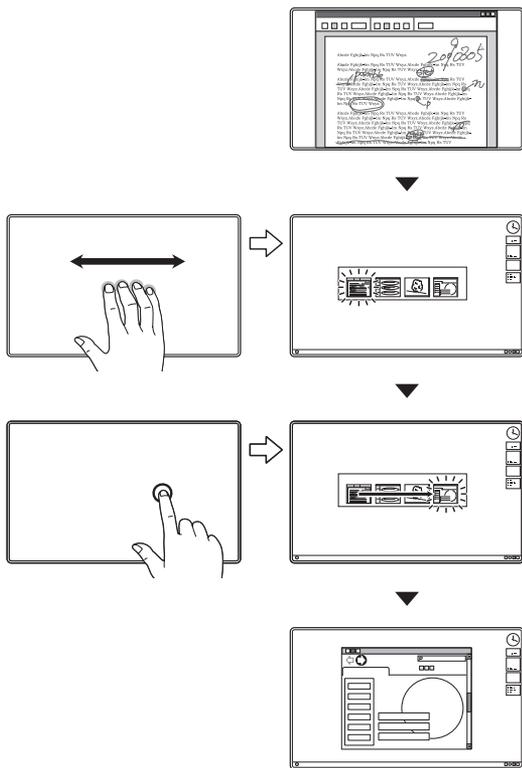
3本の指を少し離れた状態でスワイプします。動作の終わりに指を持ち上げます。

- 右方向にスワイプすると、多くのブラウザと画像ビューアで「進む」が実行されます。
- 左方向にスワイプすると、多くのブラウザと画像ビューアで「戻る」が実行されます。

ヒント：スワイプは、ドキュメントビューアでの右矢印キーおよび左矢印キーを使用するのと同じ働きをします。

ジェスチャーによるスワイプを使用すると、ほとんどのWebブラウザでページを進めたり前に戻したりできます。



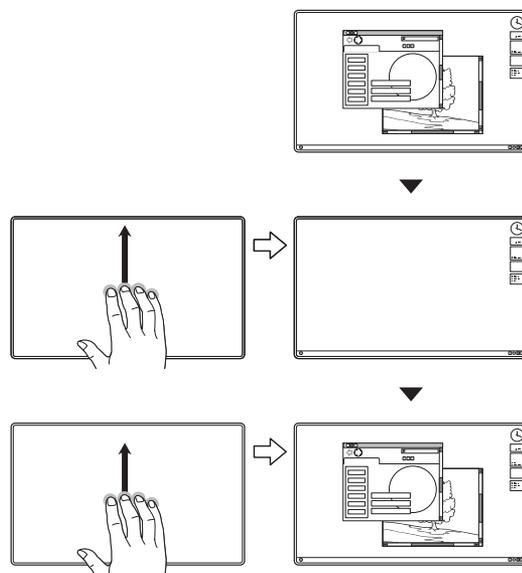


左右スワイプによるソフトウェアの切り替え

指同士を少し離れた状態で 4 本の指を左右に動かすと、アプリケーションスイッチャーが開きます。

続いて 1 本の指でソフトウェアを選択します。

Mac OS X 10.7.x の場合：4 本の指で左右にスワイプすると、フルスクリーンアプリケーションが切り替わります。



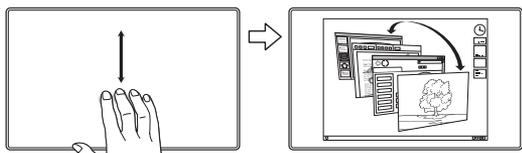
上方向スワイプでデスクトップ画面を表示

指同士を少し離れた状態で 4 本の指を上方向にスワイプすると、表示中のウィンドウが隠れ、デスクトップが表示されます。再度上方向にスワイプすると、隠れたウィンドウが再びデスクトップ上に戻されます。

Mac OS X 10.7.x の場合：4 本の指を上方向にスワイプすると Mission Control が開き、お使いの Mac で開かれているすべてのウィンドウを表示します。もう一度上方向にスワイプすると、Mission Control を終了します。

このジェスチャーはカスタマイズできます。[ジェスチャーの個人設定](#)をご覧ください。





下方向スワイプでフリップ 3D/EXPOSÉ/ APP EXPOSÉ を実行

指同士を少し離れた状態で、4本の指を下方向にスワイプします。

- フリップ 3D (Windows) の場合：最初のスワイプでフリップ 3D が開きます。再度下方向にスワイプするとフリップ 3D が閉じます。

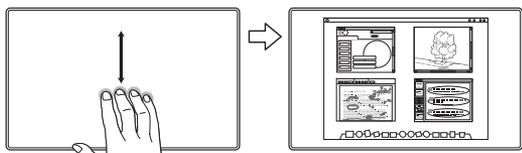
左または右にスワイプして、開いた複数のウィンドウ間を移動します。1本の指で1回タップして選択します。

- Exposé (Mac) の場合：最初のスワイプで Exposé が開きます。再度下方向にスワイプすると Exposé は閉じます。

1本の指で1回タップして選択します。

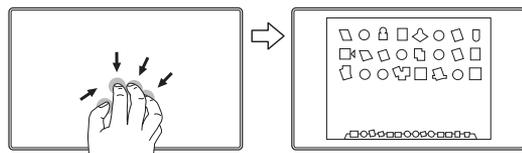
- App Exposé の場合 (Mac OS X 10.7.x)：下方向にスワイプすると、使用中のソフトウェアが開いているウィンドウをプレビューします。もう一度下方向にスワイプすると、App Exposé を終了します。

このジェスチャーはカスタマイズできます。[ジェスチャーの個人設定](#)をご覧ください。



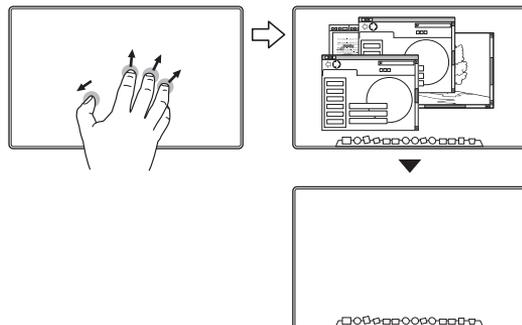
ピンチで Launchpad を開く

Mac OS X 10.7.x の場合：本機の画面に親指と他の3本の指を置き、すべての指を閉じるように近づけると、表示中のウィンドウが消え、コンピュータにあるすべてのソフトウェアが画面に表示されます。

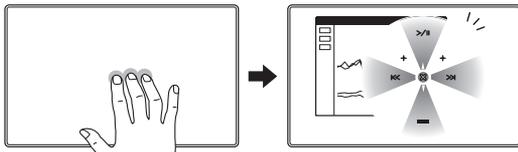


スプレッドでデスクトップを表示する

Mac OS X 10.7.x の場合：本機の画面に親指と他の3本の指を置き、すべての指を離すように広げると、デスクトップが表示されます。



ワコム固有の機能



タップでラジアルメニューを表示

3本の指を少し離してタップすると、本機の画面に[ラジアルメニュー](#)が開きます。

このジェスチャーはカスタマイズできます。[ジェスチャーの個人設定](#)をご覧ください。



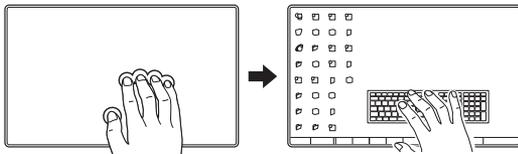
下方向スワイプで[設定内容の表示](#)を表示する

少し離れた状態の5本の指を下方向にスワイプすると、現在のファンクションキー、タッチホイール、電子ペン、およびタッチのインタラクティブな（コントロールパネルとリンクする）設定一覧が、画面に表示されます。

各項目をクリックするとコントロールパネルのタブを開き、設定の変更を行うことができます。

再び下方向にスワイプするか、各項目以外の領域をクリックすると、表示は終了します。

このジェスチャーはカスタマイズできます。[ジェスチャーの個人設定](#)をご覧ください。



タップでオンスクリーンキーボードを表示する

5本の指を少し離して画面上の項目をタップします。この操作でオンスクリーンキーボードを表示します。

再び5本の指でオンスクリーンキーボードをタップしてキーボードを閉じます。

このジェスチャーはカスタマイズできます。[ジェスチャーの個人設定](#)をご覧ください。

マルチタッチのカスタマイズ



使い方に合わせて、[コントロールパネル](#)からマルチタッチ入力の最適なカスタマイズを行うことができます。コントロールパネルの「入力デバイス」リストから「タッチパネル」（タッチアイコン表示）を選択し、カスタマイズしたいタブに切り替え、利用可能なオプションを選んで設定を変更します。[マルチタッチによる操作](#)をご覧ください。

[コントロールパネルの設定を管理する](#)

[コントロールパネルの概要](#)

[マルチタッチオプションを設定する](#)

[ジェスチャーの標準設定](#)

[ジェスチャーの個人設定](#)

[特定のソフトウェアに対する設定](#)

[マルチタッチ入力を無効にする](#)

マルチタッチオプションを設定する



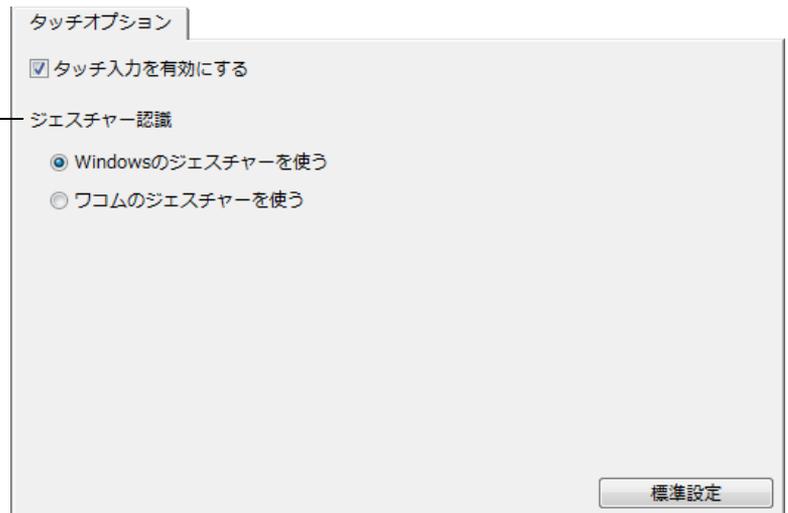
「タッチオプション」タブを選択します。

Windows 7以降のみ。

使用するオプションを、「Windows のジェスチャーを使う」または「ワコムのジェスチャーを使う」のどちらかに設定します。標準設定は「Windows のジェスチャーを使う」です。

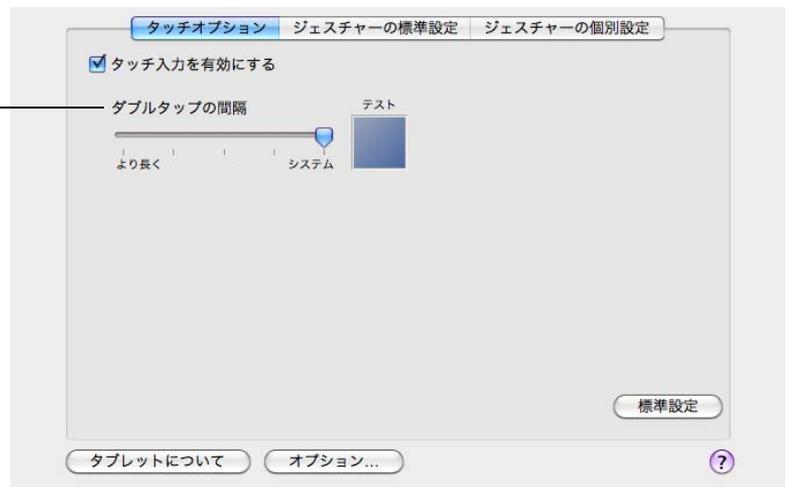
これはグローバルオプションの 1 つで、使用するすべてのソフトウェアに適用されます。

ヒント：複数のソフトウェア間で同じ操作を使いたい場合、「ワコムのジェスチャーを使う」を選択してください。選択すると、全ての Windows 標準のジェスチャーが、コントロールパネルの「ジェスチャーの個別設定」タブに表示されるカスタマイズ可能なジェスチャーと同様に利用できるようになります。



「ダブルタップの間隔」は、ダブルクリックを認識させるための速さを調節します。設定をテストするには、「テスト」エリアを 2 回タップします。Windows ではお使いになれません。

補足：「ダブルタップの間隔」設定は、通常のマウスの設定から独立しています。この設定を変更しても、通常のマウスの設定に影響はありません。ただし、通常のマウスの設定を変更すると、本機の設定に影響することがあります。



上の画面は Mac での表示です。

ジェスチャーの標準設定



Cintiq 24HD touch (DTH-2400) をカスタマイズし、ユーザごとに最適なタッチの設定を行う場合は、「ジェスチャーの標準設定」タブを選択します。

補足：このタブは Windows では使用できません。Windows 標準の 2 本指での操作およびジェスチャーは常に使用できます。

各項目をチェックすると、[マルチタッチ](#)操作やジェスチャーが利用可能になります。

様々な使い方に対応できるように、右クリックなど一部の機能は別の動作でも実行できます。

ポインタをタッチオプションのどれかに置くと、機能を説明する画像が表示されます。

タッチオプションを選ばなければ、自動的に一番上のタッチオプションから順に画像が表示されます。

[マルチタッチによる操作](#)および[ジェスチャーの個人設定](#)もご覧ください。



上の画面は Mac での表示を例にしています。

お使いのコンピュータや OS により、利用可能なオプションが一部異なる場合があります。

ジェスチャーの個人設定



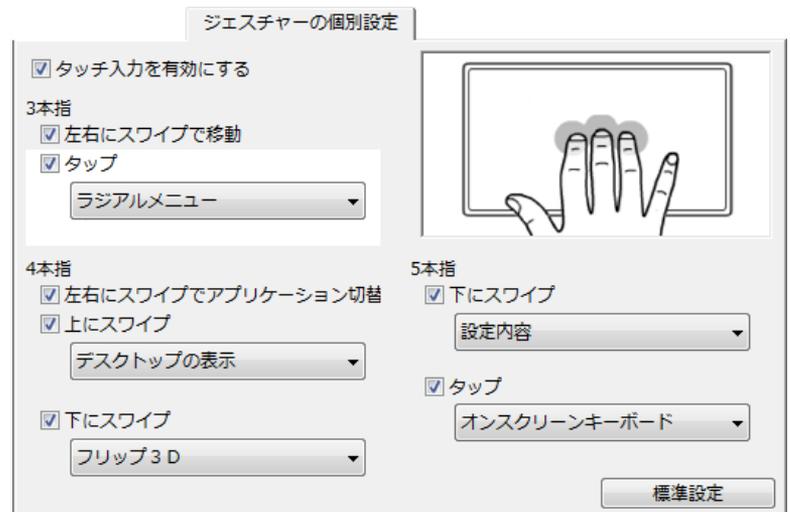
カスタムタッチジェスチャーを作成する場合は、「ジェスチャーの個別設定」タブを選択します。

[マルチタッチ](#)のジェスチャーは、ドロップダウンメニューから選んで変更でき、選択したジェスチャーを使うことができます。

ポインタをタッチオプションのどれかに置くと、機能を説明する画像が表示されます。

タッチオプションを選ばなければ、自動的に一番上のタッチオプションから順に画像が表示されます。

[マルチタッチによる操作](#)および[ジェスチャーの標準設定](#)もご覧ください。



上の画面は Windows での表示を例にしています。

お使いのコンピュータや OS により、利用可能なオプションが一部異なる場合があります。

このタブは、「タッチオプション」タブの「ワコムジェスチャーを使う」を選択した場合にのみ表示されます。

マルチタッチ入力を無効にする



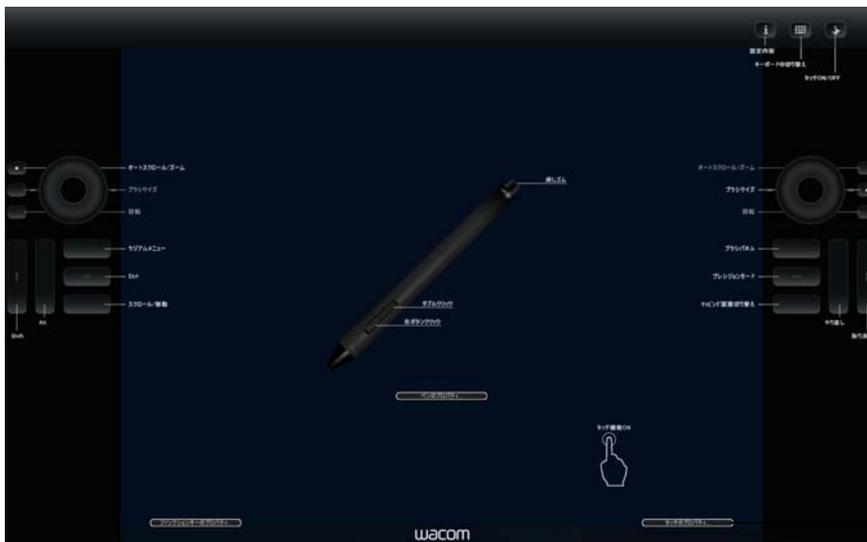
「ジェスチャーの標準設定」タブ、「ジェスチャーの個別設定」タブ、または「タッチオプション」タブを選択して、タッチの有効 / 無効を切り替えます。

- 選択を解除するとタッチ入力が無効になります。マルチタッチ入力を無効にしてもファンクションキーおよび電子ペンでの作業は有効です。
- 「タッチ機能 on/off 切り替え」機能をファンクションキーに割り当てることもできます。



上の画面は「ジェスチャーの個別設定」タブを例にしています。

「[設定内容の表示](#)」オプションに設定されたファンクションキーまたはサイドスイッチを押すと、本機の現在の設定一覧が画面に表示されます。



「タッチのプロパティ」をクリックし、コントロールパネルでタッチの設定を確認できます。

マルチタッチのテスト



マルチタッチ入力に関してトラブルがあった場合は、現在割り当てられているタッチ機能をチェックするか、または標準設定に戻してください。

さらにマルチタッチのテストを続ける場合：

1. 画面上のいろいろな場所にタッチして、画面のポインタを動かします。[本機のテスト](#)もご覧ください。
2. コントロールパネルを開き、「タブレットについて」ボタンをクリックします。表示されるダイアログボックスで「診断」をクリックします。「診断」ダイアログボックスは、本機とお使いの入力デバイスの現在の状態、およびマルチタッチ入力が可能な機種についての適切な情報を表示します。[操作機能および入力デバイスのテスト](#)もご覧ください。
3. 「診断」ダイアログボックスを開き、画面を1本の指でタッチし、次に2本の指でタッチします。画面をタッチするたびに、「タッチ情報」の状態が変化します。
4. 終了後、「閉じる」ボタンをクリックしてダイアログボックスを閉じます。



本機をカスタマイズする

本機の基本的な使い方を習得した後に、本機や電子ペンの機能をカスタマイズします。この章では、コントロールパネルを使い本機や入力デバイスをカスタマイズする方法について説明します。

操作に慣れたユーザは、[特定のソフトウェアに対する設定](#)を作成することにより、本機を最適な状態でお使いいただくことができます。

[コントロールパネルの設定を管理する](#)

[コントロールパネルの概要](#)

[ペン先の位置調整](#)

[電子ペンをカスタマイズする](#)

[マルチタッチのカスタマイズ](#)

[ファンクションキーとタッチホイールをカスタマイズする](#)

[ボタン機能](#)

[ラジアルメニューの使い方と設定](#)

[マッピング画面切り替えを使う](#)

[特定のソフトウェアに対する設定](#)

[複数デバイスでの作業](#)

[本機の登録名を変更する](#)



コントロールパネルの設定を管理する

本機の画面上で電子ペンを使ってコントロールパネルを開きます。

- **Windows の場合**：Windows の「スタート」ボタンをクリックして「すべてのプログラム」を選択します。次に、「ワコムタブレット」を選択し、「ワコムタブレットのプロパティ」オプションを選択します。
- **Mac の場合**：アップルメニューの「Dock」または「アプリケーション」フォルダから「システム環境設定」を開きます。次に、「ワコムタブレット」アイコンをクリックします。

コントロールパネルを開き、本機のカスタマイズを始めます。[コントロールパネルの概要](#)をご覧ください。

補足：ユーザ固有の環境設定を保存することができます。ログイン後に各ユーザは、コントロールパネルで個人設定をカスタマイズできます。ユーザを切り替えると、自動的に新しいユーザの設定に切り替わります。

ヒント：• [ワンタッチ表示ボタン](#)の左端のボタンを押すと、液晶ペンタブレットの現在の設定一覧が表示されます。



「設定内容の表示」の各項目をクリックすると、該当するコントロールパネルのタブが開きます。

機種によって表示あるいは設定の一部が異なる場合があります。

- **Cintiq 24HD (DTK-2400) の場合**：[ワンタッチ表示ボタン](#)の右端のボタンを押して、本機のコントロールパネルを起動させることもできます。

コントロールパネルの概要

コントロールパネルを使って本機や入力デバイスをカスタマイズできます。コントロールパネルを開くと、電子ペンやその他の入力デバイスのアイコンが「入力デバイス」に表示され、その内容に応じてタブが表示されます。

カスタマイズする場合は、タブの設定を変更します。いろいろな設定を試して、最適な設定を見つけてください。設定の変更は直ちに有効となります。「標準設定」をクリックすると、タブレットドライバインストール時の初期設定に戻すことができます。

ご使用のペンタブレット、入力デバイスおよびソフトウェアの設定を表すアイコンを表示します。

「ファンクション」を選択して、「ファンクションキー」、「タッチホイール」の各設定をカスタマイズします。電子ペンの設定をするときは「グリップペン」などの入力デバイスを選びます。本機の画面上で電子ペンを使用すると、このアイコンは自動的に「入力デバイス」リストに追加され、標準設定で機能します。

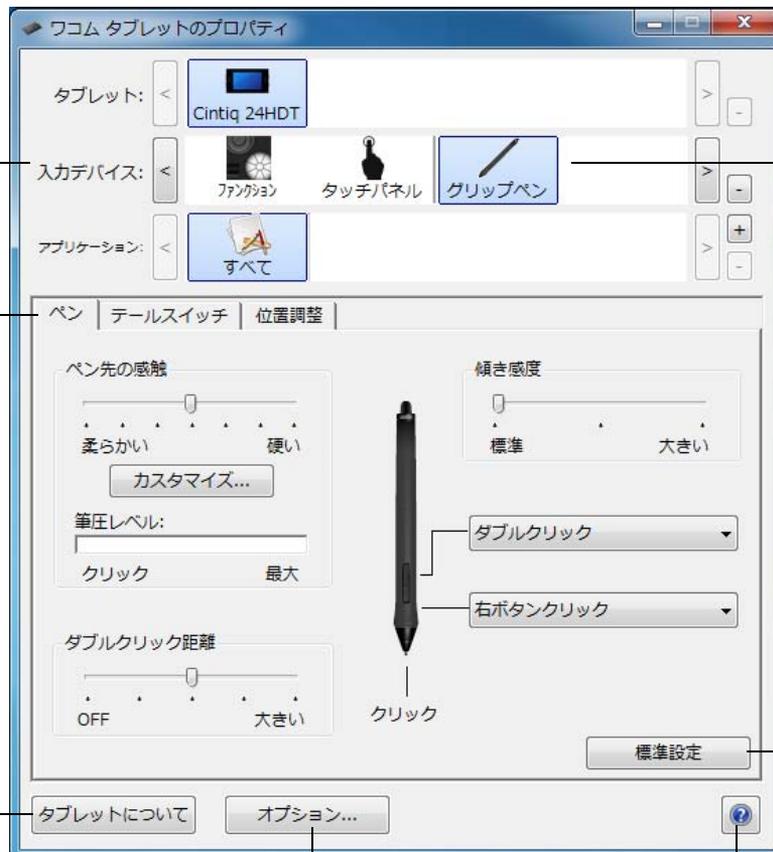
各タブには、選択した「入力デバイス」に対応するカスタマイズ可能な設定が表示されます。

ペンタブレットとタブレットドライバに関する情報を記載したダイアログを表示します。必要に応じて「診断」ダイアログボックスを開くこともできます。

「オプション」ダイアログを表示します。

各タブの設定を標準設定の状態に戻します。

ユーザズガイド（本書）を表示、またはダウンロードできます。



ヒントはほとんどのコントロールパネルの項目の上に表示されます。項目の上にポインタを置いて静止させると、すぐにヒントがポップアップします。

キーボードのタブと矢印キーを使って、コントロールパネルを操作することもできます。



コントロールパネルリストとタブ：コントロールパネルの「タブレット」、「入力デバイス」および「アプリケーション」リストから、設定変更するペンタブレット、入力デバイス、およびソフトウェアを選択できます。

「タブレット」リストには、コンピュータに接続しているペンタブレットのアイコンが表示されます。リストの下のタブに表示される設定はすべて、選択したペンタブレットに適用されます。

- ペンタブレットがコンピュータに接続されていないときは表示されません。
- 接続しているペンタブレットの設定を閲覧または変更することができます。
- コンピュータに接続されていないペンタブレットの設定は、コントロールパネルリストから削除できません。



現在の選択がハイライトされます。

[複数ペンタブレットの設置と本機の登録名を変更する](#)もご覧ください。

「入力デバイス」リストには、「ファンクション」およびペンタブレットで使われている入力デバイスのアイコンが表示されます。マルチタッチ入力可能な機種の場合は、「タッチパネル」アイコンが表示されます。

特定の入力デバイスをカスタマイズするには、「入力デバイス」リストの該当するアイコンをクリックし、該当するタブを表示します。[ファンクションキーとタッチホイールをカスタマイズする](#)、[電子ペンをカスタマイズする](#)、および[マルチタッチのカスタマイズ](#)をご覧ください。

補足：新しいデバイスが、初めて本機で使用されると、自動的に「入力デバイス」リストに標準設定の状態で追加されます。

[複数デバイスでの作業](#)もご覧ください。

「アプリケーション」リストを使って、特定のソフトウェアごとに適用する「入力デバイス」設定を定義できます。[特定のソフトウェアに対する設定](#)をご覧ください。

補足：「アプリケーション」リストは操作に慣れたユーザ用です。お使いの入力デバイスをカスタマイズするために、ソフトウェアを選択または追加する必要はありません。

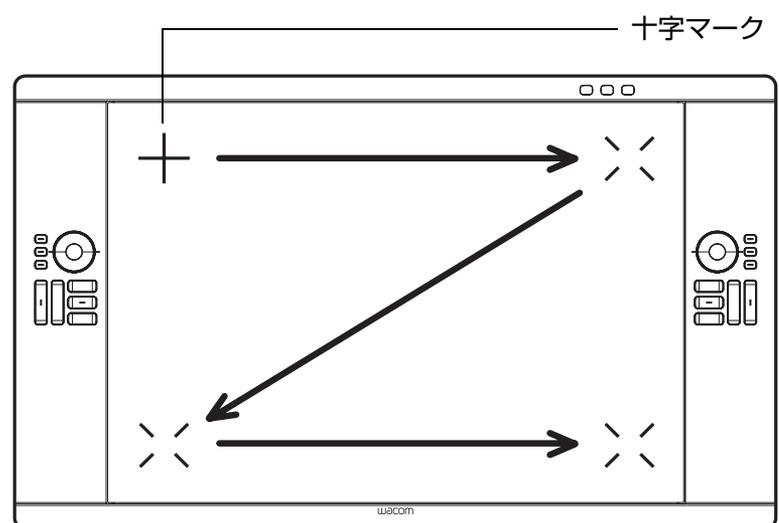
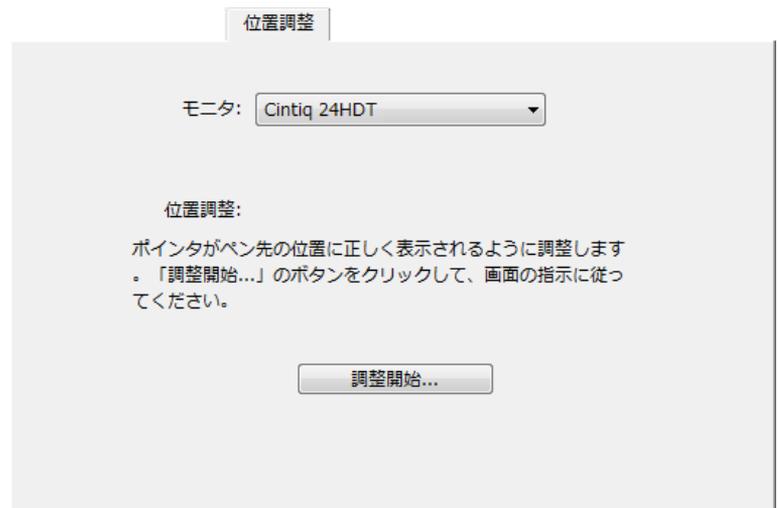
ペン先の位置調整



本機を最適な状態でお使いいただくために、ペン先の位置調整を行い、ポインタとペン先の位置を合わせる必要があります。これは、保護ガラスによる**視差**の調整のために必要です。本機を通常使用するときの姿勢と目の位置（高さ）で、次の手順を行ってください。

重要：アナログ RGB で接続している場合は、位置調整をする前に「オートアジャスト」を行ってください。[画面の調整](#)をご覧ください。

1. コントロールパネルを開きます。
コンピュータに複数のペンタブレットを接続している場合は、本機を「タブレット」リストから選択します。
2. 「入力デバイス」リストから「グリップペン」を選択します。
次に「位置調整」タブを選択します。
3. 複数のディスプレイを使用している場合は、「モニター」欄で本機を選んでください。コンピュータが認識しているディスプレイがリストに表示されます。
4. 「調整開始...」をクリックして位置調整画面を開きます。
5. 電子ペンを持ち、通常本機を使うときの姿勢と目の位置（高さ）を保ちます。続いて左上の十字マークの中心をペン先でクリックします。
6. 続いて右上→左下→右下の順に十字マークの中心をクリックします。
7. 画面上のいくつかの異なる点にペン先を置いて、位置合わせのテストを行います。位置調整が正しければ「OK」をクリックします。再度位置調整をする場合は「再試行」をクリックします。



ヒント：ポインタを実際のペン先の位置から少しずらすには、十字マークからずれた位置を示す点をクリックして位置調整します。たとえば、ポインタの位置をペン先の左上方 2.5 mm に表示させるには、十字マークの右下方 2.5 mm の点をクリックして位置調整します。

電子ペンをカスタマイズする



最初に電子ペンでコントロールパネルを開くと、「入力デバイス」リストから自動的に「グリップペン」が選ばれ、その内容に応じてタブが表示されます。自動で選ばれない場合は、手動で「グリップペン」を選んでください。タブを選択し、使用可能なオプションを設定します。



本機では、オプション品のアートペンやエアブラシをお使いになることができます。

- アートペンは筆圧に対応したペン先とテールスイッチ（消しゴム）を搭載し、さらに傾き、回転にも対応しています。回転の検出をサポートするソフトウェアで使用すると、ペン軸を回転させるだけで、線の幅を狭くしたり太くしたりできます。
- エアブラシは本物志向のデジタルエアブラシです。筆圧機能、消しゴム機能、傾き検出、およびホイール機能を搭載し、アナログのエアブラシの感覚をそのままに作業できます。

本機のタブレットドライバは、これらの入力デバイスをサポートしています。本機の画面上でこれらの入力デバイスを使用すると、自動的に「入力デバイス」リストに追加されます。コントロールパネルが自動で更新され、新しい入力デバイスとカスタマイズ可能なオプションが表示されます。

エアブラシのホイール、アートペンの回転をサポートしているソフトウェア内で、これらの機能を調節することができます。詳しくはソフトウェアに付属の取扱説明書をご覧ください。

これらのオプションデバイスやその他オプション品を購入するには、ワコムストアのホームページをご覧ください。

<http://store.wacom.jp/>

ワコムのホームページで、エアブラシ、アートペンの機能をサポートしているソフトウェアを確認できます。

<http://wacom.jp/>

ペン先の感触とダブルクリックの調整



「ペン」タブを選択します。

クリックしたり線を描いたり色を塗る際に必要な筆圧を、カスタマイズします。太い線で描きたい、または軽い力でクリックしたい場合は、より「柔らかい」に設定します。強い筆圧で細い線を描きたいときは、より「硬い」に設定します。

ペン先の感度をさらにカスタマイズしたいときクリックします。

ペン先で画面上の空き領域を押して「ペン先の感触」の設定をテストします。無理なく最大筆圧を得るために必要な筆圧をスライダで調整します。



ダブルクリックする領域の大きさを調整します。

[ダブルクリックアシスト](#)を作動しないようにするには、スライダを OFF の位置へドラッグします。

ヒント：「ペン先の感触」を「柔らかい」の方へ設定すると、筆圧の感度が高まります。筆圧対応のグラフィックソフトウェアでは、この設定をお勧めします。

ソフトウェアによっては、柔らかい筆圧の設定に過剰に反応する場合があります。電子ペンを少し押しただけでブラシサイズが画面上で拡大する場合は、「ペン先の感触」を「硬い」の方へ設定してみてください。

ダブルクリックを簡単にするには、ダブルクリックする範囲（ダブルクリック距離）を大きくします。

グラフィックソフトによっては、ダブルクリック距離を大きくすると筆のストロークに時間差が生じるため、ドラッグの動きやインクのストロークにも時間差が生じることがあります。このような場合はダブルクリック距離を小さく設定し、サイドスイッチまたは[ファンクションキーを使用してダブルクリック](#)をする設定もできます。

消しゴムの感触の調整



「テールスイッチ」タブを選択します。

補足：製品によっては、消しゴム機能をサポートしていない場合があります。

消しゴムを使用する場合に実行する機能を**機能**を選択します。

消しゴムの筆圧をカスタマイズします。

消しゴムの感度を**さらにカスタマイズ**したいときにクリックします。

テールスイッチで画面上の空き領域を押して「消しゴムの感触」の設定をテストします。無理なく最大筆圧を得るために必要な筆圧をスライダで調整します。



ペン先と消しゴムの筆圧の詳細設定



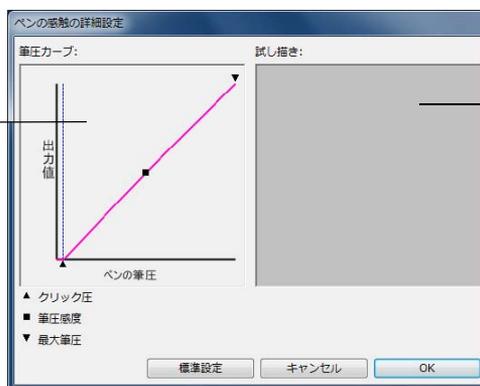
ペン先あるいはテールスイッチ（消しゴム）の筆圧を設定する場合、「ペン」または「テールスイッチ」タブを選択し、「カスタマイズ…」ボタンをクリックします。「ペンの感触の詳細設定」ダイアログボックスのオプションで、ペン先または消しゴムの筆圧感度とクリックのしきい値設定を変更できます。

筆圧カーブは、選択した筆圧感度の曲線とクリック圧の設定を図で示したものです。

筆圧の各コントロールを動かして、筆圧カーブを変更します。

- 「クリック圧」は、筆圧の登録やペン先でのクリックに必要な荷重を設定します。
- 「筆圧感度」を調節し、筆圧カーブの傾きを変更します。
- 「最大筆圧」は、最大筆圧を得るために必要な荷重を設定します。

急激な増加を表す曲線は、電子ペンの感度が高いことを示します。



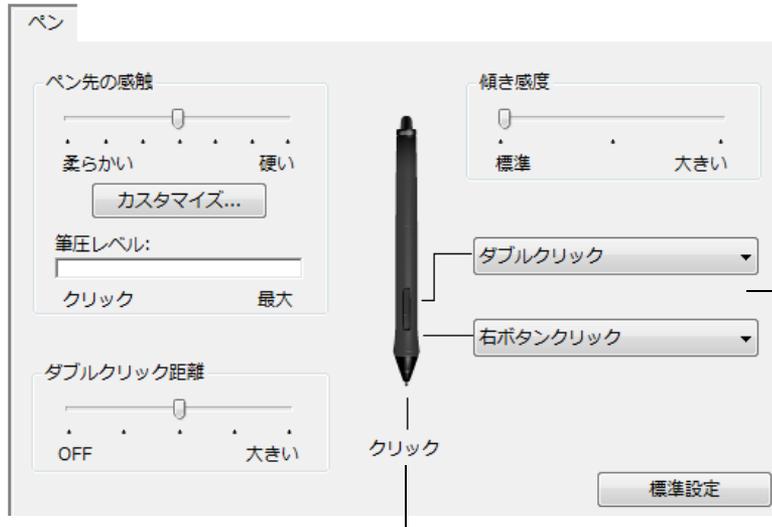
ペン先、またはテールスイッチ（消しゴム）を使って、ボックス内を何度か試し描きしてみて、変更結果をテストしてください。

重要：「ペン先の感触」、または「消しゴムの感触」のスライダと詳細な設定は連動しているため、変更される際にはご希望に合う設定画面をお使いください。詳細な設定をカスタマイズしてから、スライダをドラッグすると、詳細設定で設定した内容が削除されます。

サイドスイッチのカスタマイズ



「ペン」タブを選択します。



上側または下側のサイドスイッチを押した場合に働く機能を選択します。

画面に触れずにペン先を画面から 5 mm 以内に近づけて、上側または下側のサイドスイッチを押すと、設定した機能が実行されます。

ヒント：簡単にダブルクリックを行うには、サイドスイッチに「ダブルクリック」を設定します。

ペン先にクリック以外の機能を割り当てる場合には、文字の上をダブルクリックします。

- クリックが設定されていないと、電子ペンでウィンドウの操作ができなくなる場合があります。サイドスイッチのどちらかを、必ず「クリック」機能に設定してください。
- グラフィックソフトウェアで線を描くためには、ペン先が「クリック」に設定されている必要があります。

「サイドスイッチエキスパートモード」を変更して、右クリックなどのクリック機能を実行する方法を変えることができます。コントロールパネルの「オプション」ボタンをクリックしてください。

以下を選択してください。

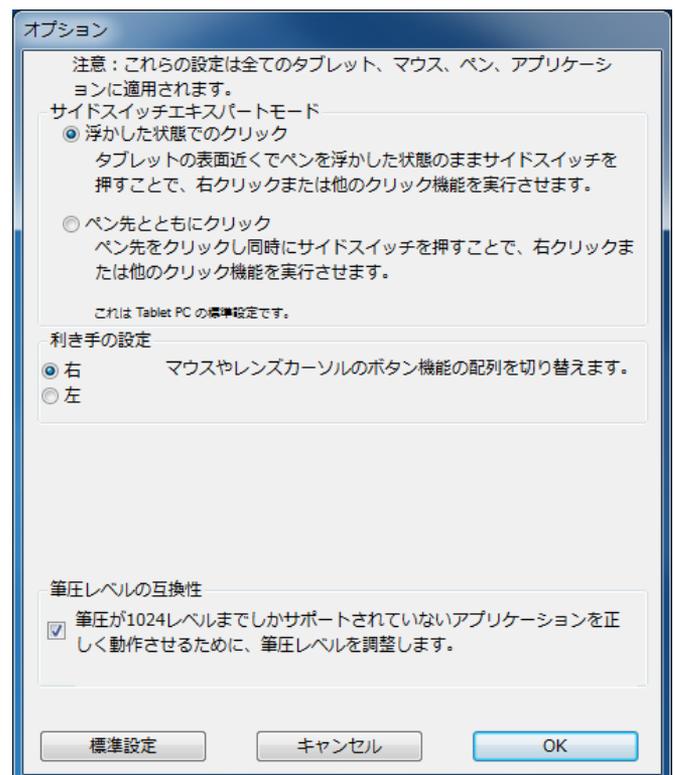
- 「浮かした状態でのクリック」を選択した場合、ペン先を液晶画面に接触させずにクリック機能を実行することができます。これは、タブレット PC を除くすべてのオプションの標準設定です。
- 「ペン先とともにクリック」を選択した場合、正確な位置でクリックすることができます。選択されている場合、この機能を実行するには、サイドスイッチを押しながらペン先を画面に接触させます。



浮かした状態でのクリック



ペン先とともにクリック



傾き感度のカスタマイズ



電子ペンの傾き感度を調整するには、「ペン」タブを選択します。傾きに対応するソフトウェアで、電子ペンをどれくらい傾げるかを決めて、ペンの傾き効果が最大限に発揮できるようにします。高い感度では、低い感度ほど電子ペンを傾げる必要はありません。



スライダをドラッグして、「傾き感度」の高低を調整してください。次に、傾きをサポートするソフトウェアで新しい設定をテストします。

傾きの設定はペン先およびテールスイッチ（消しゴム）の両方に適用されます。

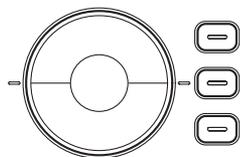
傾きは電子ペンを動かす方向に反応します。ソフトウェアによっては、ブラシの方向やその他の特性をコントロールするために、傾きが使えます。

ワコムのホームページで、傾きをサポートしているソフトウェアを確認できます。[製品情報](#)をご覧ください。

注意：動作を保証する電子ペンの傾き角度は、垂直から 40 度までです。

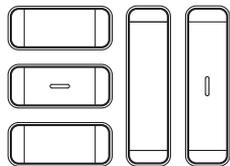
ファンクションキーとタッチホイールをカスタマイズする

ファンクションキーやタッチホイールをカスタマイズするには、コントロールパネルを[開いて](#)、「入力デバイス」リストから「ファンクション」アイコンを選択します。カスタマイズするタブを選択して、利用可能なオプションを使用して設定を変更します。



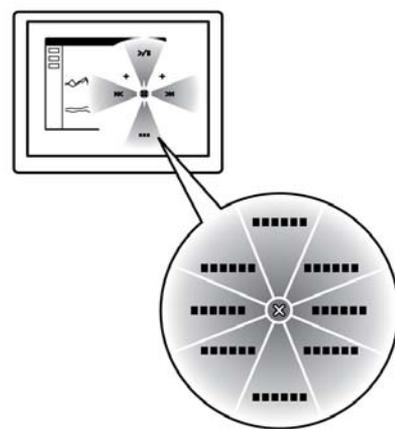
[タッチホイールをカスタマイズする](#)

[ファンクションキーをカスタマイズする](#)



[マッピング画面切り替えを使う](#)

[特定のソフトウェアに対する設定](#)



[ラジアルメニューの使い方と設定](#)

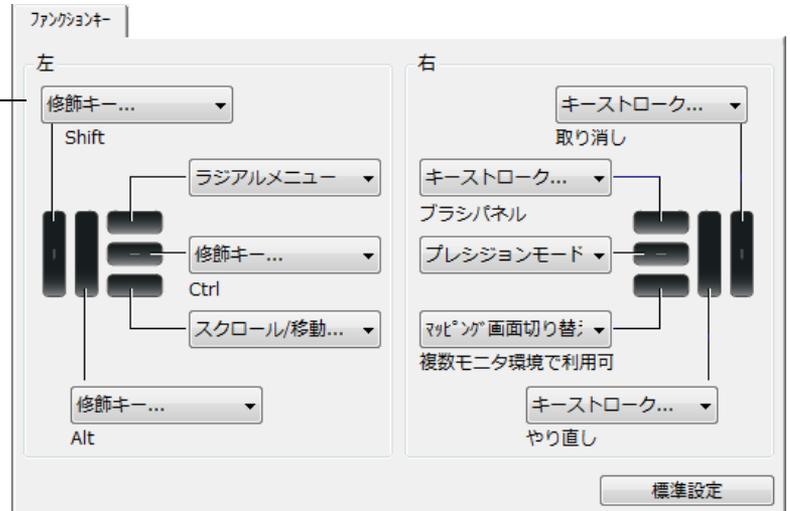
ファンクションキーをカスタマイズする

ファンクションキーをカスタマイズするときは、「ファンクションキー」タブを選びます。マッピング画面切り替え、修飾キー、キーストロック、その他の機能を各キーに割り当てることができます。

キーを押した場合に実行される機能を選択します。

ファンクションキーは、[特定のソフトウェア](#)ごとに設定することができます。

詳しくは[ファンクションキーを使う](#)をご覧ください。



重要: ソフトウェアによっては、ファンクションキーの設定を無効にして、ソフトウェアがファンクションキーの機能を制御する場合があります。詳しくは、[タブレットコントロールができる処理が組み込まれたソフトウェアを使う](#)をご覧ください。

タッチホイールをカスタマイズする

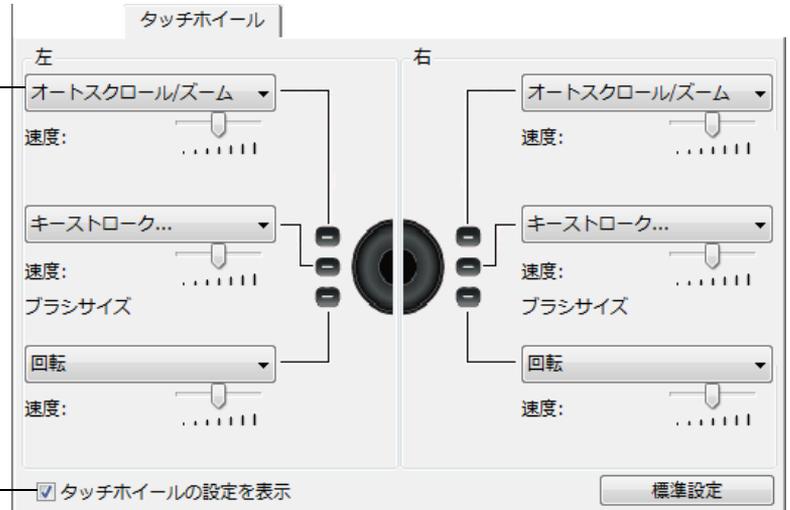
タッチホイールをカスタマイズするときは、「タッチホイール」タブを選びます。各種のズーム、スクロール、あるいはキーストロークをタッチホイールを割り当てることができます。例えば Adobe Photoshop での作業中では、タッチホイール機能の 1 つをレイヤーの切り替えに設定することができます。

タッチホイールを使って実行する機能を選びます。タッチホイールは異なる 3 種類のモードに合わせてカスタマイズできます。ズーム速度やスクロール速度、キーストロークイベントをソフトウェアに送る速度を調整できます。

タッチホイール機能は、[ソフトウェアの設定](#)に合わせてソフトウェアごとに設定できます。

詳しくは[タッチホイールを使う](#)をご覧ください。

タッチホイール設定の一欄表示を有効または無効にします。



- ヒント：
- タッチホイールに他の操作を設定するには、「キーストローク」オプションを選択し、[キーストローク機能](#)を定義します。ソフトウェアによるキーストロークショートカットのサポートについては、ソフトウェアに付属する取扱説明書をご覧ください。
 - 「スキップ」を選択すると、機能の状態をスキップするようにタッチホイールの切り替えボタンを設定できます。
 - Adobe Photoshop CS3 以降で、ポインタの位置する画像をズームするには、「Photoshop」メニュー→「環境設定」→「一般」を選択します。続いて「スクロールホイールでズーム」オプションをチェックして、「OK」をクリックします。

重要：ソフトウェアによっては、タッチホイールの設定を無効にして、ソフトウェアがタッチホイールの機能を制御する場合があります。詳しくは、[タブレットコントロールができる処理が組み込まれたソフトウェアを使う](#)をご覧ください。

ボタン機能

使い方に合わせて本機をカスタマイズしてください。サイドスイッチ、ファンクションキー、タッチホイール、ラジアルメニューの設定は、コントロールパネルから簡単に変更することができます。

機能名	内容
クリック	
• クリック	クリックを行います。ポインタの操作やクリックが行えるように、必ずボタンの1つに設定してください。
• 右ボタンクリック	右クリックを行います。クリックすると、コンテキストメニューが表示されます。
• 中ボタンクリック	中ボタンクリックを行います。
• ダブルクリック	ダブルクリックを行います。ペン先で2度たたく代わりにこの機能を使用すると、ダブルクリック操作が簡単になります。
• クリックロック	サイドスイッチを1回押すと、マウスの左ボタンを押してそのまま押し続けている状態になります。もう一度押すと、左ボタンから指を放す動作になります。クリックロックは、オブジェクトをドラッグする、またはテキストブロックを選択する場合に便利です。
• 第4ボタンクリック	マウスの第4ボタンを押すことに相当します。
• 第5ボタンクリック	マウスの第5ボタンを押すことに相当します。



機能名

内容

キーストローク

キーストロークをシミュレートできます。このオプションを選択すると、「キーストロークを登録」ダイアログボックスが表示されます。

1つのキーストロークか、またはキーストロークを組み合わせで「キー」ボックスに入力できます。キーストロークには、文字、数、F3のようなファンクションキー、修飾キー（Windowsでは[Shift]、[Alt]、[Ctrl]、Macでは[shift]、[option]、[command]、[control]キー）を組み合わせることができます。

「特殊キー」メニューから、特別なキーストローク、またはキーストロークの組み合わせを選択することもできます。

キーストロークを入力したら、「OK」をクリックします。

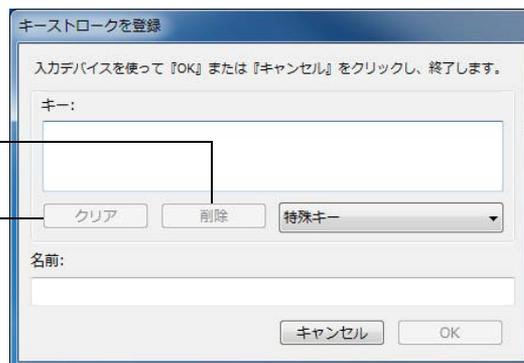
重要：[Enter] キー (Windows) と [Return] キー (Mac) は、キーストロークとして定義できるため、「キーストロークを登録」ダイアログボックスの「OK」を選択する場合に使用しないでください。必ず電子ペンを使用して「OK」ボタンをクリックしてください。

キーストローク定義に名前を入力します。名前は、それぞれコントロールまたはラジアルメニューに表示されます。

キーストローク機能は、ソフトウェアごとに設定できます。詳細については[特定のソフトウェアに対する設定](#)をご覧ください。

キーストローク入力ボックスに入力した最後の内容を削除します。

キーストローク入力ボックスをクリアにします。



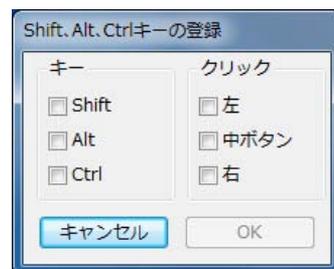
ソフトウェアでサポートされているキーストロークショートカットについては、ソフトウェアに付属の取扱説明書をご覧ください。

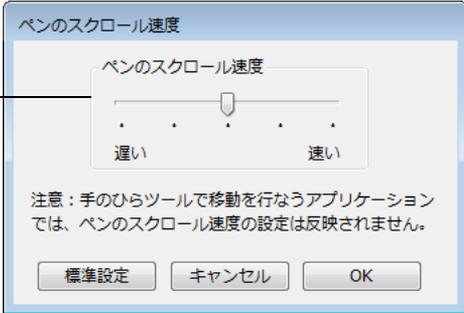
修飾キー

修飾キー（Windowsでは[Shift]、[Alt]、[Ctrl]キー、Macでは[shift]、[option]、[command]、[control]キー）をシミュレートできます。多くのソフトウェアでは、修飾キーを使用してメニューやツールを切り替えます。

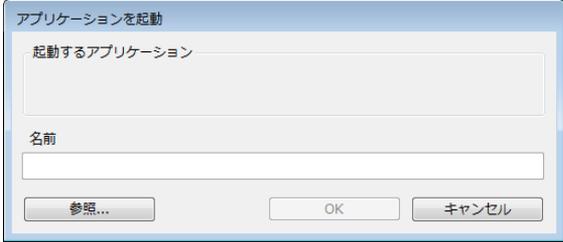
1つ以上のキーオプションを選択します。

「クリック」オプションの1つをチェックすると、スイッチを押すと必ずマウスのクリックが実行されるようになります。



機能名	内容
ラジアルメニュー	画面上に ラジアルメニュー を表示します。ラジアルメニューの各階層メニューは、8つの項目から構成され、オプション機能を設定できます。
戻る	ブラウザで「戻る」機能を実行します。
進む	ブラウザで「進む」機能を実行します。
スクロール / 移動 (ペンのみ)	<p>「スクロール / 移動」に設定されたサイドスイッチを押して、本機の画面上でペン先を滑らせるように動かすと、文書または画像をウィンドウ内で自由に移動させることができます。</p> <p>「スクロール / 移動」を選択すると、ダイアログボックスが表示されます。</p> <p>補足：手のひらツール（ピクセルレベル）で移動を行うソフトウェアでは、スクロール速度の設定が反映されません。</p> <p>「スクロール / 移動」を選択すると、「ペンのスクロール速度」ダイアログボックスが画面に表示されます。</p>  <ul style="list-style-type: none"> 設定を遅くすると、スクロールの速度が遅くなります。画像を正確にコントロールしなければならないような細かい作業に有効です。 電子ペンが動く方向に従って文書や画像がスクロール、または移動します。 目的位置までスクロールまたは移動させたら、サイドスイッチを指から離すか、ペン先をペンタブレットから離してください。 あるソフトウェアでは、文書はペン先の動きにつれて正確にポイントに追従しますが、別のソフトウェアでは文書はポイントと同じ方向に移動するのみです。
デスクトップの表示	開いているウィンドウをすべて最小化して、デスクトップを表示します。
タスク切り替え	起動中のソフトウェアの中で、前面に表示させたいソフトウェアをウィンドウ切り替えダイアログボックスから選択できます。Aero を搭載した Windows 7 または Windows Vista では、3D フリップが起動して、前面に表示させたいソフトウェアを選択できます。



機能名	内容
開く / 起動 ...	<p>ダイアログボックスを開いて、起動する特定のソフトウェア、ファイル、またはスクリプトを選択できます。</p> <p>「参照」ボタンをクリックして、起動するソフトウェア、ファイル、またはスクリプトを選択します。「名前」ボックスに、選択したソフトウェアが表示されます。「OK」をクリックします。</p>  <p>ダイアログボックスが閉じ、選択した「開く / 起動 ...」オプションがボタンオプションとして割り当てられます。サイドスイッチを押すだけで、割り当てたオプションが実行されます。</p> <p>ラジアルメニューに選択した場合、ラジアルメニューリストに表示されるようになります。</p>
タッチ機能 on/off 切り替え	<p>Cintiq 24HD touch (DTH-2400) でのみ利用できます。「タッチ機能 on/off 切り替え」は、入力デバイスの作業中に電子ペンのみを使いたい場合に便利です。</p> <p>「タッチ機能 on/off 切り替え」を割り当てたファンクションキーを押すことによって、一時的にマルチタッチ入力を無効にします。マルチタッチを有効にするには、再度このファンクションキーを押します。ファンクションキーをカスタマイズするをご覧ください。</p>
Ink 文字認識 ON/OFF	<p>(Mac のみ) Ink の「手書き認識」機能をオンとオフに切り替えます。Ink は筆跡を認識して、テキストに変換し、ドキュメントに挿入します。この機能を使用するには、Ink をオンにする必要があります。Ink の使い方については Mac のヘルプをご覧ください。</p>
オンスクリーンキーボード	<p>ボタンを押すと、画面上にキーボードが表示されます。再度押すと、キーボードは閉じます。</p>
Exposé	<p>(Mac のみ) : 画面に開いているウィンドウをタイル表示します。ダイアログボックスで「キーストローク ...」 → 「特殊キー」メニューと選択して、このオプションを表示します。</p>
筆圧一定	<p>ボタンを放すまで、筆圧を一定に保ちます。たとえば、ブラシが好みのサイズになるまで、筆圧を変えながら線を描きます。次にボタンを押すと、ボタンを放すまで同じブラシのサイズで描き続けることができます。</p>





機能名

内容

プレジジョンモード

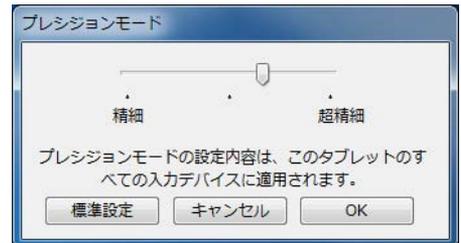
ペン先位置周辺のマッピングの比率を変更し、一定の距離ポインタを動かすには、電子ペンをそれより長い距離動かさなければならないよう設定します。この機能は、電子ペンまたはブラシで正確な軌跡を書きたい場合に役立ちます。

この機能をデバイスボタンに割り当てると、プレジジョン設定を調節できるようになります。

機能を有効にするには：

- ずっと使う場合、機能を割り当てたデバイスボタンを押すと、「プレジジョンモード」に切り替わります。再度同じデバイスボタンを押すと、通常のマッピングに戻ります。
- そのときだけ使う場合、機能を割り当てたデバイスボタンを押し続けます。デバイスボタンを離すと、通常のマッピングに戻ります。

電子ペンやマウスがマウスモードの場合、ポインタの動作について、加速は「OFF」、速度は「遅い」で動作するように調整されます。



マッピング画面切り替え

本機がマルチディスプレイ環境にあるとき使用できます。マルチディスプレイ環境の場合、本機と他のディスプレイの間でポインタを切り替えることができます。たとえば本機を液晶ペンタブレットとして使用したり（ポインタの位置はペン先）、[マッピング画面切り替え機能](#)を使って標準のペンタブレットとして使用する（ポインタはデスクトップ全体または他のディスプレイ上を移動できる）ことができます。



機能名

内容

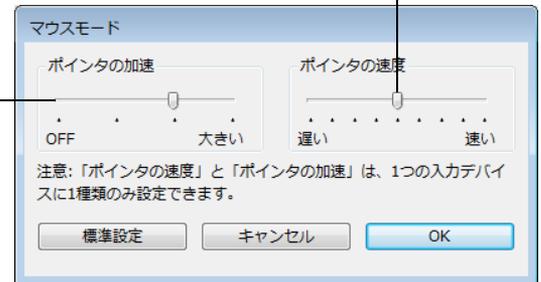
ペン⇄マウスモード

[ペンモード](#)と[マウスモード](#)を切り替えます。本機をマルチディスプレイ環境で使う場合、これによって電子ペンをマウスと同じように使用することができるようになります。

スイッチやボタンを「ペン⇄マウスモード」に設定すると、「マウスモード」ダイアログボックスが表示され、マウスの加速度とスピードを調整できます。

マウスモードではポインタの速度を設定します。

マウスモードではポインタの加速を設定します。



「マウスモード」はコントロールパネル内の別のダイアログからでもアクセスし設定できます。「ポインタの加速」と「ポインタの速度」の設定は、カスタマイズ中の電子ペンとソフトウェアにつき、1つしか設定できません。

マウスモードの設定は、システム設定からは独立しています。コントロールパネルで設定を変更しても、システム側の同内容の項目の設定には影響しません。しかし、システム側で同内容の項目の設定を変更すると、本機の設定に影響する場合があります。

消しゴム

ペン入力のためのオプションです。「消しゴム」機能に対応しているソフトウェアでは、このボタンを押したときにペン先が消しゴムの役割をします。消しゴムの標準設定については[消しゴムを使う](#)をご覧ください。



機能名

内容

設定内容の表示

ファンクションキー、タッチホイール、電子ペン、およびマルチタッチのインタラクティブな（コントロールパネルとリンクする）設定一覧を画面に表示します。現在割り当てられている機能が表示されます。



「設定内容の表示」のファンクションキーやタッチホイール、電子ペン、タッチの各項目をクリックすると、対応するコントロールパネルのタブが開きます。続いて必要な設定変更を行います。

この機能が割り当てられているファンクションキーやその他のデバイスボタンを再度押すか、または画面の各項目以外の領域のどこかをクリックすると、「設定内容の表示」が閉じます。

お使いの機種によっては表示や設定の一部が異なる場合があります。

タブレット PC

- Tablet PC 入力パネル

Starter を除く Windows 7 あるいは Home Basic を除く Windows Vista で、この機能に設定したボタンを押すと、Tablet PC 入力パネルが開きます。

- Windows Journal

Starter を除く Windows 7 あるいは Home Basic を除く Windows Vista で、Microsoft Journal を開きます。

無効

ボタン機能を無効にします。

アプリケーションの設定に従う

ソフトウェアにボタンの数の情報を送ります。この機能は、タブレットコントロールができる処理が組み込まれたソフトウェア用です。

標準設定

ボタンを標準設定に戻します。

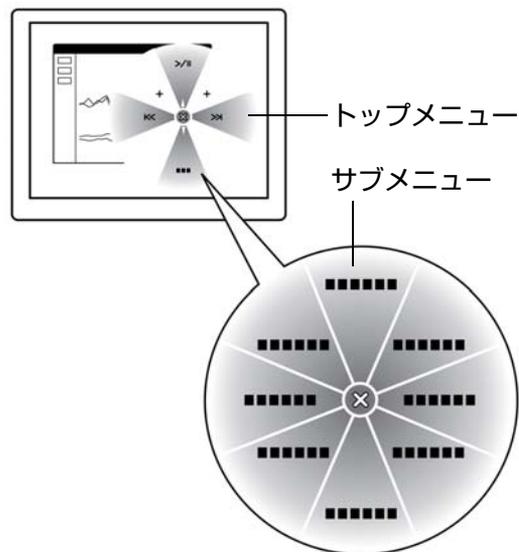
ラジアルメニューの使い方と設定

ラジアルメニューはポップアップメニューです。編集、ナビゲーション、メディア操作などが簡単に行えるようになります。

- サイドスイッチ、またはファンクションキーに「ラジアルメニュー」機能を設定します。ボタンを押すと、ラジアルメニューが表示されます。
- Cintiq 24HD touch (DTH-2400) の場合：機能を割り当てられたジェスチャーを使ってラジアルメニューを開くこともできます。
- 階層構造を持つラジアルメニューが円形で表示されます。メニューの各レベルは、8つの項目で構成され、各項目にはさまざまな機能と選択可能なオプションが設定できます。
- メニューをクリックして機能を選択します。項目によってはサブメニューが表示され、さらにオプションを選ぶことができます。
- ラジアルメニューからオプション機能を選択すると、メニューは終了します。

機能を選択せずにメニューを終了する場合、ラジアルメニュー中央の「X」ボタンをクリックするか、またはオプション機能が割り当てられていない空の項目をクリックしてください。ラジアルメニューではない部分をクリック、またはメニュー表示に使ったボタンを再度押してもメニューを終了することができます。

- ラジアルメニューを開くボタンを押し続けると、ラジアルメニューを表示したままメニュー項目をクリックできます。



コントロールパネルの「ラジアルメニュー」タブで、ラジアルメニューに割り当てるオプション機能を設定します。

1. メニュー項目を選択します。
2. 「機能」でメニュー項目に機能を割り当てます。「表示名」でメニュー名を変更することもできます。
3. さらにカスタマイズする場合は、メニューまたはサブメニューを選んで同様の操作を行います。

ヒント：サブメニューをカスタマイズするときは、「機能」メニューで「サブメニュー」を選択します。

「表示名」が複数行になるときは「ENTER (RETURN)」キーを押して改行してください。



表示中のメニューを標準設定に戻します。

マッピング画面切り替えを使う

「マッピング画面切り替え」はシステムがマルチディスプレイで構成されている場合に利用できます。ファンクションキーまたは電子ペンのサイドスイッチに「マッピング画面切り替え」を設定すると、ボタンを押すたびにポインタの位置を本機と他のディスプレイの間で切り替えることができます。本機を液晶ペンタブレットとしての使い方（ポインタの位置はペン先）、あるいは標準のペンタブレットとしての使い方（ポインタはデスクトップ全体または接続された他のディスプレイ上を移動できる）に切り替えることができます。

コントロールパネルを開き、本機が選択されていることを確認します。本機がマルチディスプレイ環境で使用されている場合、「マッピング画面切り替え」タブが表示されます。このタブで、各ディスプレイのマッピング方法を設定します。

- 「デスクトップ全体に切り替える」に設定し「マッピング画面切り替え」を割り当てたボタンやサイドスイッチを押すと、マルチディスプレイ領域全体を操作できるようになります。もう一度押すと、ポインタは本機へ戻ります。
- 「他のモニタに切り替える」に設定し、「マッピング画面切り替え」を割り当てたボタンやサイドスイッチを押すと、ポインタは他のディスプレイに表示されます。他のディスプレイが複数あるときは、サイドスイッチを押すたびにポインタはディスプレイ間を移動し、最後に本機に戻ります。

重要:「マッピング画面切り替え」で特定のソフトウェアに対する設定を使用している場合、アプリケーションリスト（「その他すべて」も含む）上のカスタマイズ済みのアプリケーション（ソフトウェア）に「マッピング画面切り替え」が割り当てられたボタンがあるかを確認してください。特定のソフトウェアに対する設定を行う前に、「マッピング画面切り替え」をファンクションキーの1つに割り当てておくことをおすすめします。



「有効領域」オプションを使って、画面上の操作エリアのサイズを設定できます。

- 「縦横比を保持」は操作エリアのサイズを調整して、本機とデスクトップ全体または新規にマッピングされたディスプレイの間で正確な縦横比率を保持します。設定内容によっては、操作エリアの一部は、このオプションを選択した場合に使用できなくなる場合があります。選択をしないと、正確な縮尺比または比率は維持されません。たとえば、画面に円を描いてもマッピングされたディスプレイ画面上では楕円が描かれます。
- 「小さな領域を使う」は、ペンタブレットの操作エリアを 15.2 × 20.3 cm のサイズに制限します。もし「縦横比を保持」も合わせて選択すると、操作エリアはさらに小さくなります。選択をしないと、ペンタブレットの操作エリアの大部分が本機からディスプレイへのマッピングに使用されます。

操作エリアに中の赤枠が選択された範囲です。

特定のソフトウェアに対する設定

使用する入力デバイスは、特定のソフトウェア向けにカスタマイズできます。たとえば、あるソフトウェアでは、ペン先の筆圧を硬めに設定して、他のソフトウェアでは柔らかく設定できます。「アプリケーション」リストにアプリケーション（ソフトウェア）を追加し、次に追加したソフトウェアに対して入力デバイスの設定をカスタマイズします。

- ソフトウェアごとの設定を行わずに、入力デバイスを「入力デバイス」リストから選択した場合、「アプリケーション」リストには「すべて」アイコンが表示されます。「すべて」アイコンは、電子ペンの設定をソフトウェアすべてに適用します。以下の例では、「グリップペン」に特定のソフトウェアに対する設定が行われていません。そのため「すべて」アイコンが表示され、「グリップペン」の設定はすべてのソフトウェアに共通です。



- 特定のソフトウェアに対する設定が追加されると、「すべて」アイコンは「その他すべて」に変わり、新しく追加されたソフトウェアのアイコンが追加されます。



上記の例では、特定のソフトウェアに対する設定が、「グリップペン」に追加されています。「その他すべて」アイコンを選択して設定を変更する場合、その変更は、「アプリケーション」リストに追加したソフトウェア以外のすべてのソフトウェアで適用されます。ソフトウェアのアイコンを選択して「グリップペン」の設定を変更する場合は、そのソフトウェアを使用する間のみ設定が適用されます。

特定のソフトウェアに対する設定を作成すると、選択した入力デバイスとソフトウェアに対して個別のグループが作成されます。詳細については次のセクションをご覧ください。

[特定のソフトウェアに対する設定を作成する](#)

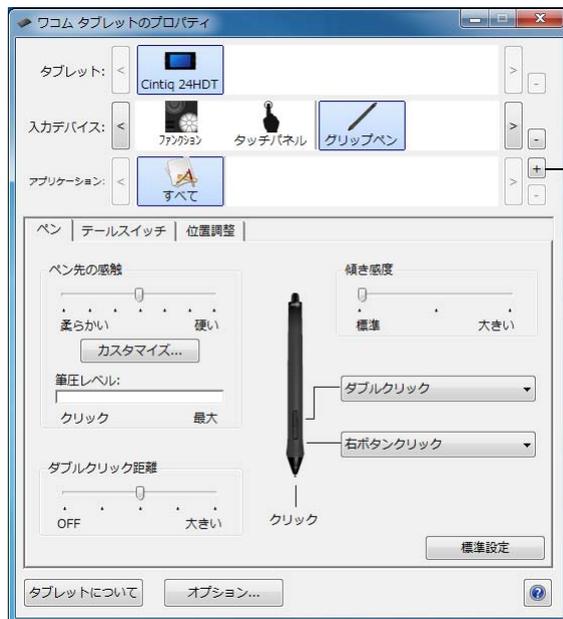
[特定のソフトウェアに対する設定を変更する](#)

[特定のソフトウェアに対する設定を削除する](#)

ヒント：起動中のアプリケーション内でのファンクションキー、タッチホイール、または電子ペンの機能設定を確認するには、ファンクションキーの1つに「設定内容の表示」を割り当ててください。

特定のソフトウェアに対する設定を作成する

初めに、特定のソフトウェア向けの設定を作成する液晶ペンタブレット（本機）と入力デバイスを選択します。



「アプリケーション」リストの [+] ボタンをクリックします。

ソフトウェアを選択するには、次の2つの方法のうちいずれかを選択します。

- 設定を作成するソフトウェアを起動します。次に「開いているアプリケーション」ボックスからそのソフトウェアを選択します。
- 「参照」を選択して、コンピュータにインストールされているソフトウェアの実行ファイルを選択します。



選択したソフトウェアの名称が表示されます。

「OK」をクリックして、終了します。

補足：2つのソフトウェアが同じ実行ファイル名をもつ場合、2つのソフトウェアはカスタマイズされた設定を共有します。

ソフトウェアを追加したあと、各入力デバイスを「入力デバイス」リストから選択すると、追加したソフトウェアのアイコンが「アプリケーション」リストに表示されます。追加したソフトウェアを選択して、次に入力デバイスと追加したソフトウェアに対してタブの設定をカスタマイズします。

特定のソフトウェアに対する設定を作成すると、この方法でカスタマイズされなかったソフトウェアには「その他すべて」の入力デバイスの設定が適用されます。

ヒント：任意のソフトウェアに対して設定を作成してみてください。それにより入力デバイスが使いやすくなったら、さらに、別のソフトウェア向けにも設定をしてみてください。



特定のソフトウェアに対する設定を変更する

入力デバイスの設定を特定のソフトウェア用に変更するには、入力デバイスとソフトウェアを選択し、表示されるタブの設定をカスタマイズします。

特定のソフトウェアに対する設定を削除する

特定のソフトウェアに対する設定を削除するには、

1. 「入力デバイス」リストから、削除したい設定を持つ入力デバイスを選択します。次に「アプリケーション」リストから削除するソフトウェアを選択します。
2. 「アプリケーション」リストで [-] ボタンをクリックします。表示されるダイアログボックスから「削除」をクリックして選択を確認します。選択したソフトウェアは、入力デバイスの設定とともにリストから削除されます。

ヒント：入力デバイスから特定のソフトウェアに対する設定をすべて削除するには、「入力デバイス」リストからその入力デバイスを削除します。続いて電子ペンを液晶ペンタブレットの上に戻すと、その入力デバイスは標準設定の状態で「入力デバイス」リストに追加されます。この方法は、カスタマイズされた「ファンクション」および「タッチパネル」の設定を削除する場合は利用できません。[複数デバイスでの作業](#)をご覧ください。



複数デバイスでの作業



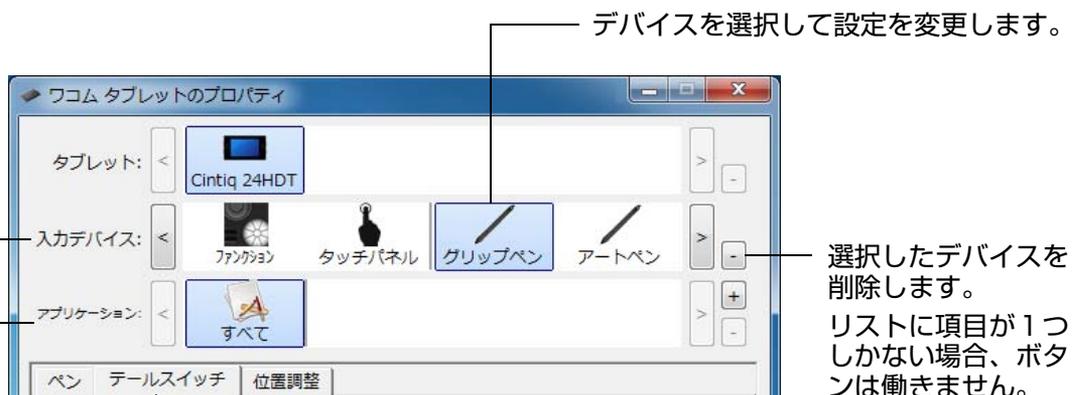
コントロールパネルは、入力デバイスの設定をカスタマイズし、現在の設定を確認することができます。コントロールパネルを開く際に使用したデバイスが自動的に選択され、そのデバイスに適したタブが表示されます。

「入力デバイス」リストには、本機の「ファンクション」および本機で使用されたデバイスが表示されます。

Cintiq 24HD touch (DTH-2400) では、「タッチパネル」アイコンを利用できます。[マルチタッチのカスタマイズ](#)をご覧ください。

特定のソフトウェアに対する設定が追加されていない場合、「すべて」のアイコンが表示され、デバイスの設定はすべてのソフトウェアに適用されます。

タブの設定は、選択済みのデバイスとソフトウェアにのみ適用されます。



選択したデバイスを削除します。

リストに項目が1つしかない場合、ボタンは働きません。

「ファンクション」アイコンおよび「タッチパネル」は削除できません。

コントロールパネルの「入力デバイス」リストにデバイスを追加するには、本機でそのデバイスを使用してください。

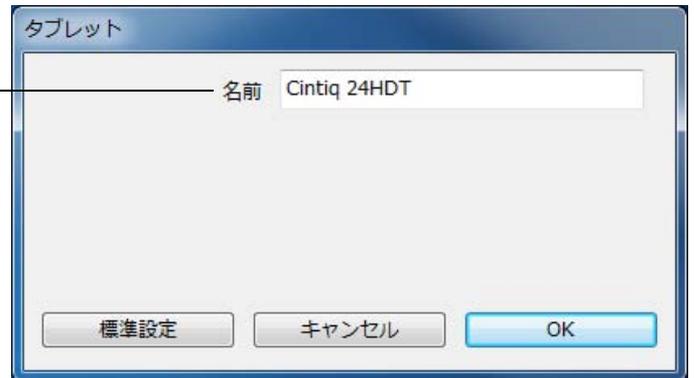
- 「入力デバイス」リストに追加されたデバイスを選択する場合、そのデバイスの適切な設定がタブに表示されます。変更された設定は、デバイスに適用され、直ちに実行されます。
同じデバイスが過去に追加されていた場合、新しいデバイスは過去に追加されたデバイスの設定を引き継ぎます。新規に追加されたデバイスに合わせてカスタマイズすることもできます。
- 同一のデバイスには同一の設定が適用されます。

選択したデバイスを「入力デバイス」リストから削除するには、「入力デバイス」リストの[-]ボタンをクリックします。表示されるダイアログボックスから「削除」をクリックして選択を確定します。選択したデバイスは、そのデバイス向けに作成した設定とともにリストから削除されます。(削除されたデバイスは、再度本機で使うと「入力デバイス」リストに戻ります。)

本機の登録名を変更する

コントロールパネルの「タブレット」リストから、本機のアイコンをダブルクリックします。

本機の名前を変更することができます。



トラブルシューティング

トラブルが発生した場合、以下のことを行ってください。

1. タブレットドライバが正しく読み込まれなかった場合、画面に表示されるエラーメッセージで推奨される処置をまず行ってください。それでも問題が解決されない場合は、本章のトラブルシューティング手順をご覧ください。
2. [本機のテスト](#)を試してください。
3. 本機が正常に作動しない場合は、[ディスプレイのトラブルシューティング情報](#)や[タブレットのトラブルシューティング情報](#)をご覧ください。問題が記載されている場合、その指示に従ってください。
4. ワコムのホームページのFAQ（よくある質問）をご覧ください。
<http://tablet.wacom.co.jp/support/faq/>
5. 製品 Q&A ([FAQ（よくある質問）](#)) をご確認ください。
6. 本機と新しいハードウェアまたはソフトウェアで互換性の問題が発生した場合は、[ドライバのダウンロード](#)をご覧ください。最新バージョンのタブレットドライバのダウンロードをご検討ください。ワコムでは必要に応じてタブレットドライバの更新を行い、新製品との互換性を維持しています。
7. 本書で解決のポイントを読んでも、問題が解決しそうにない場合、ワコムサポートセンターにお問い合わせください。サポート情報については、[テクニカルサポート](#)と「Read Me」ファイルをご覧ください。

[本機のテスト](#)

[操作機能および入力デバイスのテスト](#)

[ディスプレイのトラブルシューティング情報](#)

[タブレットのトラブルシューティング情報](#)

[テクニカルサポート](#)

[ドライバのダウンロード](#)



本機のテスト

1. 本機のパワーランプが点灯しない場合は、以下をご確認ください。
 - AC アダプタのランプが点灯していることをご確認ください。点灯していない場合は、電源ケーブルが AC アダプタとコンセントに正しく接続されているかご確認ください。
 - AC アダプタのケーブルが本機の電源ケーブルに正しく接続され、電源スイッチがオンになっていることをご確認ください。

重要： 必ず本機に付属の AC アダプタをご使用ください。付属品以外の AC アダプタをご使用になると、本機が破損する場合があります。
2. 画面に何も表示されない場合は、以下を確認してください。
 - コンピュータの電源が入っているかをご確認ください。正しいビデオ信号が入力されると、パワーランプは青色に点灯します。ビデオ信号の入力がない、またはコンピュータが省電力状態の場合には、パワーランプはオレンジ色に点灯します。
 - 本機が有効なデジタルコネクタ (DVI または DisplayPort) またはアナログ RGB コネクタに接続されていることをご確認ください。
 - お使いのグラフィックボードが正しくセットされ動作していることをご確認ください。お使いのグラフィックボードと互換性がある別のディスプレイをお持ちなら、そのディスプレイをグラフィックボードに接続して正しく動作することを確認できます。
3. 電子ペンと本機のタブレット部が正常に稼動することを確認してください。
 - ペン先を画面に押し当て、ステータスランプが青色に点灯することをご確認ください。
 - ステータスランプが点灯しない場合は、USB 接続ケーブルが有効な USB ポートに接続されているかご確認ください。
 - 本機が USB デバイスとして登録されているときは、ペン先をディスプレイに押し当てるとランプは青色に点灯します。
4. 画面上で電子ペンを操作できないときは、以下のテストを行ってください。
 - ペン先またはテールスイッチを画面に押し当てて、ステータスランプが青色に点灯することを確認してください。
 - 筆圧を加えずに電子ペンを画面から 5 mm 以内に近づけサイドスイッチを押して、ステータスランプが青色に点灯することを確認してください。
 - 以上のテストでステータスランプが青色に点灯しない場合は、本機に対応していないペンを使っていないかご確認ください。
 - 詳細は、[操作機能および入力デバイスのテスト](#)と[電子ペンのテスト](#)をご覧ください。





5. [マルチタッチを確認します](#)。画面上のいろいろな場所にタッチして、画面のポインタを動かしてください。[マルチタッチのテスト](#)をご覧ください。
タブレットドライバが正しく読み込まれていない場合、基本的なタッチの動作のみ認識され、他の動作やジェスチャーは認識されません。ジェスチャーが認識されない場合は、タブレットドライバをインストールしてください。
6. ワンタッチ表示ボタンを確認してください。[操作機能および入力デバイスのテスト](#)と[ワンタッチ表示ボタンのテスト](#)をご覧ください。
7. ファンクションキーを確認してください。[操作機能および入力デバイスのテスト](#)と[ファンクションキーのテスト](#)をご覧ください。
8. タッチホイールを確認してください。[操作機能および入力デバイスのテスト](#)と[タッチホイールのテスト](#)をご覧ください。
9. エアブラシなど、他の入力デバイスをお持ちであれば、チェックしてください。[操作機能および入力デバイスのテスト](#)をご覧ください。

症状が回復しない場合、電子ペンまたは本機の故障が考えられます。

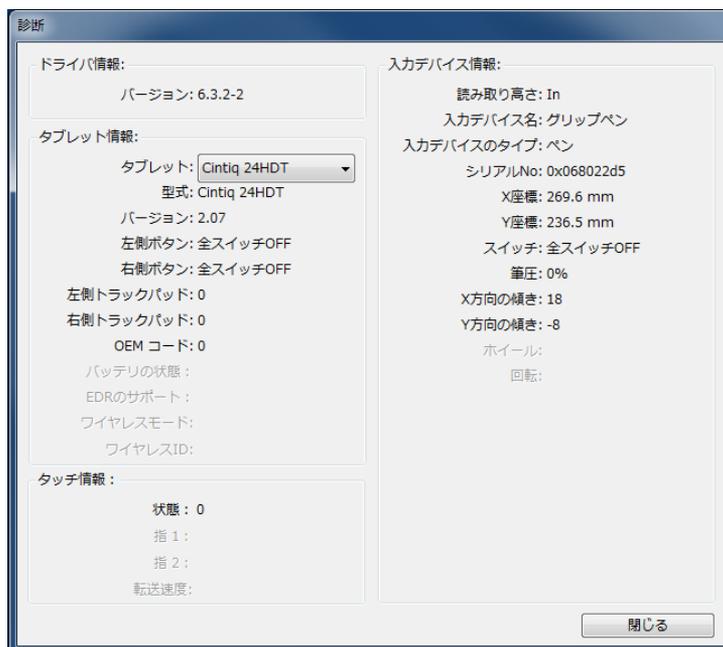


操作機能および入力デバイスのテスト

電子ペン、または本機の操作機能が正常に作動しない場合は、割り当てられている機能をチェックするか、標準設定の状態にリセットすることを推奨します。マルチタッチ入力可能な機種でマルチタッチ関連の問題が発生した場合も、上記の方法をお試しください。

電子ペンの設定を簡単にリセットするときは、「入力デバイス」リストの「[-]」ボタンをクリックして、リストから電子ペンを削除します。電子ペンを削除してから、画面の上に電子ペンを載せます。電子ペンが標準設定で「入力デバイス」リストに追加されます。

- コントロールパネルを開き、「タブレットについて」ボタンをクリックします。表示されたダイアログボックスで「診断」ボタンをクリックすると、「診断」ダイアログボックスが開きます。「診断」ダイアログボックスには、本機と電子ペンの現在の状態が表示されます。本機や入力デバイスをテストする際は、この情報をご利用ください。「診断」ダイアログボックスには液晶ペンタブレット、入力デバイス、そしてタッチ入力可能なペンタブレットの現在の状態が提示されます。



- 複数のペンタブレットがシステムに接続されている場合、「タブレット情報」欄で本機を選択してください。
- 本機や電子ペンをテストする際は、「診断」ダイアログボックスに表示される情報をご利用ください。

補足：入力デバイスのボタンをテストする場合、ボタンが「ラジアルメニュー」または「開く／起動...」に設定されていると、ボタンを押すとその機能が実行されます。このような場合、テストの前にボタンの機能を変更してください。

[ワンタッチ表示ボタンのテスト](#)

[ファンクションキーのテスト](#)

[タッチホイールのテスト](#)

[電子ペンのテスト](#)

[マルチタッチのテスト](#)

ワンタッチ表示ボタンのテスト

本機の3つのワンタッチ表示ボタンをテストします。

1. 左端のボタンを押して、設定画面が表示されるか確認してください。確認できましたらもう一度ボタンを押して画面を終了してください。
2. 中央のボタンを押して、オンスクリーンキーボードが表示されるか確認してください。確認できましたらもう一度ボタンを押して画面を閉じてください。
3. Cintiq 24HD touch (DTH-2400) の場合：左端のボタンを押して、マルチタッチ機能がオフになることを確認してください。確認できましたらもう一度ボタンを押してマルチタッチ機能をオンにしてください。

Cintiq 24HD (DTK-2400) の場合：右端のボタンを押して、コントロールパネルが表示されるか確認してください。確認できましたらもう一度ボタンを押して、画面を閉じてください。

ファンクションキーのテスト

1. 本機のファンクションキーをテストします。コントロールパネルを開き、「タブレットについて」ボタンをクリックします。ダイアログボックスが表示されたら、「診断」ボタンをクリックして「診断」ダイアログボックスを開きます。システムに複数のペンタブレットが接続されている場合は、必ず「タブレット情報」欄で本機を選択してください。
2. ファンクションキーを1つずつ押してテストします。キーを押すと、左側のキーであれば「左側ボタン」カテゴリ、右側のキーであれば「右側ボタン」カテゴリの隣にキーの番号が表示されます。何も押していないときは「全スイッチ OFF」と表示されます。
3. 終了したら、「閉じる」ボタンをクリックしてダイアログボックスを終了します。

重要：ソフトウェアによっては、ファンクションキーの設定が無効になったり、制限される場合があります。ファンクションキーのテストを行うときは、コントロールパネル以外のソフトウェアを終了させることをおすすめします。

詳しくは、[タブレットコントロールができる処理が組み込まれたソフトウェアを使う](#)をご覧ください。

タッチホイールのテスト

1. 本機のタッチホイールをテストします。コントロールパネルを開き、「タブレットについて」ボタンをクリックします。ダイアログボックスが表示されたら、「診断」ボタンをクリックして「診断」ダイアログボックスを開きます。システムに複数のペンタブレットが接続されている場合は、必ず「タブレット情報」欄で本機を選択してください。
2. タッチホイール上を一周するように指を滑らせます。どちらのタッチホイールをテストしているかに応じて、その番号が「左側タッチホイール」または「右側タッチホイール」カテゴリのいずれかの隣に表示されます。
3. タッチホイール機能切り替えボタンを押します。それぞれのボタンを押すと対応するステータスランプが点灯し、機能を表すオーバーレイ表示が画面に表れます。どのボタンをテストしているかに応じて、「診断」ダイアログボックス内に、その番号が「左側ボタン」または「右側ボタン」カテゴリのいずれかの隣に表示されません。
4. 終了したら、「閉じる」ボタンをクリックしてダイアログボックスを終了します。

重要：ソフトウェアによっては、タッチホイール機能が無効になったり、制限される場合があります。タッチホイールのテストをするときは、コントロールパネル以外のすべてのアプリケーションを終了させてください。

詳しくは、[タブレットコントロールができる処理が組み込まれたソフトウェアを使う](#)をご覧ください。



電子ペンのテスト



1. 「診断」ダイアログボックスを開き「入力デバイス情報」欄を見ながら、ペン先を画面から 5mm 以内に近づけます。「読み取り高さ」、「入力デバイス名」、「入力デバイスのタイプ」、「シリアル No.」が表示されます。必ず「タブレット情報」欄で本機を選択してください。
2. 本機の操作エリアで電子ペンを移動させると、X 座標と Y 座標のデータの値が、ペン先の位置を反映して変化します。
3. 電子ペンの機能をテストします。ペン先でクリックしたり、サイドスイッチを押したり、あるいはテールスイッチ（消しゴム）をペンタブレットの上で押すと、本機のステータスランプが青色に点灯します。
 - 画面をペン先でクリックします。「スイッチ」の状態と「筆圧」の値が変化します。（筆圧は圧力が全くかかっていない状態から最大圧力をかけた状態まで、0% から 100%まで変化します。）
 - 次に、ペン先を画面に押し当てずに、サイドスイッチを押します。「スイッチ」の状態が変わります。（電子ペンの場合、両方のサイドスイッチをテストします。）

ペン	ペン先 = 1
「スイッチ」の状態	サイドスイッチ（下側） = 2 サイドスイッチ（上側） = 3 テールスイッチ（消しゴム） = 1
エアブラシ	ペン先 = 1
「スイッチ」の状態	サイドスイッチ = 2 テールスイッチ（消しゴム） = 1

 - 画面にテールスイッチを押し当てます。「スイッチ」の状態と「筆圧」の値が変わります。（「筆圧」の値は、筆圧を加えない 0% から、最大の筆圧を加えた状態の 100% まで変化します。）
 - オプション品のエアブラシをテストする場合は、ホイールを手前に回します。ホイールを完全に奥まで回すと、値は 0 まで減少します。ホイールを手前に回していき、完全に手前まで回すと、ホイールの値はおよそ 1000 まで増大します。
4. X 軸方向の傾きをテストします。「X 方向の傾き」の値は、電子ペンを垂直位置から右方向へ傾けると、およそ 0 から + 60 まで変わります。電子ペンを垂直位置から左方向へ傾けると、「X 方向の傾き」の値は、およそ 0 から - 60 まで変わります。
5. Y 軸方向の傾きをテストします。「Y 方向の傾き」の値は、電子ペンを垂直位置からペンタブレットの手前に傾けると、およそ 0 から + 60 まで変わります。電子ペンを垂直位置からペンタブレットの向こう側へ傾けると、「Y 方向の傾き」の値は、およそ 0 から - 60 まで変わります。
6. オプション品のアートペンをテストする場合は、ペン先を画面に押し当て、ペン軸を中心にゆっくりと回転させてペンの回転をテストします。ペンを回転させるにつれ、「回転」の値が変化します。
7. 終了したら、「閉じる」ボタンをクリックして、ダイアログボックスを閉じます。



ディスプレイのトラブルシューティング情報

本機の液晶表示部で問題が発生した場合は、以下の表を参考に解決を試みてください。カラーの問題については、ご使用のオペレーティングシステムまたはソフトウェアに付属の取扱説明書をご覧ください。

[ディスプレイの一般的な問題](#)

[アナログ RGB 接続の問題](#)

ディスプレイの一般的な問題

画像が表示されない。パワーランプが点灯しない。	電源ケーブルが正しく接続されているか、本機の電源スイッチがオンになっているかをご確認ください。 電源スイッチの場所 をご覧ください。
画像が表示されない。パワーランプは青色で点灯する。	<ul style="list-style-type: none"> • コンピュータ、および本機の電源を切り、ケーブルやアダプタが折れ曲がっていたり、コネクタピンが破損していないかをご確認ください。次にケーブルやアダプタを正しく接続して、本機とコンピュータの電源を入れてください。 • お使いのグラフィックカードまたはコンピュータシステムでサポートされるグラフィックモードが選択されていることを確認してください。グラフィックモード変更についての情報は、グラフィックカードまたはシステムのマニュアルでご確認ください。 • Cintiq 24HD touch (DTH-2400) : OSD メニューを開き、「EDID EXTENSION」の設定を確認します。
パワーランプがオレンジ色に点灯し、「no input signal go to power saving mode」というメッセージが画面に表示される。	<ul style="list-style-type: none"> • お使いのコンピュータが省電力状態になっている可能性があります。 • マウスを動かしたり、キーボードのキーをどれか押してください。 • ディスプレイケーブルが正しく接続されているかを確認します。 • コンピュータ、および本機の電源を切り、DVI-DVI (または DVI-RGB) ケーブルが折れ曲がっていたり、コネクタピンが破損していないかをご確認ください。次にディスプレイケーブルを正しく接続して、本機とコンピュータの電源を入れてください。 • グラフィックボードが正しく装着されているかをご確認ください。
「out of range」というメッセージがディスプレイ画面に表示される。	<ul style="list-style-type: none"> • 入力信号周波数の設定が正しくないか、本機と適合していません。コンピュータのリフレッシュレートを 60 Hz に設定してください。シングルディスプレイ環境の場合、リフレッシュレートを変更するためには、別のディスプレイを接続する必要があります。 • 解像度あるいはリフレッシュレートの設定が本機の対応範囲を超えています。 • 「プラグアンドプレイモニタ」を検出するように、画面のプロパティを設定します。





画像が二重、三重に表示される。	OSD メニューを開き「自動調節」(AUTO のアイコン) から「自動調節」を選択します。必要に応じてピッチとフェーズを手動調整してください。 ディスプレイケーブルを延長したり、入力切替器や映像分配器を使用しないでください。
同じ画像が長時間表示された後、残像が短時間続く。	スクリーンセーバーまたはその他の省電力機能を使用して、残像を防止してください。
色の具合がおかしい。	<ul style="list-style-type: none"> • OSD メニューを開き、「カラー調節」から色温度を変更してみてください。 • ディスプレイケーブルがしっかり接続されていることをご確認ください。 • コンピュータおよび本機の電源を切り、ディスプレイケーブルが折れ曲がったり、コネクタピンが破損していないかご確認ください。 • OSD メニューを開き、「OSD ツール」(MENU のアイコン) から「オールリセット」を選択します。 • 本機で使っているカラープロファイルの設定を確認してください。 • コントラストの設定変更は色の精度に影響するため、少しずつ行ってください。 • <u>Cintiq 24HD touch (DTH-2400) の場合</u> : 「COLOR VISION EMU」がオフになっていることを確認します。
画面に色の異常が現れる。	<ul style="list-style-type: none"> • 明るさのレベルを下げます。 • <u>Cintiq 24HD touch (DTH-2400) の場合</u> : 「UNIFORMITY」を「5」に設定します。
白色がきれいに表示されない。	<ul style="list-style-type: none"> • 本機で使っているカラープロファイルの設定を確認してください。 • 画面の設定がお買い上げ時の状態か確認し、設定が不十分な場合は色の設定を調整してください。カラーマネジメントの詳細は、ご使用中のオペレーティングシステムとソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。 • ディスプレイケーブルがしっかり接続されていることを確認してください。
画像の明るさが不足している。	<p>明るさのレベルを上げるか、本機を「リセット」します。長期間のご使用、または寒すぎる場所でのご使用で、LCD の明るさが低下することがあります。</p> <p><u>Cintiq 24HD touch (DTH-2400) の場合</u> :</p> <ul style="list-style-type: none"> • 「ECO MODE」がオフになっていることを確認します。 • 「PICTURE MODE」を「NATIVE」に設定します。
<p><u>Cintiq 24HD touch (DTH-2400)</u> : 電源ランプが長 - 短のパターンで点滅する。</p>	<p>本機には自己異常診断機能が搭載されており、液晶画面に問題が見つかった場合、問題の種類に応じて電源ランプが長 - 短のパターンで点滅します。テクニカルサポートおよび「Read Me」ファイルをご覧くださいの上、ワコムサポートセンターにご連絡ください。</p>





アナログ RGB 接続の問題

- | | |
|----------------------------------|---|
| 画面に波のような模様やちらつきが出る。 | <ul style="list-style-type: none">OSD メニューを開き「自動調節」(AUTO のアイコン) から「自動調節」を選択します。必要に応じてピッチとフェーズを手動調整してください。コンピュータのディスプレイアダプタまたはグラフィックボードが本機の仕様に合っているかを確認してください。画面のプロパティのコントロールパネルでリフレッシュレートを調整してください。 |
| 表示が不鮮明。
画面上のテキストや他の部分がぼやけている。 | <ul style="list-style-type: none">コンピュータの解像度を本機で利用可能な解像度に設定します。詳細は、「製品に関する重要なお知らせ」をご覧ください。コンピュータのリフレッシュレートを 60Hz に設定してください。いったん本機の電源をオフにし、再度オンにします。OSD メニューを開き「自動調節」(AUTO のアイコン) から「自動調節」を選択します。必要に応じて明るさ、ピッチ、およびフェーズを手動調整します。 |
| 画面の表示位置がずれている。表示サイズが適正でない。 | <ul style="list-style-type: none">OSD メニューを開き「自動調節」(AUTO のアイコン) から「自動調節」を選択します。必要に応じて、ピッチとフェーズ、および水平位置と垂直位置を調整します。入力信号やグラフィックボードによっては、適正なサイズで表示されない場合がありますのでご注意ください。 |
| 画面に波、縦縞、色むらが出る。 | <ul style="list-style-type: none">OSD メニューを開き「自動調節」(AUTO のアイコン) から「自動調節」を選択します。問題が解決しない場合は、「OSD ツール」(MENU のアイコン) から「オールリセット」を選択し、画面の設定を工場出荷時の状態に戻します。必要に応じて、ピッチとフェーズを調整します。 |
| 表示が二重、三重になる。 | <ul style="list-style-type: none">ディスプレイケーブルが、確実にコネクタに接続されているか確認してください。ディスプレイケーブルを延長したり、入力切替器や映像分配器を使用しないでください。 |
| 画面が暗い。 | <ul style="list-style-type: none">OSD メニューを開き、「ブライトネス・コントラスト」からブライトネスを調整します。 |





タブレットのトラブルシューティング情報

本機のタブレット部で問題が発生した場合は、以下の表を参照し解決を試みてください。必ず「Read Me」（お読みください）ファイルをご覧ください、最新情報をご確認ください。

より詳細な情報については、ワコムのホームページにアクセスしてください。

<http://wacom.jp/>

[一般的な問題](#)

[電子ペンの問題](#)

[マルチタッチの問題](#)

[Windows での問題](#)

[Mac での問題](#)

一般的な問題

本機の USB ハブに接続した USB デバイスが機能しない。

- 本機の USB 接続ケーブルがコンピュータの有効な USB ポートに正しく接続されているか確認してください。
- 本機の電源がオンで、パワーランプが青く点灯していることを確認してください。本機の USB ハブは、電源が切れていると機能しません。
- コンピュータの USB ポートに USB デバイスを直接接続してみてください。
- 以上の操作を行っても USB デバイスが正常に機能しない場合は、各 USB デバイスのメーカーにお問い合わせください。

パワーランプが点灯しない。

- 本機の電源がオンになっていることを確認してください。
- AC アダプタが本機の電源ケーブルとコンセントの両方に正しく接続されていることを確認してください。
- 必ず本機に付属の AC アダプタをご使用ください。付属品以外の AC アダプタを使用すると本機が故障するおそれがあるので、使用しないでください。





マルチディスプレイ環境で本機を使用している場合に、電子ペンで他の複数のディスプレイを操作できない。

- 「[マッピング画面切り替え](#)」を設定したファンクションキーまたはサイドスイッチを押して、操作できるディスプレイを切り替えてください。
- マウスモードで電子ペンを使って、他のディスプレイを操作することもできます。マウスモードにするには、サイドスイッチにペンモードとマウスモードの切り替えを行うよう設定し、スイッチを押してペンモードとマウスモードを切り替えてください。

コンピュータが省電力状態にならない。

電子ペンを使用していないときは、本機の画面上に電子ペンを置いたままにしないでください。置いたままにすると本機はデータを送り続け、コンピュータは作動状態であり続けます。

マウスまたはトラックボールの使用、ポインタが急に引き戻される。

電子ペンを使用していないときは、専用のペンスタンドに立てるか、あるいは平な机の上に横に置いてください。本機の画面上に電子ペンを置いたままにしないでください。電子ペンを画面上に置いたままにすると、他の入力デバイスを使用するとき、ポインタの位置決めができなくなることがあります。

コンピュータに別のペンタブレットが接続されているとき、ポインタが不規則に動いたり、画面上で跳び回ったりする。

別のペンタブレットを本機に近づけすぎると、ポインタの位置決めができなくなったり、電子ペンでタッチしていないのに選択されたりすることがあります。この現象が起これたら、本機と別のペンタブレットを離してください。

ソフトウェアを使用しているとき、ファンクションキーまたはタッチホイールが、コントロールパネルの設定と違う機能で動作する。

特定のソフトウェアに対する設定を使用している場合は、目的のソフトウェアに対して設定の更新を行ったかどうか確認してください。

ファンクションキーやタッチホイールが設定通りに正しく機能しない。

利き手の設定に合わせて機能を設定しているか確認してください。



電子ペンの問題



電子ペンがマウスモードでのみ動作する。筆圧機能を使って線が描けない。

タブレットドライバがインストールされていないか、または適切に読み込まれていません。

- タブレットドライバがインストールされていることを確認してください。タブレットドライバがインストールされていない場合は、[ステップ 2: タブレットドライバのインストール](#)を参考にタブレットドライバをインストールしてください。

筆圧機能が使えない。

- ソフトウェアによっては、電子ペンを使う前に筆圧機能をオンにする必要があるものもあります。
- お使いのソフトウェアが筆圧に対応しているか確認してください。

クリックが利かない。

コントロールパネルを開き、「ペン」タブを選択します。「ペン先の感触」を柔らかくしてください。[ペン先の感触とダブルクリックの調整](#)をご覧ください。

電子ペンがあらゆるものを選択して、止まらない。

- コントロールパネルを開き、「ペン」タブを選択します。「ペン先の感触」スライダを「硬い」方へ移動させるか、「カスタマイズ」を選択し、「クリック圧」の設定を大きくします。
- 電子ペンの芯の抜き差しをしてください。正常に戻らない場合は、[操作機能および入力デバイスのテスト](#)をご覧ください。
- ペン先（芯）がすり減っている可能性があります。[ペン先を交換する](#)をご覧ください。

ダブルクリックが利かない。

- 画面の同じ場所をすばやく 2 度軽くたたいてみてください。ワコムではサイドスイッチを使ってダブルクリックすることをお勧めしています。
- コントロールパネルを開き、「ペン」タブを選択します。「ダブルクリック距離」を長くするか、「ペン先の感触」を柔らかく設定してください。[ペン先の感触とダブルクリックの調整](#)をご覧ください。
- ファンクションキーに「ダブルクリック」を設定し、ファンクションキーを使ってダブルクリックを行ってください。
- Windows の場合：1 回のクリックでプログラムが起動するように設定することができます。[クリック](#)をご覧ください。

消しゴムがあらゆるものを選択する。消し続ける。

コントロールパネルを開き、「テールスイッチ」タブを選択します。「消しゴムの感触」スライダを「硬い」方へ移動させるか、「カスタマイズ」ボタンを選択し、「クリック圧」の設定を大きくします。[ペン先の感触とダブルクリックの調整](#)をご覧ください。正常に戻らない場合は、[操作機能および入力デバイスのテスト](#)をご覧ください。



電子ペンのストロークまたはインクのストロークの開始が遅れる。

コントロールパネルを開き、「ペン」タブを選択します。「ダブルクリック距離」を少なくしてください。正常に戻らない場合は、「ダブルクリック距離」スライダを「OFF」にドラッグして、ダブルクリックアシストをオフにします。[ペン先の感触とダブルクリックの調整](#)をご覧ください。

ペン先を強く押さなければ、クリック、描画、書き込みなどができない。

コントロールパネルを開き、「ペン」タブを選択します。「ペン先の感触」スライダを「柔らかい」方へ移動させるか、「カスタマイズ」を選択して「筆圧感度」と「クリック圧」設定を少なくします。[ペン先の感触とダブルクリックの調整](#)をご覧ください。

ペン先が利かない。

- 本機に付属の電子ペンまたは対応した電子ペンをお使いください。それ以外の電子ペンは本機で正しく機能しない場合がありますので、使用しないでください。
- コントロールパネルの「ペン」タブで、「クリック」機能がペン先に割り当てられていることを確認してください。
- ペン先を押したとき、ステータスランプが青色に点灯することを確認してください。青色に点灯しない場合、USB 接続ケーブルがコンピュータの有効な USB ポートに正しく接続されているか確認してください。

以上を行ってもランプが点灯しない場合は、電子ペンまたは本機の故障が考えられます。[トラブルシューティング](#)をご覧ください。

ペン先とポインタがずれる。

コントロールパネルを開き、「調整開始 ...」を選択します。[ペン先の位置調整](#)をご覧ください。

電子ペンの機能設定を変更しても反映されない。

使用中の電子ペンとソフトウェアに対して設定変更を行っているか確認してください。[特定のソフトウェアに対する設定と複数デバイスでの作業](#)をご覧ください。

描いた線とポインタの位置が合わない。

- タブレットドライバをインストールしているか確認してください。
- 電子ペンがペンモードに設定されていないと正しく機能しません。電子ペンがマウスモードに設定されていないことを確認してください。
- ペンモードに設定されても問題が解決しないときは、環境設定ファイルが壊れている可能性があります。[Windows での問題](#)または [Mac での問題](#)を参照し、新しい環境設定ファイルを作成してください。





電子ペンのサイドスイッチが利かない。

- 必ず本機に付属の電子ペンまたは対応した電子ペンをお使いください。それ以外の電子ペンは、本機では正常に動作しない場合がありますので、使用しないでください。
- ペン先が画面の操作エリアから5 mm以内にあるときにサイドスイッチを押してください。ペン先で画面を押さずに行います。
- コントロールパネルで、サイドスイッチが使用中のソフトウェアと電子ペンで実行する機能に設定されていることを確認してください。
- 「サイドスイッチエキスパートモード」も確認してください。「ペン先とともにクリック」が選択されている場合は、クリック操作を行うためには、サイドスイッチを押しながらペン先を画面にタッチさせる必要があります。
- サイドスイッチを押すと、ステータスランプが青色に点灯することを確認してください。
点灯しない場合、USB 接続ケーブルがコンピュータの有効な USB ポートに正しく接続されているか確認してください。

以上を行ってもランプが点灯しない場合は、電子ペンまたは本機の故障が考えられます。(トラブルシューティングをご覧ください。)

ポインタは動かせるが、ペン先を画面に置いてもペン先の位置にジャンプせず、ペン先の動きに連動しない。

- コントロールパネルを開きタブレットドライバが正しくインストールされているか確認します。インストールされていない場合は、エラーメッセージが表示されます。その場合は、コンピュータを再起動し[ステップ 2: タブレットドライバのインストール](#)を参考にタブレットドライバを再インストールしてください。(Mac の場合は、タブレットドライバをインストールした後、コンピュータを再起動してください。)
- 電子ペンのサイドスイッチでペンモードとマウスモードの切り替えを行うよう設定している場合は、本機がペンモードで作動しているか確認してください。



マルチタッチの問題



マルチタッチができない。

「タッチ機能 on/off 切り替え」に設定されているファンクションキーを押してタッチを有効にします。

あるいは、コントロールパネルを開いて「タッチパネル」アイコンをクリックしてから「ジェスチャーの標準設定」、「ジェスチャーの個別設定」、または「タッチオプション」タブを選択します。「タッチ入力を有効にする」オプションが選択されていることを確認してください。

マルチタッチが一部しか機能しない。画面のポインタは動かせるが、もっと複雑な動作やジェスチャーは機能しない。

タブレットドライバが正しく読み込まれていない場合には、基本的なタッチ操作のみ認識されます。その他のタッチ操作やジェスチャーは認識されません。このような場合は、タブレットドライバの再インストールを行ってください。

複数の指でタッチした場合に、正しく認識されない。

指同士が近づきすぎている場合、液晶ペンタブレットは別々の指として認識していない可能性があります。指同士をもう少し離して動かしてください。

Adobe Photoshop 使用中に、ズームイン、ズームアウトができない。

Photoshop の「環境設定」オプションで「スクロールホイールズーム」機能が選択されていないことを確認してください。

Adobe Photoshop で作業するときに、ジェスチャーのスクロールとパンが正しく動作しない。

Photoshop の「環境設定」オプションで「スクロールホイールズーム」機能が選択されていないことを確認してください。

ソフトウェアによってジェスチャーの回転の動作が変わる。あるいは全く機能しない。

回転機能は、お使いのソフトウェアによって動き方が異なります。90 度単位で滑らかに回転する場合もあれば、全く回転しない場合もあります。これは各ソフトウェアの仕様であり、ペンタブレットの故障によるものではありません。

このジェスチャーをペンタブレットに正しく認識させるために、2本の指を斜めに 25 mm 以上離してからタブレット操作面に置き、回転中もその間隔を維持してください。



Windows での問題

本機の設定ファイルが壊れている。または、設定ファイルを標準設定の状態にもどしたい。

「ワコムタブレット設定ファイルユーティリティ」を使用して、ご使用中の設定を削除します。起動中のソフトウェアをすべて閉じます。「スタート」メニューをクリックし「すべてのプログラム」を選択します。次に、「ワコムタブレット」から「ワコムタブレット設定ファイルユーティリティ」を選択します。

- 現在のペンタブレットの設定を維持したい場合は、最初にタブレット設定のバックアップコピーを取ることをお勧めします。「タブレット設定ファイルユーティリティ」ダイアログボックスで、「バックアップ...」をクリックし、メッセージに従って操作します。
- 次に「タブレット設定ファイルユーティリティ」を使用して、以下の手順で本機の設定を削除します。
- シングルユーザの場合：「ログインユーザーの設定ファイル」の「削除」をクリックして、現在のユーザの設定を削除します。
- マルチユーザの場合：「すべてのユーザーの設定ファイル」から、「削除」をクリックしてすべてのユーザの設定ファイルを削除します。「すべてのユーザーの設定ファイル」の「削除」をクリックしてマルチユーザの設定を削除します。すべてのユーザの設定を削除するには、管理者権限が必要です。

「ログインユーザーの設定ファイル」の「復元...」をクリックして、バックアップしたタブレット設定を復元できます。





Mac での問題

コンピュータの起動時、タブレットドライバがロードできなかった、またはペンタブレットの設定がまだ作成されていないという内容のダイアログボックスが表示される。

- 起動時に、本機が認識されませんでした。USB 接続ケーブルが、コンピュータの有効な USB ポートに正しく接続されていることを確認してください。また本機のパワーランプが青色に点灯していることを確認してください。問題が解決しない場合は、[トラブルシューティング](#)をご覧ください。
- 「移動」メニューから、「ユーティリティ」フォルダを選択し、「システムプロファイラ」を起動します。「内容」一覧の「ハードウェア」から USB を選択します。ペンタブレットが一覧表示されます。表示されない場合、本機の USB 接続を確認するか、本機を別の USB ポートに接続してみてください。
- 問題が解決されない場合は、ワコムサポートセンターにご連絡ください。[テクニカルサポート](#)をご覧ください。

本機の設定ファイルが壊れている。または、設定ファイルを標準設定の状態にもどしたい。

「ワコムタブレットユーティリティ」からご使用中の環境設定を削除します。起動中のソフトウェアをすべて閉じ、「アプリケーション」フォルダを開きます。次に、「ワコムタブレット」フォルダを開き、「ワコムタブレットユーティリティ」を実行します。

- 最初にタブレット設定のバックアップコピーを取ることをお勧めします。ワコムタブレットユーティリティでは、「ログインユーザー」または「全てのユーザー」を選択します。次に、「バックアップ...」をクリックし、メッセージに従って操作します。
- 以下の手順でタブレット設定を削除します。

シングルユーザの場合：ユーティリティが起動したら「ログインユーザー」を選択し、「削除」をクリックします。続いてログアウトし、再度ログインします。タブレットドライバがロードされると、インストール直後の標準設定で新しい設定ファイルが作成されます。

マルチユーザの場合：ユーティリティが起動したら「全てのユーザー」を選択し、「削除」をクリックします。続いてログアウトし、再度ログインします。タブレットドライバがロードされると、インストール直後の標準設定で新しい設定ファイルが作成されます。

ユーティリティ内の「復元...」をクリックして、「ログインユーザー」または「全てのユーザー」に対してバックアップしたタブレット設定を復元できます。

補足：「Wacom Tablet.Prefpane」ファイルを「ライブラリ」の「Preferencepanes」フォルダから削除しないでください。このファイルは、タブレットドライバをアンインストールする場合、またワコムタブレットユーティリティを使用する場合にのみ削除します。

再度、ポインタの位置調整をします。[ペン先の位置調整](#)をご覧ください。





Ink が、本機で正しく動作しない。

Ink の設定ファイルに問題がある可能性があります。次のようにして、問題のある設定ファイルを削除します。手書き入力認識を有効にすると、設定ファイルは再作成されます。

1. 「システム環境設定」画面を開き、「すべてを表示」を選び、「Ink」を選択します。次に「手書き認識」を「切」にします。
2. 「移動」メニューから、「ホーム」を選択します。「ライブラリ」を開いて、「Preferences」フォルダを開きます。次の設定ファイルを削除します。
 - com.apple.ink.framework.plist
 - com.apple.ink.inkpad.plist
 - com.apple.ink.inkpad.sketch
3. 再度、「システム環境設定」→「Ink」を選択します。「手書き認識」を「入」にします。
4. 本機と電子ペンを使って、Ink 機能をテストします。

この処理で Ink の問題が解決されず、サポートが必要な場合は、アップルコンピュータに連絡してください。Ink 用のソフトウェアに関して、弊社では一切のサポートを行っておりません。





テクニカルサポート

本機に問題がある場合は、初めに本書の[本機のセットアップ](#)をご覧ください、本機が正しくセットアップされていることを確認してください。次に[トラブルシューティング](#)をご覧ください。

本書で解決策が見つからない場合、本機の「Read Me」（お読みください）ファイル（タブレットドライバ CD-ROM にあります）にお客さまの問題に関する最新情報が記載されている場合があります。ワコムホームページの[FAQ（よくある質問）](#)もチェックしてください。

インターネットに接続されている場合は、ワコムホームページから最新のタブレットドライバをダウンロードできます。[ドライバのダウンロード](#)をご覧ください。

ワコムホームページにアクセスして、「ユーザサポート」のコンテンツをチェックしてください。お電話をかける前に、問題の解決法が見つかるかもしれません。

問題が解決されず、本機が正しく動作していないと思われる場合、ワコムサポートセンターにご連絡ください。連絡先については、[Wacom International Offices](#) をご覧ください。

お電話によるサポートを受けられる場合、次の情報をご用意の上、コンピュータの近くからお電話ください。

- 本書
- 本機の機種名とシリアル番号（液晶ペンタブレット本体の裏面をご覧ください）
- 本機の保証書
- タブレットドライバのバージョン（タブレットドライバ CD-ROM をご覧ください。あるいはコントロールパネルの「タブレットについて」をクリックしてください。）
- コンピュータの製造元と型式、およびオペレーティングシステムのバージョン
- お使いのグラフィックボードの製造元と型式、および接続のタイプ
- コンピュータに接続された周辺機器のリスト
- 問題が発生したとき、使用していたソフトウェアとバージョン
- 画面に表示された正確なエラーメッセージ
- 問題が発生したとき、具体的に何が起こったか、起こったことをどのように処置したか
- これまでにお試しいただいたこと





ドライバのダウンロード

ワコムは新しい製品との互換性を維持するために、必要に応じてタブレットドライバを更新しています。機能を最適に使用するためにドライバを必要に応じて更新することをお勧めします。新しいタブレットドライバ（利用可能な場合）は、ワコムのホームページからダウンロードできます。

ワコムのタブレットドライバダウンロードページ：<http://tablet.wacom.co.jp/download>

その他の更新、およびカスタマーサポートについては、ワコムのホームページをご覧ください。

<http://tablet.wacom.co.jp/>





FAQ（よくある質問）

ここでは本機に関するよく寄せられる質問の中からいくつかを選んでお答えしています。さらに多くのFAQをご覧になりたい場合は、ワコムのホームページ（<http://tablet.wacom.co.jp/support/faq/>）をご覧ください。

- [1. Cintiq はすべてのソフトウェアで使用できますか？](#)
- [2. Cintiq の機能に対応するソフトウェアにはどんなものがありますか？](#)
- [3. Cintiq とマウスをコンピュータに同時に接続することはできますか？](#)
- [4. 旧型のワコム製入力デバイスを Cintiq で使用できるでしょうか？](#)
- [5. マルチタッチで作業する場合は、タブレットドライバをインストールする必要がありますか？](#)
- [6. Cintiq のタブレットドライバをインストールしている途中、システムにパスワードを要求されました。パスワードとは何でしょうか？](#)
- [7. 電子ペンと画面のポインタが一致しません。](#)
- [8. 設定ファイルを標準の設定に戻したいのですが？](#)
- [9. 一度にすべての設定ファイルを標準の設定に戻すことができますか？](#)
- [10. 最適なお手入れのしかたを教えてください。](#)
- [11. ペン先の交換のしかたを教えてください。](#)
- [12. 交換用の部品や付属品はどこで入手できますか？](#)
- [13. 製品の型番とシリアル No. はどこにありますか？](#)

1. Cintiq はすべてのソフトウェアで使用できますか？

本機は一般的なマウス入力機能に対応しているため、すべてのソフトウェアを操作することができます。またタブレットドライバがインストールされ正しく動作している場合、多くのグラフィックソフトで「筆圧機能」や「消しゴム機能」をお使いになれます。対応するグラフィックソフトについては、ワコムのホームページ、および [製品情報](#) をご覧ください。

2. Cintiq の機能に対応するソフトウェアにはどんなものがありますか？

多くのソフトウェアがワコム製品の「筆圧機能」や「消しゴム機能」に対応しています。ワコムのホームページで、ペンタブレットに対応したソフトウェアをご確認ください。ご使用のソフトウェアがリストにない場合には、本機でそのソフトウェアを使用し、電子ペンで色塗りや描画をしたとき筆圧機能が働くかを確認してください。各ソフトウェアが対応するペン入力機能については、ソフトウェアのメーカーにお問い合わせください。

3. Cintiq とマウスをコンピュータに同時に接続することはできますか？

お使いのコンピュータのマウスと本機を組み合わせることで接続することができます。ご使用の際にはどちらか1つを使い、画面のポインタを操作できます。用途に応じて、本機とコンピュータのマウスを使い分けてください。





4. 旧型のワコム製入力デバイスを Cintiq で使用できるでしょうか？

通常電子ペンなどの付属品は、それらが付属している製品でのみ使用できます。このため他の製品では使用できない可能性があります。

5. マルチタッチで作業する場合は、タブレットドライバをインストールする必要がありますか？

はい。お使いの Cintiq 24HD touch (DTH-2400) でマルチタッチのジェスチャーを使用するためには、タブレットドライバをインストールする必要があります。

6. Cintiq のタブレットドライバをインストールしている途中、システムにパスワードを要求されました。パスワードとは何でしょうか？

ログインのためユーザーパスワード、またはシステム管理者のパスワードです。会社のコンピュータをお使いの場合には、タブレットドライバのインストールにシステム管理者の権限が必要な場合があります。この場合は管理者のアクセス権を持っているか確認のために、オペレーティングシステムがパスワードを要求しています。

7. 電子ペンと画面のポインタが一致しません。

「位置調整」を行ってください。タブレットドライバの再インストール、または設定ファイルを削除した際には、再度「位置調整」をする必要があります。[ペン先の位置調整](#)をご覧ください。

8. 設定ファイルを標準の設定に戻したいのですが？

[タブレット設定ファイルの管理](#)をご覧ください。

9. 一度にすべての設定ファイルを標準の設定に戻すことができますか？

できます。[タブレット設定ファイルの管理](#)をご覧ください。

10. 最適なお手入れのしかたを教えてください。

[本機のお手入れ](#)をご覧ください。

11. ペン先の交換のしかたを教えてください。

[ペン先を交換する](#)をご覧ください。

12. 交換用の部品や付属品はどこで入手できますか？

[オプション品の注文](#)をご覧ください。

13. 製品の型番とシリアル No. はどこにありますか？

本機裏面のラベルにあります。通常、型番はバーコードの上、シリアル No. はバーコードの下にあります。型番とシリアル No. はテクニカルサポートを依頼される場合に必要です。





お手入れのしかた

この章では本機のお手入れとメンテナンスについて説明します。

[本機のお手入れ](#)

[ペン先を交換する](#)

本機のお手入れ

液晶画面と電子ペンは清潔にお使いください。ちりや砂ぼこりは、画面の表面を傷つけます。定期的に清掃していただくことで、液晶画面と電子ペンを長い期間ご利用いただくことができます。

液晶ペンタブレット本体、スタンド、および電子ペンは清潔に、涼しい場所で、極端な温度変化を避けて保管してください。

室温での保存が最適です。

液晶ペンタブレット本体、スタンド、および電子ペンは分解可能な製品ではありません。製品を分解すると、保証が無効になります。

重要：本機や電子ペンに液体をこぼさないように注意してください。液晶画面、ファンクションキー、タッチホイール、サイドスイッチ、および電子ペン先には、液体が入ると故障するデリケートな電子部品が入っています。これらを濡らさないように、特に注意してください。

液晶ペンタブレット本体の表面に傷をつけないよう、ペン先（芯）は適宜交換してください。芯が磨耗したり尖っていると、液晶ペンタブレット本体の表面を傷つけることがあります。[ペン先を交換する](#)をご覧ください。

液晶ペンタブレット本体、スタンド、または電子ペンの清掃をするときは、柔らかい湿らせた布で拭いてください。水で薄めた刺激の少ないせっけんで布を湿らせて使うこともできます。アルコール、シンナー、あるいはベンゼンのような揮発性の液体は、本体を傷めますので使用しないでください。

液晶画面の清掃には帯電防止布または軽く湿らせた布をご使用ください。液晶画面を軽く押す程度にし、表面を濡らさないようにしてください。液晶画面が故障するおそれがありますので、洗剤は使用しないでください。このような故障はメーカーの保証の対象外となります。

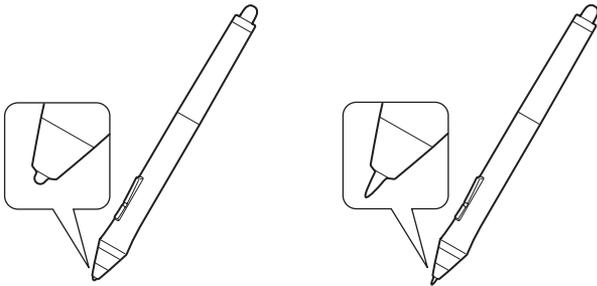


ペン先を交換する



液晶ペンタブレット本体の表面を保護し、最適な操作性を保つために、定期的にペン芯を交換してください。

重要： ペン先が下図のようになる前に、新しいペン芯と交換してください。



ペン芯は、使っていく間に磨り減っていきま
す。

過度な力を加えると、より早く磨耗します。

本機の表面は、磨耗したペン先で傷つく恐れ
がありますので、ペン先が短くなりすぎたり、
平らになったり、先端がとがってきたら、付
属の交換用の芯と交換してください。

1. ペンスタンドの底部分を回して外し、芯抜きと替え芯を取り出します。

芯抜き

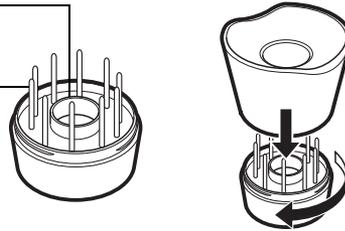
替え芯

Cintia 24HD touch (DTH-2400)

- 標準芯 10本

Cintia 24HD (DTK-2400)

- 標準芯 6本
- ハードフェルト芯 3本
- ストローク芯 1本

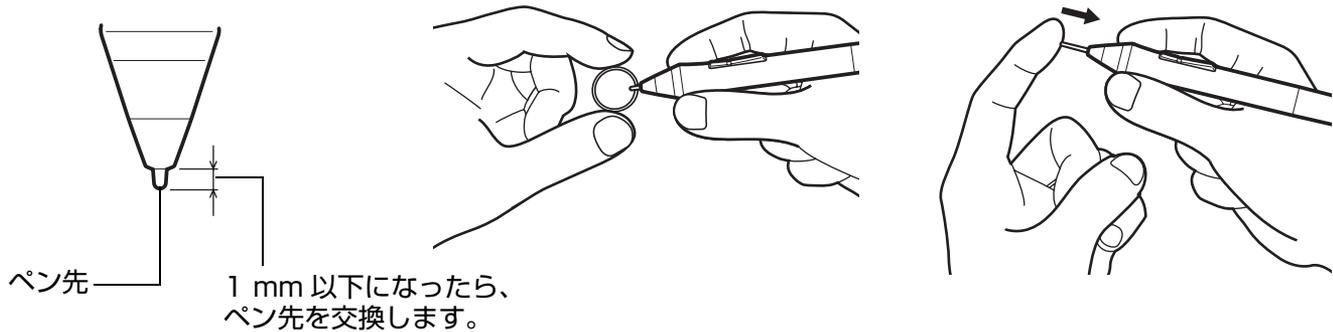


2. 古いペン先の芯を付属の芯抜き、ピンセット、先の細いペンチなどで挟み、まっすぐに引き抜いてください。





3. 新しいペン芯を電子ペンにまっすぐにはめ込みます。止まるまでしっかりと押し込んでください。



⚠ 警告

お子様が替え芯やサイドスイッチを飲み込まないようにしてください。電子ペンを口の中に入れると、ペン先やサイドスイッチが抜け落ちてしまう可能性があります。危険です。

交換部品の注文については、[オプション品の注文](#)をご覧ください。

重要：電子ペンを使用していないときは、専用のペンスタンドに立てるか、あるいは平らな机の上に横に置いてください。オプション品のエアブラシは、机の上に横にして置いてください。ペン先やテールスイッチが接触するような入れ物に入れて保管しないでください。ペン先やテールスイッチを押した状態で電子ペンを収納すると、電子ペンが故障する場合があります。誤った方法で保管すると、電子ペンが故障する場合があります。





その他のお役立ち情報

この章では、タブレットドライバのアンインストール、設定ファイルの管理方法などの情報について説明します。

[液晶ペンタブレット本体をスタンドから取り外す](#)

[液晶ペンタブレット本体をスタンドに取り付ける](#)

[マウントアームに取り付けて使う](#)

[タブレットドライバのアンインストール](#)

[タブレット設定ファイルの管理](#)

[複数ペンタブレットの設置](#)

[タブレットコントロールができる処理が組み込まれたソフトウェアを使う](#)

[上級者向け設定を組み込む](#)

[Windows でのペンおよびデジタルインク入力機能](#)

[製品情報](#)

[オプション品の注文](#)

[利用可能なオプション品](#)





液晶ペンタブレット本体をスタンドから取り外す

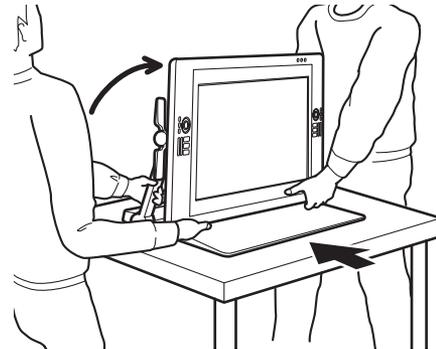
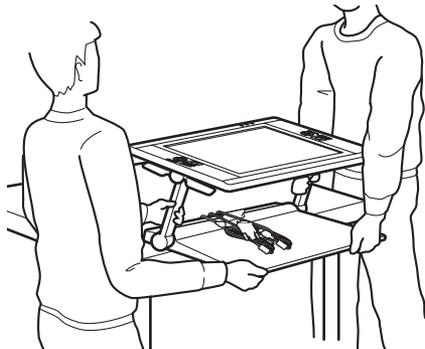
液晶ペンタブレット本体はスタンドに取り付けることを前提に設計されていますが、マウントアームに取り付けてお使いになる場合などは、以下の方法でスタンドから取り外してください。

[マウントアームに取り付けて使う](#)をご覧ください。

重要：必ず2人以上で作業を行ってください。本機は約 29kg あります。本機の手取りや移動は、十分注意して行ってください。

液晶ペンタブレット本体をスタンドから取り外す：

1. コンピュータおよび本機の電源をオフにし、本機のスタンドとコンピュータからすべてのケーブルを取り外します。続いて、スタンド取り外し作業をするのに十分なスペースがある場所に、本機を移動させます。



- [高さや角度を調節](#)し、液晶ペンタブレット本体は水平な位置で、スタンドアームは垂直な位置でロックします。ケーブルはスタンドベース（台座）の上に置き、本機から垂れ下がらないようにしてください。垂れ下がったケーブルが足に絡むと、破損やけがなどの原因になります。
- 必ず2人以上で作業を行ってください。スタンドベースを持ちながら、もう一方の手でスタンドアームのスタンドベース付近を持ち、本機を持ち上げ慎重に移動させます。

重要：本機は約 29kg あります。持ち上げるときは、必ず2人以上で行ってください。左右から両手で確実に本機を持つようにしてください。

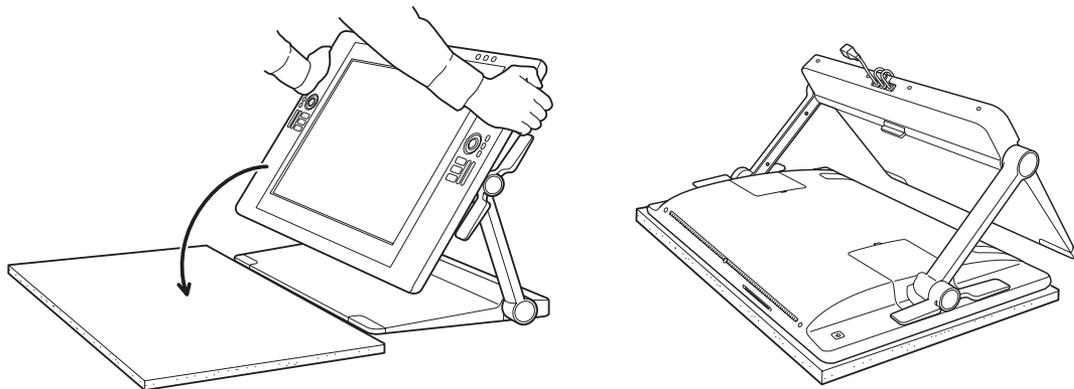
液晶ペンタブレット本体を持って本機を持ち上げないでください。移動中に液晶画面がたわむと損傷する可能性があります。また液晶ペンタブレット本体からスタンドがぶら下がった状態にすると、破損する可能性があります。2人の動きを合わせて慎重に持ち上げてください。

- 本機は水平で清潔な、また水や油のこぼれていない机や作業台に設置してください。指を挟まないように気をつけながら、まずスタンドベースの後ろ半分を台の上に載せ、傾いたり落下しないように気をつけながらスライドさせ設置場所まで移動させます。
- 設置が完了したら、角度調整レバーを使って液晶ペンタブレット本体を垂直位置に戻してください。



2. 本機のスタンドを取り外す準備をします。両側のスタンドアームをスタンドベースに垂直な位置でロックします。液晶ペンタブレット本体の角度はスタンドベースに対し約45度になるよう調整します。液晶画面を保護するため柔らかい布を敷き、スタンドごと液晶ペンタブレットを画面を下にして置きます。スタンドベース前方の端を軸に、ゆっくりと前に回転させるように倒してください。

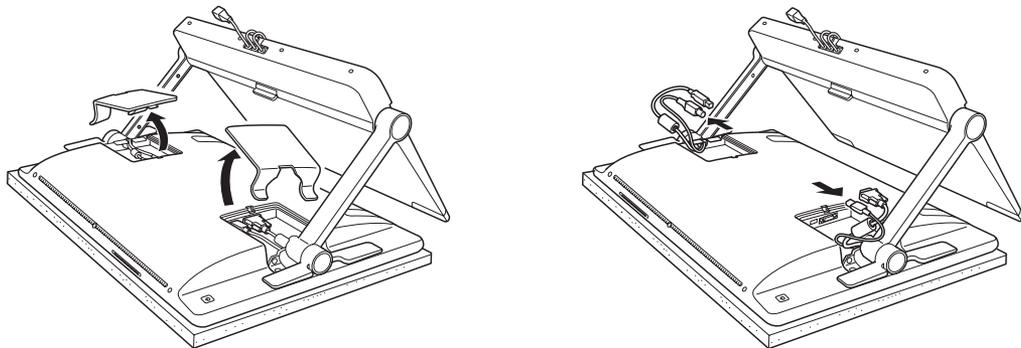
角度調整レバーを使って、画面が水平にぴったりと作業台に乗るように調整します。正しく調整されていると、取り付け用ブラケットの作業がしやすくなります。本機が正しく置かれているときは、スタンドベースが液晶ペンタブレット本体の下端付近と位置を揃えて作業台に乗った状態になります。



⚠ 注意

作業台に回転して倒す時に、本機に衝撃を与えないように注意してください。またスタンドの可動部のすき間に指を挟まないように注意してください。

3. スタンドを取り外す準備ができました。液晶ペンタブレット本体裏面の端子部のカバーを取り外し、端子からケーブルのコネクタを取り外します。



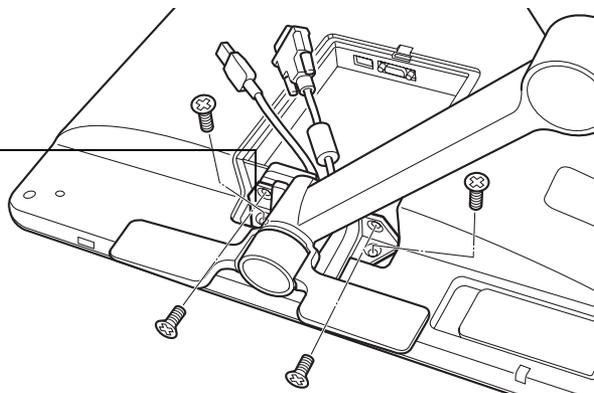


4. 接続ケーブルをスタンドから取り外してください。ケーブルの取り外し方は、[ケーブルの交換](#)をご覧ください。
5. スタンドアームの取り付け用ブラケットからネジを取り外します（+ネジ、4本）。取り外したネジはなくさないように保管してください。

取り付け用ブラケット

液晶ペンタブレット本体とスタンドを固定します。特殊なスタンド類に取り付けて使う場合以外は、液晶ペンタブレット本体をスタンドから取り外さないでください。

ネジ：平頭ネジ、M3-6、黒



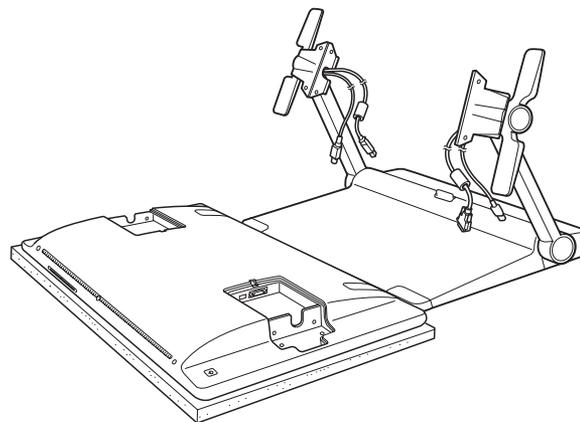
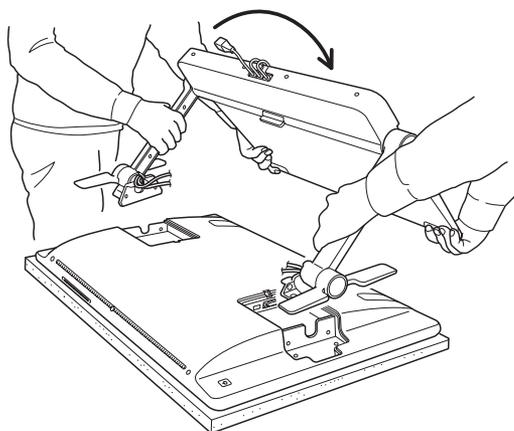
⚠ 注意

液晶ペンタブレット本体が固定されていない場合は、スタンドアームラッチや角度調整レバーを動かさないでください。

スタンドアームラッチや角度調整レバーにはスプリングが組み込まれているため、スタンドアームに液晶ペンタブレット本体の重さがかからない状態でロックを解除すると、けがやスタンドの破損の原因となる可能性があります。また誤った操作はけがやスタンドの破損の原因となる可能性があります。

スタンドの可動部のすき間に指を挟まないように注意してください。

6. スタンドを液晶ペンタブレット本体から取りはずします。



7. マウントアームに接続して液晶ペンタブレット本体を使用する場合、[マウントアームに取り付けて使う](#)をご覧ください。液晶ペンタブレット本体裏面の端子部のカバーは、必ず元通りに取り付けてください。





液晶ペンタブレット本体をスタンドに取り付ける

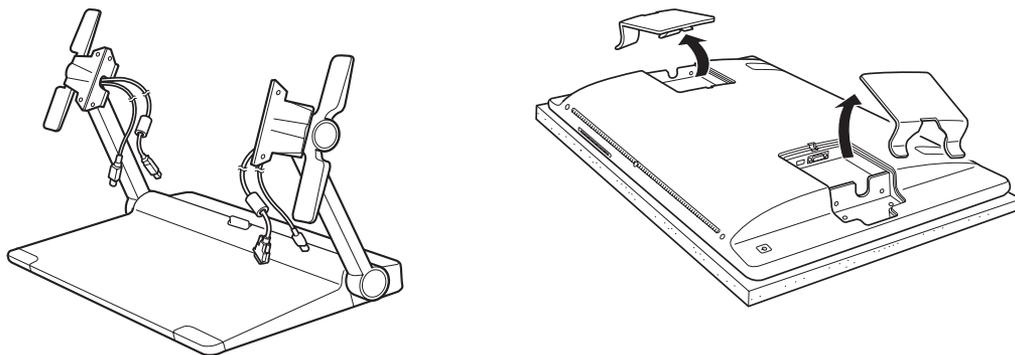
液晶ペンタブレット本体をスタンドに取り付ける手順を説明します。

例えば、市販の VESA (Video Electronics Standard Association) 規格のマウントアームから、再度本機のスタンドに取り付けて使う場合の方法です。

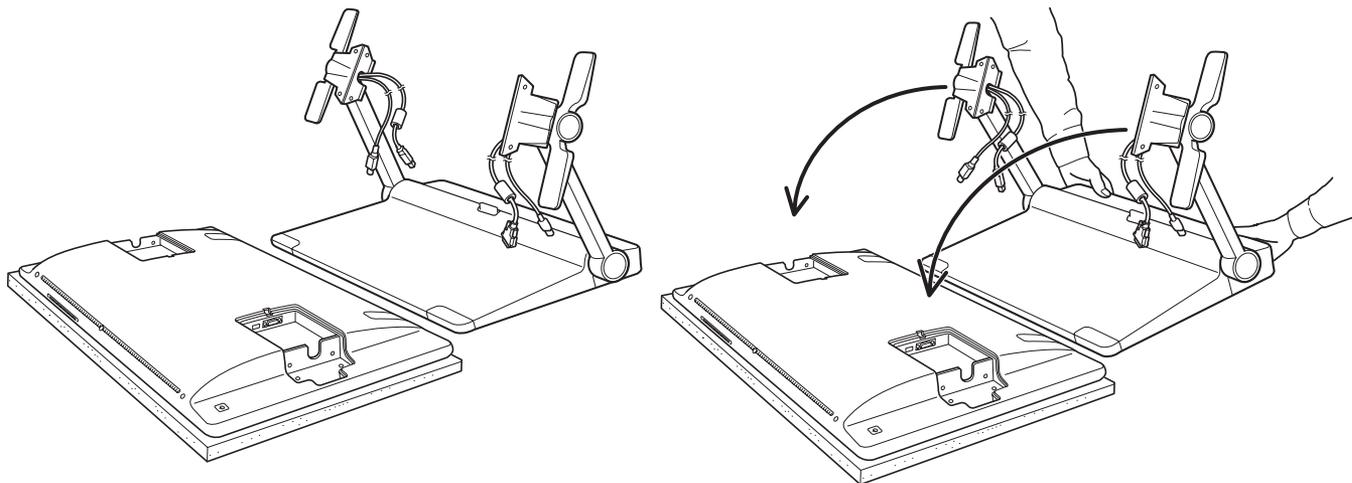
重要：必ず 2 人以上で作業を行ってください。本機は約 29kg あります。本機の取り扱いや移動は、十分注意して行ってください。本機を持ち上げるときは必ず 2 人以上で行い、左右から両手で確実に本機を持ってください。

液晶ペンタブレット本体をスタンドに取り付けるには：

1. スタンドの準備をします。両側のスタンドアームをスタンドベースに垂直な位置でロックします。
2. 液晶ペンタブレット本体の準備をします。液晶画面を保護するため柔らかい布を敷き、液晶ペンタブレット本体を画面を下にして置きます。液晶ペンタブレット本体裏面両側の端子部のカバーを取り外した状態にします。

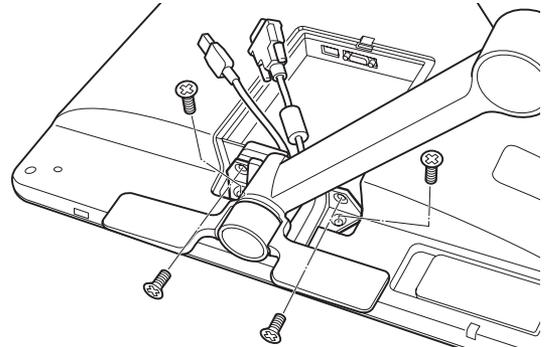
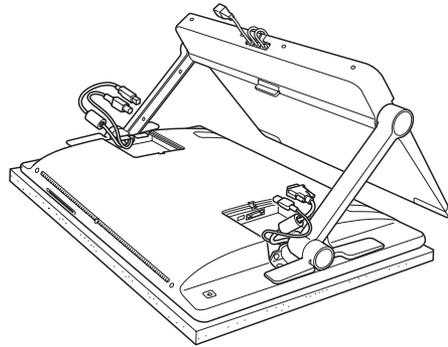


3. スタンドベース前方の端と液晶ペンタブレット本体の下端付近の位置を揃えます。
4. スタンドベース前方の端を軸に、前に回転させるように倒します。このときスタンドベースから出ている接続ケーブルのコネクタは作業台の面より上にある必要があります。スタンドをさらに回転させて、取り付け用ブラケットを液晶ペンタブレット本体のブラケット接続部にはめ込みます。





5. [角度調整レバー](#)でブラケットの角度を調整し、左右のブラケット接続部に正しく合わせます。取り外し保管しておいたネジ（+ネジ、4本）でブラケットと液晶ペンタブレット本体を固定します。きつく締めすぎてスタンドを損傷したり、ネジ山が潰れないようにご注意ください。



⚠ 注意

取り付け用ブラケット内が固定されていない場合には、スタンドアームの位置を調整する以外で角度調整レバーを操作しないでください。

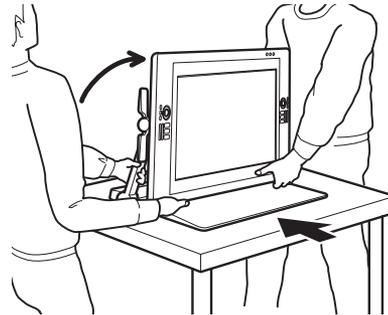
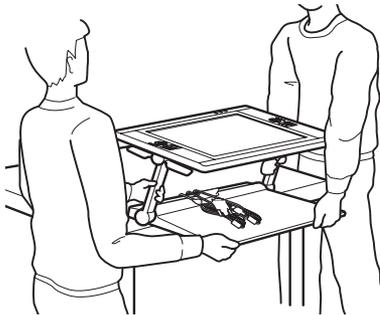
角度調整レバーにはスプリングが組み込まれているため、スタンドアームに液晶ペンタブレット本体の重さがかからない状態でロックを解除すると、けがやスタンドの破損の原因となる可能性があります。また誤った操作はけがやスタンドの破損の原因となる可能性があります。スタンドの可動部のすき間に指を挟まないように注意してください。

6. 組み立てが終わったら、液晶ペンタブレット本体とスタンドを起こし、液晶ペンタブレット本体とスタンドアームが確実に取り付けられているか確認します。液晶ペンタブレット本体とスタンドの可動部分を慎重にすべて動かしてみてください。[液晶ペンタブレット本体の高さと角度を調整する](#)をご覧ください。





7. 液晶ペンタブレット本体とスタンドが正しく取り付けられ、スタンドがなめらかに動作することを確認したら、本機をお使いになる場所へ移動させます。



- 本機を移動させる前に高さや角度を調節し、液晶ペンタブレット本体は水平な位置で、スタンドアームは垂直な位置でロックします。ケーブルはスタンドベース（台座）の上に置き、本機から垂れ下がらないようにしてください。垂れ下がったケーブルが足に絡むと、破損やけがなどの原因になります。
 - 必ず2人以上で作業を行ってください。スタンドベースを持ちながら、もう一方の手でスタンドアームのスタンドベース付近を持ち、本機を持ち上げ慎重に移動させます。

重要： 本機は約 29kg あります。持ち上げるときは、必ず2人以上で行ってください。左右から両手で確実に本機を持つようにしてください。
液晶ペンタブレット本体を持って本機を持ち上げないでください。移動中に液晶画面がたわむと損傷する可能性があります。また液晶ペンタブレット本体からスタンドがぶら下がった状態にすると、破損する可能性があります。2人の動きを合わせて慎重に持ち上げてください。
 - 本機は水平で清潔な、また水や油のこぼれていない机や作業台に設置してください。指を挟まないように気をつけながら、まずスタンドベースの後ろ半分を台の上に載せ、傾いたり落下しないように気をつけながらスライドさせ設置場所まで移動させます。
 - 設置が完了したら、角度調整レバーを使って液晶ペンタブレット本体を垂直位置に戻してください。
8. 作業前にスタンドから接続ケーブルを取り外した場合は、再度正しく接続し、端子部のカバーを取り付けてください。詳しくはケーブルの交換をご覧ください。



マウントアームに取り付けて使う

液晶ペンタレット本体をマウントアームに取り付けて使いたいときは、液晶ペンタレット本体からスタンドを取り外し、市販の VESA (Video Electronics Standard Association) MIS-E 100/200 (6 screw) 規格のマウントアームに取り付けて使います。

ネジ穴の間隔は 100 × 200mm です。

補足：付属のマウントアーム用ネジは幅 4 mm、ピッチ 0.7 mm (M4)、脚部 17 mm です。市販のネジをお使いになるときは、必ず上記の仕様のネジをお使いください。脚部の長さが 17 mm を超えると、液晶ペンタレット本体に取り付けたときに内部の部品を傷つけ故障の原因となることがあります。

本機（液晶ペンタレット本体およびスタンド）の全重量は約 29kg です。本機の重量に耐えられない机の上もしくは作業台には置かないでください。

本機の液晶ペンタレット部の重量は約 16 kg です。液晶ペンタレット本体の重量に耐えられないマウントアームは接続しないでください。

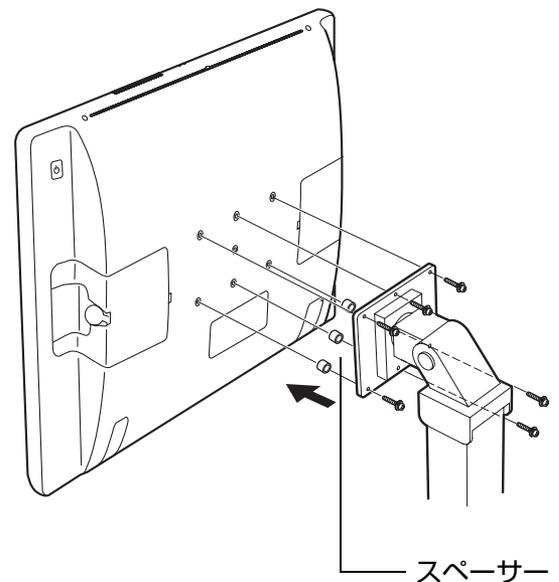
液晶ペンタレット本体をスタンドから取り外す

1. コンピュータおよび本機の電源をオフにします。
2. [液晶ペンタレット本体をスタンドから取り外す](#)をご覧ください。

液晶ペンタレット本体をマウントアームに取り付ける

1. マウントアームに付属の取扱説明書をよくお読みになり、指示に従って作業を行ってください。また注意事項や製品の安全情報は必ずお読みください。
2. 付属のマウントアーム取り付け用スペーサーを、液晶ペンタレット本体裏面の 3 つのネジ穴に合わせます。
3. 付属のマウントアーム用ネジで、液晶ペンタレット本体をマウントアームにしっかりと取り付けます。
4. 液晶ペンタレット本体とコンピュータとのケーブル接続を行います。接続が完了したら、液晶ペンタレット本体裏面の端子部のカバーを元通り取り付けてください。

[VESA マウントアームから液晶ペンタレット本体を取り外す](#)ときは、上記の手順と逆に作業を行います。[液晶ペンタレット本体をスタンドに取り付ける](#)をご覧ください。



⚠ 注意

液晶ペンタレット本体をマウントアームに取り付ける場合は、必ずマウントアームに付属の取扱説明書の指示に従ってください。誤った取り付けかたをされますと、液晶ペンタレット本体が倒れてけがや破損の原因となることがあります。取り外したスタンドやネジは、なくさないように保管してください。



タブレットドライバのアンインストール

以下の手順に従って本機のタブレットドライバをシステムから削除することができます。

Windows の場合 :

1. Windows の「スタート」ボタンをクリックして「コントロールパネル」を開きます。
2. 「コントロールパネル」から
 - Windows 7 または Vista の場合 : 「プログラムのアンインストール」をクリックし、ダイアログボックスで「ワコムタブレット」を選択し、「アンインストール」をクリックします。
 - Windows XP の場合 : 「プログラムの追加と削除」を選択します。「プログラムの追加と削除」ウインドウで「ワコムタブレット」を選択し、「削除」をクリックします。
3. 画面の指示に従って、タブレットドライバを削除します。
4. タブレットドライバが削除されたらシステムを終了し、コンピュータと本機の電源を切ります。

補足 : Cintiq 24HD touch (DTH-2400) は Windows Vista および Windows XP ではお使いになれません。

Mac の場合 :

1. 「移動」メニューから、「アプリケーション」を選択し、「ワコムタブレット」フォルダを開きます。
2. 「ワコムタブレットユーティリティ」アイコンをダブルクリックします。続いて「タブレットドライバ : 削除」をクリックし、管理者のユーザ名とパスワードを入力します。
3. 削除が完了したら、「OK」をクリックします。
4. システムを終了し、コンピュータと本機の電源を切ります。

最新のタブレットドライバのダウンロード（インターネットから入手できる場合）については、[ドライバのダウンロード](#)をご覧ください。





タブレット設定ファイルの管理

ワコムタブレット設定ファイルユーティリティを使用すると、シングルユーザまたはマルチユーザのタブレット設定ファイルの管理が行えます。

Windows の場合は、起動中のソフトウェアをすべて終了させてください。次に、「スタート」アイコンをクリックし、「すべてのプログラム」を選択します。「ワコムタブレット」→「ワコムタブレット設定ファイルユーティリティ」を選択します。

- ログインユーザの設定ファイルを削除するには、「ログインユーザーの設定ファイル」から「削除」ボタンをクリックします。
- マルチユーザの設定ファイルを削除するには、「すべてのユーザーの設定ファイル」から「削除」ボタンをクリックします。すべてのユーザの設定ファイルを削除するには、管理者権限が必要です。
- 現在の設定ファイルをバックアップするには、「ログインユーザーの設定ファイル」から「バックアップ ...」をクリックします。
- 以前にバックアップを行った設定ファイルを復元するには、「ログインユーザーの設定ファイル」から「復元 ...」をクリックします。
- 表示されるダイアログの内容を確認してから、実行してください。

Mac の場合は、最初に「アプリケーション」フォルダを開きます。次に「ワコムタブレット」フォルダを開いて、「ワコムタブレットユーティリティ」を実行します。

- 設定ファイルを削除するには、「ログインユーザー」または「全てのユーザー」のいずれかを選択してから、「削除」ボタンをクリックします。ログアウトしてから再度ログインします。タブレットドライバが読み込まれると、新しい設定ファイルが標準設定で作成されます。
- 設定ファイルをバックアップするには、「ログインユーザー」または「全てのユーザー」のいずれかを選択してから、「バックアップ ...」ボタンをクリックします。
- 以前にバックアップを行った設定ファイルを復元するには、「ログインユーザー」または「全てのユーザー」のいずれかを選択してから、「復元 ...」ボタンをクリックします。
- 表示されるダイアログの内容を確認してから、実行してください。



複数ペンタブレットの設置

コントロールパネルの上部に表示される「タブレット」リストには、システムで検出されたすべてのペンタブレットのアイコンが表示されます。

入力デバイスとソフトウェアの設定をカスタマイズするペンタブレットのアイコンを選択します。

- コントロールパネルは、サポートしているペンタブレットがコンピュータに接続されていないときは起動しません。



新しいペンタブレットを追加する場合は、ペンタブレットをコンピュータに接続します。システムは自動的に新しいペンタブレットを検出して初期化し、コントロールパネルにそのペンタブレットのアイコンを表示します。

重要：複数のペンタブレットを Windows システムに追加する場合、ソフトウェアによっては追加されたペンタブレットで消しゴム機能が使えない場合があります。最初にコントロールパネルに設置されたペンタブレットでは使うことができます。

複数のペンタブレットの中の1つをドライバから削除するには、削除するペンタブレットのアイコンをコントロールパネルで選択し、「タブレット」リストの隣にある [-] ボタンをクリックします。

- サポートされているペンタブレットがコンピュータに接続されていないときは、「タブレット」リストから削除することはできません。
- ペンタブレットをドライバに再度追加する前に、コンピュータを再起動する必要があります。ご注意ください。

重要：他のペンタブレットを本機のすぐ近くに置くと、影響を受けて誤動作することがあります。このような場合は、離してお使いください。



タブレットコントロールができる処理が組み込まれたソフトウェアを使う

ソフトウェアによっては、ペンタブレットのファンクションキーまたはタッチホイール機能を直接操作するように設計されているものがあります。この処理を組み込んだソフトウェアで作業を行う場合、ファンクションキーまたはタッチホイールは、コントロールパネルで設定されている機能とは異なる働きをする場合があります。

- ファンクションキーの機能がソフトウェアによって書き換えられた場合、ファンクションキーの設定は自動的に更新され、「アプリケーションの設定に従う」と表示されるか、あるいは新しい機能名が付けられます。ソフトウェアによってはファンクションキーのいくつか、またはすべてがソフトウェアにより書き換えられることがあります。
- タッチホイールの機能がソフトウェアによって置き換えられた場合、すべてのタッチホイール機能はその影響を受けます。ソフトウェアがタッチホイール機能の一部のみを置き換える場合、その他の機能は「スキップ」に設定されます。
- ソフトウェアは実行中または画面の最前面にある場合のみ、ファンクションキーやタッチホイールの機能をコントロールします。そのソフトウェアを終了するか別のソフトウェアのウィンドウを選択すると、コントロールパネルの設定は以前の状態に戻ります。
- 画面の最前面にあるソフトウェアでファンクションキー、タッチホイール、または電子ペンの機能設定を確認するには、ファンクションキーの1つに「設定内容の表示」を設定し必要に応じてそのキーを押します。

通常、このような処理を組み込んだソフトウェアでは、そのソフトウェアで最初にワコム製品を使用する際に、この機能を選択しないか無効にすることを選択できます。機能についての具体的な詳細、およびこの機能をカスタマイズする、または無効にする方法についてはソフトウェアに付属の取扱説明書をご覧ください。

ソフトウェア操作時に表示される説明、またはソフトウェアの取扱説明書に、この機能を無効にする方法が記載されていない場合、コントロールパネルを使って、[特定のソフトウェアに対する設定](#)を作成し、タブレットコントロールができる処理が組み込まれたソフトウェアの動作に優先させることができます。[タブレット設定ファイルの管理](#)をご覧ください。

重要：特定のソフトウェアに対する設定をタブレットコントロールできる処理を組み込んだアプリケーションで作成した場合、「アプリケーションの設定に従う」をファンクションキーまたはタッチホイールに設定すると、このアプリケーションによってこれらの機能がコントロールされます。





上級者向け設定を組み込む

XML ファイルで提供される上級者向け設定を、コントロールパネルに組み込むことができる機能です。

- ソフトウェアの開発者によっては、ソフトウェアをワコム製品で使用する際に最適なパフォーマンスが得られるよう特別に設計された「カスタム設定ファイル」を作成する場合があります。
- 各 XML ファイルには、複数のソフトウェアに適用できるカスタマイズ設定が含まれる場合があります。これらの設定は、ファンクションキー、タッチホイール、ラジアルメニュー、またはサイドスイッチと消しゴム機能に適用できる場合があります。

上級者向け設定の組み込みかた：

1. XML ファイルを選択し、ダブルクリックします。
2. 確認ダイアログの指示に従って操作を続けます。
 - 1 つまたは複数のソフトウェアに対応する設定を組み込むことができます。またこれにより、それらのソフトウェアの設定が更新される場合があります。
 - 上級者向け設定を組み込む前に、お使いのコントロールパネルの現在の設定をバックアップしておくことをおすすめします。
 - 設定の組み込みを中止することも、続けることもできます。
3. 設定を組み込むと、XML で記述された設定のみが組み込まれ、対応するすべての設定が更新されます。対応していない設定は更新されません。
4. 設定の組み込みが完了したら、コントロールパネルで新しい設定を確認することができます。



Windows でのペンおよびデジタルインク入力機能



Microsoft Windows 7 (Starter を除く) および Windows Vista (Home Basic を除く) は、ペン入力機能に対応しています。本機と電子ペンを使用して、スピーディで直観的な使い心地をお確かめください。

補足 : Cintiq 24HD touch (DTH-2400) は Windows Vista ではお使いになれません。

- **手書きメモ帳機能** : Windows 7 および Windows Vista の「Windows Journal」をペンタブレットで操作すれば、手書きメモや図形をファイルに直接書きこむことができます。また、Windows Journal の検索エンジンを使用し、手書き入力した内容を検索することも可能です。
- **手書き文字認識機能** : ペンタブレットで書いた手書き文字を素早くテキストに変換する機能です。
- **ジェスチャー機能** : 本機の画面上で電子ペンを動かすだけで、コンピュータを操作できます。ジェスチャー機能をカスタマイズするときは、Windows 7 の「ペンとタッチ」、または Windows Vista の「ペンと入力デバイス」コントロールパネルの「フリック」タブを選択します。
- **Office 2007 および Office 2010 デジタルインク機能** : ペンタブレットを接続し、電子ペンを使って手書き文字を自由に書き込むことができる機能です。デジタルインク機能は、該当する各ソフトウェアの「校閲」タブにありますので、ご活用ください。

Windows 7 または Windows Vista Tablet PC 入力パネルによって、電子ペンを使って手書きするか、画面上のキーボードでテキストを直接入力することができます。

また、以下のように入力パネルを起動することもできます。

- 画面のポインタをテキスト操作エリアに移動すると表示される入力パネルのアイコンをクリックします。
- 標準設定で表示画面の左端に配置されている入力パネルのタブをクリックします。
- Windows のタスクバーに配置されている「Tablet PC 入力パネル」アイコンをクリックします。アイコンが見えない場合は、タスクバーを右ボタンクリックして、「ツールバー」、「Tablet PC 入力パネル」を選択します。

入力パネルを無効にするには :

1. 「Tablet PC 入力パネル」を開きます。
2. 「ツール」「オプション」の順に選択します。
3. 「開き方」タブを選択して、次のボックスのチェックを外します :
 - 「タブレットペン入力の場合、テキストボックスの横にアイコンを表示する」
 - 「入力パネルタブを使用する」
4. 「OK」をクリックします。

詳しくは、Windows トレーニングツールおよび Tablet PC チュートリアルを含め、ご使用システムの説明書をご覧ください。「Tablet PC ペントレーニング」を起動するには、「スタート」メニューから「すべてのプログラム」、「TABLET PC」「TABLET PC ペントレーニング」の順に選択します。「スタート」メニューからトレーニングツールを起動できない場合は、Windows のヘルプを検索してください。

Windows のデジタルインク入力機能に関する追加情報は、Microsoft のホームページで検索してください。またワコムのホームページ (www.wacom.com) でも、Windows でのデジタルインク機能について検索することができます。

補足 : ワコムタブレットドライバでは、Windows 7 および Windows Vista での描画性能改善のために、下記の改善策をとっています。

- ペンフリックおよび「プレスアンドホールド」機能は、Wintab API を使うグラフィックソフトでは無効になります。
- Windows 7 の「ペンとタッチ」コントロールパネル、または Windows Vista の「ペンと入力デバイス」コントロールパネルで、ペンフリックおよび「プレスアンドホールド」の両方の機能を無効にして、Windows Journal や他のインク機能で描画する場合、筆圧が無効になります。



製品情報

筆圧、傾き、消しゴムなどの本機の機能をサポートするソフトウェアや、Windows でのデジタルインク機能については、ワコムのホームページをご覧ください。

<http://wacom.jp/>





オプション品の注文

本機の機能を最大限に使いこなすためにオプション品をご用意しております。

オプション品の情報はワコムホームページにも掲載しております。

<http://wacom.jp/>

オプション品は、オンラインショッピングサイト「ワコムストア」でお買い求めいただくことができます。

<http://store.wacom.jp/>

利用可能なオプション品

オプション品のご案内

名称と説明	型番
<p>グリップペン：消しゴム機能付き筆圧ペン。筆圧と傾きを検出します。電池レスでコードレス、メンテナンスフリーで幅広い用途を持つグリップペンです。マウス操作はもちろんのこと描画作業や細かい作業に最適な本機の標準的なデバイスです。テーブルスイッチや2つのサイドスイッチにはショートカットやキーの割り当てが可能です。エルゴノミクスデザインで握りやすいグリップ部が自然な描画を実現します。以下の付属品が同梱されています。ペンスタンド、標準芯（3本）、ストローク芯（1本）、ハードフェルト芯（1本）、エラストマー芯（1本）</p> 	KP-501E-01
<p>エアブラシ：エアブラシは筆圧検出、消しゴム機能だけでなくホイール機能を搭載した電子ペンです。アナログのエアブラシの感覚をそのままに作業できます。また、カスタマイズ可能なボタンが搭載されています。以下の付属品が同梱されています。ペンスタンド、標準芯（3本）、ストローク芯（1本）、ハードフェルト芯（1本）、エラストマー芯（1本）</p> 	KP-400E-01
<p>アートペン：アートペンは筆圧、傾き検出と回転機能に対応した電子ペンです。ペン軸の回転を検出することによりカリグラフィブラシやアナログのマーカーのような描画を実現します。幅広いニブを装備したペン先の書き味はアナログのマーカーそのものです。以下の付属品が同梱されています。ペンスタンド、彫刻刀型ポリアセタールニブ（2本）、彫刻刀型フェルトニブ（2本）、ポリアセタール芯（3本）、フェルト芯（3本）</p> 	KP-701E-01
<p>クラシックペン：グリップペンと同じ機能を持つペン軸の細い電子ペンです。以下の付属品が同梱されています。ペンスタンド、標準芯（3本）、ストローク芯（1本）、ハードフェルト芯（1本）、エラストマー芯（1本）</p> 	KP-300E-01
<p>グリップペン、エアブラシ、クラシックペン用替え芯</p> <p>標準芯：滑らかな書き味と耐久性を兼ね備えた芯、材質ポリアセタール、5本入り</p> <p>ストローク芯：組み込まれたスプリングによって芯先が約1mm上下する芯、材質ポリアセタール、5本入り</p> <p>ハードフェルト芯：高摩擦係数でありながら耐久性も備えた芯、材質フェルト、5本入り</p>	ACK-20001 ACK-20002 ACK-20003
<p>アートペン用芯セット（ポリアセタール芯3本、フェルト芯3本、彫刻刀型ポリアセタールニブ2本、彫刻刀型フェルトニブ2本）</p>	ACK-20006
<p>重要：ハードフェルト芯、およびアートペンのフェルト芯/フェルトニブは、Cintiq 24HD touch の表面を傷つける恐れがあるため、Cintiq 24HD touch では使用しないでください。 ペンに付属するエラストマー芯は、ゴム素材のため摩擦が強く、液晶画面上で使用すると表面に跡が残ります。拭けば跡は取れますが、本機での使用は推奨しません。</p>	
ラバーグリップ KP-501 用 / 標準径 / サイドスイッチ用穴有り / 2本入り	ACK-30001
ラバーグリップ KP-501 用 / 標準径 / サイドスイッチ用穴無し / 2本入り	ACK-30003
ラバーグリップ KP-501 用 / 太径 / サイドスイッチ用穴無し / 2本入り	ACK-30002





用語

エキスパンド：[マルチタッチによる操作](#)での動作の 1 つ。2 本の指をくっつけた状態で本機の画面にタッチし、次に画面に触れたまま指を開きます。

回転：[マルチタッチによる操作](#)での動作の 1 つ。2 本の指を少し開いて本機の画面にタッチし、円を描くように順方向／逆方向に回します。または 1 本の指を固定して、もう一方の指を固定した指の周囲を巡るように回します。

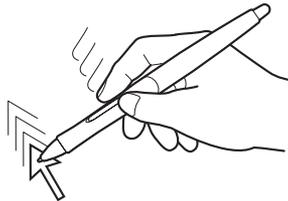
傾き検出：入力デバイスが傾く角度を読み取るペン先とテールスイッチ（消しゴム）の特性。これは、傾き対応のソフトウェアで、電子ペン、ブラシ、消しゴムの自然な感じのストロークを作成するのに役立ちます。

画面のポインタ：表示画面のポインタ。ポインタは、起動しているソフトウェアにより、I 型ポインタ、矢印、あるいはボックスなど様々な形に変わります。

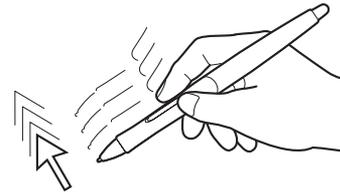
クリック圧：クリックする時、ペン先にかかる力の大きさ。

消しゴム対応ソフトウェア：電子ペンの消しゴム機能をサポートしているソフトウェア。ソフトウェアによっては、テールスイッチ（消しゴム）を別の機能に使うことができます。

視差：保護ガラスあるいはその他の媒体を通して対象を見る場合の角度のずれのこと。視差を補正するには、本機の位置調整を行い、画面上のポインタが電子ペンのペン先の位置と一致させる必要があります。



視差がない場合。ペン先と画面上のポインタの位置が合っています。



本機表面の保護ガラスによって生じる視差。ペン先と画面のポインタの位置のずれ方を確認してください。

修飾キー：Windows では [Shift]、[Alt]、[Ctrl] キー、Mac では、[shift]、[control]、[command]、[option] キーの修飾キーがあります。電子ペンは、サイドスイッチまたはファンクションキーに修飾キーを対応するようにカスタマイズできます。

芯：ペン先で交換が可能な部分。

スワイプ：[マルチタッチによる操作](#)での動作の 1 つ。3 本、4 本または 5 本の指で本機の画面にタッチし、同じ方向に動かします。

操作エリア：マルチタッチ入力や入力デバイスが検出される本機の描画領域。[タッチセンサー](#)をご覧ください。

タッチ：本機の画面上で指先のジェスチャーでコンピュータを操作する方法の 1 つ。

タッチセンサー：Cintiq 24HD touch (DTH-2400) のみ。タッチが検出されるナビゲート可能な領域。



タッチホイール：本体にある、カスタマイズ可能なリング状の装置です。[タッチホイールを使う](#)をご覧ください。

タップ：[マルチタッチによる操作](#)での動作の 1 つ。指 1 本で本機の画面にタッチしてから離します。

縦横比：ペンタブレット、またはディスプレイ画面の縦と横の比率。

ダブルクリックアシスト：ダブルクリック距離の大きさを設定することにより、ダブルクリックを簡単にする機能。

ダブルクリック距離：ペン先でダブルクリックするときに、2 回目のクリックがずれてもよい距離を画面のドット数で表します。ダブルクリック距離を大きくすると、ペン先でダブルクリックしやすくなりますが、グラフィックソフトウェアによっては、線の引きはじめにポインタがダブルクリック距離の外へ出るまで線が現れないことがあります。

特定のソフトウェアに対する設定：ソフトウェアごとに入力デバイスと本機の設定をカスタマイズします。コントロールパネルを使って、目的のソフトウェアで特別に機能するようにカスタマイズします。[特定のソフトウェアに対する設定](#)は、設定したソフトウェアを使用すると必ず実行されます。

ナビゲート：[マルチタッチによる操作](#)での動作の 1 つ。画面のポインタは、画面上の指で触れた位置に移動します。

パン：[マルチタッチによる操作](#)での動作の 1 つ。画面に複数の指を触れ、どの指も同じ方向に動かします。

ピクセル：ディスプレイ画面上の最小の表示単位。

筆圧対応：筆圧の荷重を読み取るペン先と消しゴムの特性。これは、筆圧対応のソフトウェアで、電子ペン、ブラシ、消しゴムの自然な感じのストロークを作成するのに使用されます。

筆圧対応のソフトウェア：筆圧をサポートするソフトウェア。

ピンチ：[マルチタッチによる操作](#)での動作の 1 つ。2 本の指を少し離れた状態で液晶ペンタブレットの画面にタッチし、次に画面に触れたまま 2 本の指をくっつけます。

ファンクションキー：本機にあるカスタマイズ可能なキーです。[ファンクションキーを使う](#)をご覧ください。

ペン芯：ペン先で交換が可能な部分。

ペン入力：液晶ペンタブレット上で電子ペンを使ってコンピュータを操作する方法。

ペンモード：ポインタの位置決めの方法。電子ペンの本機の画面上に置くと、画面のポインタが画面上の対応点にジャンプします。これは絶対的位置決めと言われ、すべての電子ペンの標準設定です。ペンモードでは、先に画面上でポインタを確認してデスクトップ上で動かさなくても、ポインタの位置を決められます。[マウスモード](#)もご覧ください。

ホイール：オプション品のエアブラシのコントロールホイール。

マウスの加速：電子ペンがマウスモードのとき、ポインタの加速を調節できます。

マウスモード：ポインタの位置決めの方法。電子ペンの本機の画面上に置くと、ポインタは、従来のマウスと同様に動いた方向と距離に応じて移動します。

これは相対的な位置決めです。[ペンモード](#)もご覧ください。

マウス速度：電子ペンがマウスモードのとき、ポインタのスピードを調節できます。

マルチタッチ：本機の画面上で複数の指でのジェスチャーを利用するための機能。





読み取り可能高さ：電子ペンが検出される本機の[操作エリア](#)からの高さ。[電子ペンの機能](#)もご覧ください。

ラジアルメニュー：円型の階層メニュー。各階層のメニューは 8 つの項目から構成され、オプション機能を設定できます。メニューを表示するために、電子ペンやファンクションキーに機能を割り当てる必要があります。

ワンタッチ表示ボタン：本機の右上にある機能ボタン。[ワンタッチ表示ボタンを使う](#)をご覧ください。

LED：発光ダイオード。本機の表示ランプに使用されます。

Tablet PC 入力パネル：Microsoft Windows Tablet PC 入力パネルで、電子ペンを使って手書きメモを作成したり、画面上のキーボードを使って文字入力を行うことができます。手書き文字が、入力パネルでテキストに変換されます。Tablet PC 入力パネルから入力した文字を文書や表計算、イラストに挿入できます。

USB：Universal Serial Bus。コンピュータの周辺装置を接続するためのハードウェアインタフェース規格。USB ポートはホットプラグをサポートし、これにより、コンピュータの電源を切らなくても USB デバイスの取り外しができます。

Windows Journal：紙のメモ帳の電子版だが、デジタルノートだけの特長も備えた Microsoft Windows ソフトウェア。たとえば、簡単に描画や手書きのメモを作成して、テキストに変換した後、デジタルデータとしてほかの人たちに送ることができます。Windows Journal には、電子ペンの消しゴムで動作する消しゴム機能が備えられています。Windows Journal では、手書きのコンテンツも検索できます。

Wintab：ペンタブレットの情報を受け取る Windows ソフトウェアによって使用されるインタフェース規格。タブレットは、Windows 環境で Wintab と互換性のあるソフトウェアをすべてサポートします。





索引

数字		か	
1:1	66	角度調整レバー	21
C		角度を調整する	24
Cintiq 24HD (DTK-2400)	18	カスタマイズ	
Cintiq 24HD touch (DTH-2400)	16	傾き感度	93
D		消しゴムの感触	91
DisplayPort ケーブル	21	サイドスイッチ	92
DisplayPort コネクタ	12	タッチホイール	95
DVI-DVI ケーブル	21	ダブルクリック	90
DVI-RGB ケーブル	9	電子ペン	89
DVI コネクタ	12	筆圧	91
E		ファンクションキー	94
EXIT	67	ペン先の感触	90
F		マルチタッチ	78
FAQ	130	ラジアルメニュー	103
M		画像設定	67
Mac Mini DisplayPort	11	傾き	38
O		画面調整ボタン	47
OSD メニュー言語設定	66	画面を調整する	46
OSD メニュー表示設定	66	Cintiq 24HD (DTK-2400)	66
T		Cintiq 24HD touch (DTH-2400)	
Tablet PC 入力パネル	148	ECO インフォメーション	54
U		MENU ツール	53
USB 接続ケーブル	21	OSD WARNING	55
USB ハブ	16, 18	PICTURE MODE 機能	56
W		アドバンスドメニュー	57
Windows Tablet PC 入力パネル	153	インフォメーション	55
あ		画面調整	49
明るさ	66	カラー調節	50
アナログ RGB 接続の問題	118	自動調整 (アナログ入力のみ)	49
い		ツール	51
色温度	66	ブライトネス・コントラスト	48
え		カラー設定	66
液晶ペンタブレット		き	
お手入れ・保管	132	機能	
各部の名称		液晶ペンタブレット	15
本体裏面	17	コントロールパネル	86
本体正面	16, 18	く	
機能	15	クリック (ペン)	36
テスト	111		
お			
オートアジャスト	67		





け			
ケーブルの交換	28	タブレットドライバ	
消しゴム	19	アンインストール	143
消しゴムのカスタマイズ	91	インストール	14
		ダウンロード	129
こ		て	
コントラスト	66	テールスイッチ	19
コントロールパネル	85	テクニカルサポート	128
梱包箱から取り出す	6	デジタルインク機能	148
さ		テスト	
サイドスイッチ	19	液晶ペンタブレット	111
サイドスイッチのカスタマイズ	92	操作機能および入力デバイス	113
し		タッチホイール	114
視差	88	電子ペン	115
上級者向け設定	147	ファンクションキー	114
省電力機能	68	ワンタッチ表示ボタン	114
芯の交換	133	電源スイッチ	17
す		電子ペン	19
垂直位置	67	カスタマイズ	89
水平位置	67	クリック	36
スタンド	20	消しゴムを使う	38
スタンドアーム	21	サイドスイッチを使う	37
スタンドアームラッチ	21	ダブルクリック	36
スタンドから本体を取り外す	136	ドラッグ	37
スタンドに本体を取り付ける	139	筆圧を使って描画する	37
スタンドの設置	22	持ち方	35
スタンドベース	21	と	
ステータスランプ	16, 18	透明度	66
せ		特定のソフトウェア	105
製品に関する重要なお知らせ	9	ドライバのダウンロード	129
セキュリティロック・スロット	17	ドラッグ	37
設定		トラブルシューティング	
コントロールパネル	85	ディスプレイ	
特定のソフトウェア	105	アナログ RGB の問題	118
設定一覧	85	ディスプレイの一般的な問題	116
セットアップ		ペンタブレット	
タブレットドライバ	14	Mac での問題	126
ハードウェア	11	Windows での問題	125
た		一般的な問題	119
ダイレクト	66	電子ペンの問題	121
タッチホイール	44	マルチタッチの問題	124
縦横比を保持	104	は	
ダブルクリック	36	バックライト輝度	66
ダブルクリックのカスタマイズ	90	パワーランプ	16, 18
タブレットコントロール	146		
タブレット設定ファイルの管理	144		





ひ		
筆圧		37
筆圧を使って書く		37
ピッチ		67
表示設定		66
ふ		
ファンクションキー		42
フェーズ		67
へ		
ペン先		
交換	133	
ペン紛失防止ケーブル取り付け穴	17	
ほ		
ポインタの移動	36	
ボタン機能	96	
本書について	5	
ま		
マウントアーム	142	
マッピング画面	104	
マッピング画面切り替え	104	
マルチタッチ入力		
カスタマイズ	78	
基本機能	71	
ソフトウェア特有の機能	72	
テスト	83	
ワコム固有の機能	77	
マルチディスプレイ	45	
よ		
読み取り高さ	115	
ら		
ラジアルメニュー	103	
り		
リセット	67	
わ		
ワンタッチ表示ボタン	41	



このページを印刷してご利用ください（「お問い合わせ」または「修理依頼」に○をつけてください）。太枠内を記入してください。

お問い合わせ

FAX 送付先 : 03-5337-6514

修理依頼

受付 No. _____

発信 _____ 年 _____ 月 _____ 日

お客さま	フリガナ		会社名	
	氏名		(学校名) ・所属部署	
	使用場所	会社(学校)・自宅	連絡先	会社(学校)・自宅
	住所	〒 _____ ※修理のご依頼の場合は、修理完了品の返送先をご記入ください。		
	E-mail :	_____		
TEL	()	FAX	()	

タブレット	型式	DTH-2400、DTK-2400	シリアル番号	
	タブレットドライバ	バージョン :		
	購入年月日	年	月	日

使用環境	使用 コンピューター	メーカー :	機種名 :		
		モデム内蔵 Yes・No	使用 OS	(バージョン :)	
	使用ソフトウェア	(バージョン :)			
	周辺機器など	種類	メーカー	機種名	接続ポート
		他の USB 機器			
		USB ハブ			
		ディスプレイ			
グラフィックボード					
その他					

内容	現象発生日	年	月	日
	現象発生頻度	常時・ときどき (システム起動時・使用中・その他 :)		

ここに記入されたお客さまの個人情報は、お客さまへのサポート、および修理品の返却のみに利用し、それ以外に利用することはありません。



Wacom International Offices

株式会社ワコム TABLET SALES DIVISION

〒160-6131
東京都新宿区西新宿 8-17-1
住友不動産新宿グランドタワー 31 階
インターネット：<http://wacom.jp/>
ワコムサポートセンター
電話：0570-05-6000
受付時間 平日 9:00 ~ 20:00
土曜 10:00 ~ 17:00
(日曜、祝日、および年末年始など
弊社指定休日を除く)

Wacom Technology Corporation

1311 SE Cardinal Court
Vancouver, WA 98683
U.S.A.
Telephone
General: +1-360-896-9833
Fax: +1-360-896-9724

Wacom China Corporation

Unit 2807, 28th Floor, SK Tower,
No 6 Jia, Jianguomenwai Avenue,
Beijing, China 100022
<http://www.wacom.com.cn>

Wacom Australia Pty. Ltd.

Unit 8, Stage 1 Cumberland Green
2-8 South Street, Rydalmere
NSW 2116 Australia
Telephone
General: +61-2-9422-6700
Fax: +61-2-9420-2272

Wacom Taiwan Information Co., Ltd.

9F-1, No.237 Songjiang Rd.,
Zhongshan Dist. Taipei 104
Taiwan
Telephone: +886-2-2516-1718
Fax: +886-2-2516-5100

Wacom India Pvt. Ltd.

2nd Floor, Elegance Tower
District Centre, Mathura Road
New Delhi 110025, India
Telephone: +91-11-40601200
Fax: +91-11-40601235

Wacom Co., Ltd. ASIA PACIFIC DIVISION

Asia Pacific Office
Sumitomo Fudosan Shinjuku Grand Tower 31F,
8-17-1 Nishi-Shinjuku, Shinjuku-ku, Tokyo 160-6131,
Japan
Telephone
General: +81-3-5337-6709
Fax: +81-3-5337-6514

Wacom Europe GmbH

Europark Fichtenhain A9,
47807 Krefeld,
Germany
Telephone
General: +49-(0)2151-3614-0
Fax: +49-(0)2151-3614-111

Wacom Korea Co., Ltd.

Rm #1211, 12F, KGIT Sangam Center,
402 worldcup bukro, Mapo-gu,
Seoul 121-913, Korea
Telephone: +82-2-557-3894
Fax: +82-2-557-3895

Wacom Singapore Pte. Ltd. (Singapore)

#12-09 Suntec Tower Five
5 Temasek Boulevard,
Singapore 038985
Telephone
General: +65-6258-8640
Fax: +65-6258-8697

Wacom Hong Kong Limited

Room 2105, C C Wu Building
302-308 Hennessy Road
Wanchai, Hong Kong
Telephone: +852-25739322
Fax: +852-25739500

